

東洋大学

2027年度

総合型選抜・学校推薦型選抜

専願のみ

入学試験要項

インターネット登録による出願となります。

<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/>

総合型選抜

A O 型 推 薦 入 試 専願のみ

自 己 推 薦 入 試 専願のみ

学校推薦型選抜

学 校 推 薦 入 試

総 合 評 価 型 専願のみ

「独立自活」支援推薦入試 専願のみ

この「入学試験要項」には、出願から入学手続きまでのすべての事項が記載してありますので、よく読んで手続に間違いのないよう十分に注意してください。

なお、この「入学試験要項」の内容に変更、訂正等が生じた場合および、大規模な自然災害等が発生したことにより特別措置を講じる場合は、その内容を本学入試情報サイトに随時掲載します。



東洋大学

目次

概要

感染症等の影響による2027年度入学試験における対応について	1
2027年度入学生 入学時における学部・学科構成、修学キャンパス	3
大学入学資格	4
出願時の注意点	4
募集学部学科(専攻)・募集人員一覧	5

出願

出願の際の注意事項	6
出願の流れ	7
出願書類	8
入学検定料	10
受験上の配慮	11
受験票	11

試験詳細

総合型選抜	
AO型推薦入試	12
自己推薦入試	49
学校推薦型選抜	
学校推薦入試(総合評価型)	75
「独立自活」支援推薦入試	108

受験

試験当日の注意事項	113
試験時間中の注意事項	114

合格発表・入学手続

合格発表	115
入学手続	115

その他

納付金	116
入学手続後の入学辞退と納付金の返還	116
高等教育の修学支援新制度について	117
教育ローン等について	119
在留資格(日本国以外の国籍を有する者)	120
キャンパス案内図	121
問い合わせ先	124

【個人情報の取り扱いについて】

出願に際して提出された住所、氏名、その他の個人情報は、①出願受付、②入学試験実施、③合格発表、④入学手続、⑤入学前の事前教育等と、これらに付随する事項を目的としてのみ使用します。

なお、これらの業務の一部を、東洋大学が指定した業者に委託します。

業務委託にあたり、同業者に対して、提供して頂いた個人情報を提供することがあります。

試験後、試験会場で感染者等の存在が判明した場合は、保健所等の行政機関へ個人情報を提供する場合があります。



感染症等の影響による2027年度入学試験 における対応について

- 感染症等の感染拡大や緊急事態宣言の発令等により、やむを得ず、試験日や選抜方法等、本書に記載されている内容を変更する場合は、決定次第、東洋大学入試情報サイト (<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/>) 等にてお知らせします。

2027年度入学生 入学時における学部・学科構成、修学キャンパス

学部・学科（専攻）			修学キャンパス
文学部 哲学科 東洋思想文化学科 日本文学文化学科 英米文学科 史学科 教育学科（人間発達専攻） 教育学科（初等教育専攻） 国際文化コミュニケーション学科 東洋思想文化学科【イブニングコース】 日本文学文化学科【イブニングコース】 教育学科【イブニングコース】	経済学部 経済学科 国際経済学科 総合政策学科 経済学科【イブニングコース】 経営学部 経営学科 マーケティング学科 会計ファイナンス学科 経営学科【イブニングコース】 法学部 法律学科 企業法学科 法律学科【イブニングコース】	社会学部 社会学科 国際社会学科 メディアコミュニケーション学科 社会心理学科 社会学科【イブニングコース】 国際学部 グローバル・イノベーション学科 国際地域学科（国際地域専攻） 国際地域学科（地域総合専攻）【イブニングコース】 国際観光学部 国際観光学科	白山キャンパス
情報連携学部 情報連携学科	福祉社会デザイン学部 社会福祉学科 子ども支援学科 人間環境デザイン学科	健康スポーツ科学部 健康スポーツ科学科 栄養科学科	赤羽台キャンパス
理工学部 機械工学科 電気電子情報工学科 応用化学科 都市環境デザイン学科 建築学科	総合情報学部 総合情報学科（メディア情報専攻） 総合情報学科（心理・スポーツ情報専攻） 総合情報学科（システム情報専攻）	環境イノベーション学部 環境イノベーション学科	川越キャンパス
生命科学部 生命科学科 生体医工学科 生物資源学科	食環境科学部 食環境科学科 フードデータサイエンス学科 健康栄養学科		朝霞キャンパス

大学入学資格

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- ② 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者
- ③ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣により指定された準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）
- ④ 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣により指定された準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）
- ⑤ 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者
- ⑥ 我が国において、外国の高等学校相当として指定した教育施設を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣により指定された準備教育課程を修了する必要がある。）
- ⑦ 高等学校と同等と文部科学大臣により認定された在外教育施設の課程を修了した者
- ⑧ 文部科学大臣により指定された専修学校の高等課程を修了した者
- ⑨ 旧制学校等を修了した者
- ⑩ 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格を保有する者
- ⑪ 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者
※ CISの旧名称であるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したものについても入学資格が認められます。
- ⑫ 高等学校卒業程度認定試験（旧大検）に合格した者（なお、18歳に達していないときは、18歳に達した日の翌日から認定試験合格者となる。）
- ⑬ 大学において個別の入学資格審査により認めた18歳以上の者

※ 学部・学科（専攻）別の出願資格に関しては、各学部・学科（専攻）のページに詳細が記載されていますので確認してください。

※ 学部・学科（専攻）のアドミッションポリシー（入学者受入れの方針）は、本学入試情報サイトに掲載していますので、出願時に必ず確認してください。

※ 日本国以外の国籍を有する志願者が、第2部・イブニングコース（夜）へ入学した場合、在留資格「留学」を取得することはできません。

※ 大学入学資格⑬に該当する者は、以下の(1)の通りです。対象者は、以下の(2)の手続を行ってください。なお、大学入学資格①～⑫に該当する者は、この手続を行う必要はありません。

(1) 入学資格審査対象者

個別の入学資格審査の対象者は、上記大学入学資格①～⑫に該当しない者のうち、「外国人を対象に教育を行うことを目的としてわが国に設置された教育施設において、高等学校に対応する3年間に相当する学習歴を有する者または（2027年3月31日までに）有する見込みのある者」のみです。この対象者以外の者については、個別の入学資格審査は実施しません。なお、一部出願できない推薦入試もあります。

(2) 入学資格審査の申請手続について

入学を志望する学部・学科（専攻）の入学試験への出願を以て入学資格審査の申請手続とみなします。審査の結果、大学入学資格を有すると認められ、かつ学部・学科（専攻）個別の出願資格を満たしていると認められた受験生には、マイページより受験票を発行します（審査結果通知は郵送しません）。

(注) 出願資格または大学入学資格を取得見込で受験し、入学時まで要件を満たせなかった場合または、合格発表後等に出願資格および出願資格審査に関わる書類に虚偽の記載があることが判明した場合、入学することはできません。

出願時の注意点

本入学試験要項に掲載する、専願のみを対象とした入学試験を出願した場合は、11月29日実施の基礎学力テスト型入試（総合型選抜）を出願および受験することができません。また、基礎学力テスト型入試（総合型選抜）を受験した場合は、12月13日実施の専願のみを対象とした入学試験の出願は認められません。

※ 10月18日実施の入学試験にて不合格だった場合のみ、基礎学力テスト型入試（総合型選抜）への出願および受験が可能です。

募集学部学科(専攻)・募集人員一覧

AO型推薦入試

試験日	学部		学科(専攻)	募集人員	
10月18日(日)	第1部 (昼)	文	教育(初等教育)	3	
			国際文化コミュニケーション	5	
		経済	総合政策	10	
		国際	グローバル・イノベーション	6 (注1)	
			国際地域(国際地域)	ジャンル・セレクト入試	25 (注1)
		国際観光	国際観光	35	
		情報連携	情報連携	コンピュータ・サイエンス型	5
				INIAD MOOCs型1回目	12
		健康スポーツ科	健康スポーツ科	アスリート型	5
		理工	機械工		1
			都市環境デザイン		4
			建築		10
		総合情報	総合情報(心理・スポーツ情報)		5
		環境イノベーション	環境イノベーション		10
		生命科	生命科		5
			生体医工		5
			生物資源		5
11月22日(日)	第1部 (昼)	国際	国際地域(国際地域)	25 (注1)	
グローバル・イノベーション			6 (注1)		
情報連携		情報連携	INIAD MOOCs型2回目	12	
			INIAD特別スカラシップ型	2	
福祉社会デザイン		人間環境デザイン	デザイン基礎力型	5	

自己推薦入試

試験日	学部		学科(専攻)		募集人員
10月18日(日)	第1部 (昼)	文	哲	小論文型	5 (注1)
				ディベート型	5 (注1)
			東洋思想文化	小論文型	5 (注1)
				漢文型	5 (注1)
			教育(人間発達)		5
		経済	経済	5	
		福祉社会デザイン	社会福祉		15
			子ども支援		15
			人間環境デザイン		15
		健康スポーツ科	栄養科	文系型	12 (注1)
				理系型	12 (注1)
		総合情報	総合情報(システム情報)		5
		食環境科	食環境科		5
			フードデータサイエンス	1回目	5 (注1)
				健康栄養	
第一次選考 10月18日(日)	社会	社会		5	
第二次選考 11月22日(日)		社会		5	
11月22日(日)	健康スポーツ科	健康スポーツ科		19	
12月13日(日)	環境イノベーション	環境イノベーション		5	
	生命科	生命科		5	
		生体医工		5	
		生物資源		5	
	食環境科	フードデータサイエンス	2回目	5 (注1)	
10月18日(日)	第2部・ イブニング コース (夜)	文	東洋思想文化	小論文型	3 (注1)
				漢文型	3 (注1)
			日本文学文化		5
		教育		4	
		経済	経済	10	
		社会	社会	10	
		国際	国際地域(地域総合)		3
12月13日(日)	法	法律		16	

学校推薦入試(総合評価型)

試験日	学部		学科(専攻)	募集人員
11月22日(日)	第1部 (昼)	文	哲	5 (注1)
			ディベート型	5 (注1)
			東洋思想文化	5
			日本文学文化	7
			英米文	10
		教育(人間発達)	総合問題型	5
			総合問題型	3
		経済	国際経済	15
		総合政策	小論文型	5
		経営	経営	5
			マーケティング	5
			会計ファイナンス	10
		法	法律	10
			企業法	10
		社会	国際社会	8
12月13日(日)	第2部・ イブニング コース (夜)	国際観光	国際観光	10
		福祉社会デザイン	社会福祉	15
		人間環境デザイン	実技型	5
		理工	機械工	4
			電気電子情報工	5
			応用化	10
		総合情報	都市環境デザイン	3
			総合情報(メディア情報)	5
			総合情報(システム情報)	5
		環境イノベーション	環境イノベーション	5
		生命科	生命科	5
			生体医工	3
			生物資源	5
		食環境科	食環境科	5
			フードデータサイエンス	5
			東洋思想文化	3
12月13日(日)	第2部・ イブニング コース (夜)	文	日本文学文化	5
			教育	4
			経済	10
		経営	経営	6
		法	法律	20
		社会	社会	8
		国際	国際地域(地域総合)	5

「独立自活」支援推薦入試

試験日	学部		学科(専攻)	募集人員
11月22日(日)	第2部・ イブニング コース (夜)	文	東洋思想文化	1
			日本文学文化	1
			教育	1
		経済	経済	1
		経営	経営	1
		法	法律	1
		社会	社会	1
		国際	国際地域(地域総合)	1

(注1) 同じ学科(専攻)内の他の方式と合わせての人数となります。

※「第1部(昼)」とは、主として昼間に授業を行う学部・学科(専攻)を表します。

※「第2部・イブニングコース(夜)」とは、主として夜間に授業を行う学部・学科(専攻)を表します。

※出願状況および試験結果等により合格者数が募集人員を下回る場合があります。

出願の際の注意事項

- (1) 提出された出願書類について確認事項がある場合、大学から志願者に対して、登録された電話番号宛に、またはインターネット志願者専用ページの「マイページ」より確認の連絡を行います。そのため、インターネット出願の際に登録する電話番号およびメールアドレスは、大学からの連絡を受理することが可能なものを登録してください(携帯電話の番号可)。
- (2) 出願後の志望学部・学科(専攻)、第1部(昼)、第2部・イブニングコース(夜)、および入試方式の変更はできません。
- (3) 出願書類は提出後の変更は認めません。
- (4) 出願書類に不備がある場合は受験できません。
- (5) 出願書類が郵送されても入学検定料の納入がない場合、または入学検定料が納入されても出願書類の郵送消印日が出願期間を過ぎている場合は受験できません。
- (6) 出願書類の提出は原則、日本国内からの郵送に限り受付けます。国際郵便等による海外からの郵送を行う場合は、事前に東洋大学入試部まで必ずお問い合わせください。
- (7) 理由の如何を問わず、一度提出された書類の返却は行いません。
- (8) 出願書類の記載事項に虚偽等があった場合は受験できません。
- (9) 出願後に電話番号等の個人情報を変更する場合は、インターネット志願者専用ページ「マイページ」の「個人情報変更依頼」より住所変更の手続きを行ってください。
- (10) 入学検定料の納入の確認および出願書類の到着後、出願資格の審査を行います。審査の結果、出願資格が認められない場合は受験できません。その際は、出願時に登録された電話番号宛に、または「マイページ」にその旨を連絡します。
- (11) 合格発表後に虚偽等が発覚した場合は、入学することはできません。

出願の流れ

出願にあたり、以下のものを事前に準備してください。

- 「調査書」等の出願に必要な書類
※ 「出願書類」のページを確認し、不備がないか十分に確認してください。
- インターネットに接続できるパソコンまたはスマートフォン
- インターネット登録に必要なメールアドレス
- 「志願票」等を印刷するための環境（プリンタ等）
- 角2封筒（市販のもの）

出願を完了するために、

1 インターネット出願登録、**2** 入学検定料の支払い、**3** 出願書類の郵送が必要です

1 インターネット出願登録

(1) 「TOYO Web Style メンバー」登録をする

本学入試情報サイトより、「TOYO Web Style メンバー」に登録をしてください。（メールアドレスが必要です。迷惑メール設定などをしている場合は、「@nyushi.toyo.ac.jp」および「@toyo.jp」からのメールが受信できるように設定してください。）

(2) 「マイページ」にログインし、インターネット出願登録をする

(1)の完了後、本学入試情報サイトからインターネット志願者専用ページ「マイページ」にログインすることができます。「マイページ」から出願登録画面にアクセスし、画面の指示に従って出願登録を行ってください。（出願登録は出願期間初日の3日前から可能です。）

(3) 「志願票」・「宛名ラベル」を印刷し、入学検定料の支払情報の確認をする

出願登録完了後、「志願票」・「宛名ラベル」をA4用紙に印刷してください。また、画面の指示に従って入学検定料の支払方法を確認してください。（宛名ラベルとは出願書類提出先が印字された用紙です。）

※ **1** - (2)のインターネット出願登録は出願期間最終日の23:59まで可能ですが、**1**の後、下記の**2**および**3**の手続が必要となりますので、時間に余裕をもって手続を行ってください。

2 入学検定料の支払い

1 - (3)で確認をした支払方法に従って、入学検定料を納入する

入学検定料の支払い前にも「志願票」「宛名ラベル」等の印刷は可能です。郵送前に支払いが完了しているか、また志願票右上に記載の「整理番号」と支払いを行った整理番号が一致しているか、必ず確認してください。

3 出願書類の郵送

角2封筒に**1** - (3)で印刷した「宛名ラベル」を貼付し、出願書類を封入のうえ、郵便局の窓口から「簡易書留・速達」で郵送する※

出願期間内消印有効です。志願票は折り曲げずに封入してください。なお、出願書類に不備がある場合、出願を受理することはできません。

※ 本学が出願書類を受領し、内容を確認したうえで不備等がなければ、出願受付が完了します。出願受付の状況は「マイページ」で確認することができます。出願書類の確認は順次行いますので、出願受付完了となるまでに時間を要することがあります。

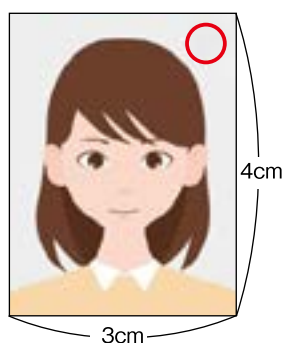
出願書類

1. 外部から取り寄せる書類は、発行までに時間を要する場合があるため、余裕をもって準備してください。
2. 提出された出願書類について確認事項がある場合、大学から志願者に対して、登録された電話番号宛に、または「マイページ」より確認の連絡を行います。志願者が確認依頼に応答しない等の事由から、大学において出願資格または出願書類についての確認が取れなかった場合には、出願を受付けません。なお、上記により出願不可となった場合において、大学からの確認依頼に応じられなかった等を理由とした出願資格の再審査等の申し出には一切応じません。

1. 志願票

- (1) 「志願票」はインターネット出願登録後、A4サイズの手紙で印刷してください。出願登録時に入力した内容が印字されていますので、内容を確認のうえ、誤りがなければ顔写真を貼付してください。なお、顔写真は所定の場所に、以下の点に注意して貼付してください。

【適切な写真の例】



- 出願時点から3カ月以内に撮影したもので、**たて4cm×よこ3cmの上半身・無帽・正面・背景の無いカラー写真(白黒不可)**。
- ピントが合っており、**肩の一部と顔全体が鮮明に写っているもの**。
- 服装は私服・制服を問いません。ただし、**提出された写真は入学後、学生証用として卒業まで使用します**。
- 受験時に眼鏡等を着用する者は、眼鏡等を着用して撮影したもの。
- 画像に加工を施していないもの。
- 光沢仕上げでプリントされたもの。**絹目(つや消し)仕上げや普通紙への印刷は不可**。
- 志願票の所定の位置に剥がれないように貼付してください。

【不適切な写真の例】



正面を向いていない



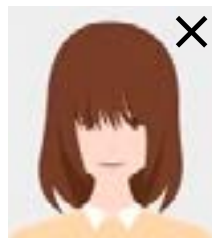
背景がある(風景、柄が写っている)



照明が反射して顔の一部が見えない



ピンボケや手振れにより不鮮明



前髪で目元が隠れている



顔に影がかかっている



サングラスを着用している、マフラーやスカーフで輪郭が隠れている



枠からはみ出ている

- (2) 氏名等の表記はJISの第2水準とします。(例：高→高など)。

※JISの第2水準ではない表記は、本学で別の表記に置き換えることがあります。

2. 調査書等〔高等学校卒業程度認定試験合格成績証明書 大学入学資格検定試験合格成績証明書〕

- (1) 高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程の卒業（見込）者は、出願時点で3カ月以内に出身学校長が作成した「**調査書**」（厳封されたもの）を提出してください（「成績証明書」では受理できません）。
- (2) 文部科学大臣が実施する高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者は「**合格成績証明書**」を、合格見込者は成績の記載された「**合格見込成績証明書**」を提出してください（「合格証明書」では受理できません）。提出する書類はすべて、出願時点で3カ月以内に作成されたものとします。
- (3) 調査書等と志願票の氏名の表記が異なる場合は、本人であることを証明する書類を添付してください。ただし、旧字体と略字体である常用漢字との相違についてはその必要はありません。
（例：“澤”→“沢”など）
- (4) 調査書の保存期間が経過し、出身の学校から調査書が発行されない場合は、「卒業証明書」と「調査書が発行できないことが記載された証明書」を提出してください。
- (5) 日本国以外の学校教育の課程の卒業（見込）者は、在籍した中等教育機関の全学年の成績が記載された「成績証明書」と「卒業（見込）証明書」を提出してください。なお、中等教育機関とは日本の高等学校に相当するものとします。

3. その他（学科ごとに必要な書類）

- (1) 各学科（専攻）のページで必要な書類を確認し、不足のないように事前に準備の上、出願してください。
- (2) 本学所定用紙は本学入試情報サイトよりダウンロードし、印刷してください。

入学検定料

1. 入学検定料 …… 35,000円

- ※ 社会学部第1部社会学科の自己推薦入試では、2段階の選考を実施しています。各選考試験の出願時にそれぞれの入学検定料を納入してください。
(第一次選考 …… 10,000円 第二次選考 …… 25,000円)
- ※ 「独立自活」支援推薦入試では、入学検定料が免除となります。

入学検定料の納入は、インターネット出願登録後、「試験日程」に記載されている出願期間内に、以下のいずれかの方法で行ってください。出願書類が郵送されても入学検定料の納入がない場合、または入学検定料が納入されても出願書類の郵送消印日が出願期間を過ぎている場合は、受付できません。なお、入学検定料のほかに別途手数料等がかかります。

納入方法に応じて金額が異なりますので、出願登録時に表示される「インターネット出願ガイダンス」ページで確認してください。

納入方法
コンビニエンスストア
ペイジー（「Pay-easy」のマークのある金融機関のATM）
インターネットバンキング
クレジットカード

- ※ 金融機関の窓口での納入はできません。
- ※ 納入方法および利用可能なコンビニエンスストア・クレジットカード、ペイジー・インターネットバンキング対応金融機関については、出願登録時に表示される「インターネット出願ガイダンス」ページで確認してください。
- ※ コンビニエンスストアでの支払いは、土日・祝日問わず、営業時間内であればいつでも可能です。
- ※ クレジットカードの支払方法は、一括払いのみとなります。クレジットカードの利用限度額を確認した上で利用してください。なお、支払いされるカードの名義人は受験生本人でなくても構いません。
- ※ 入学検定料収納証明書（領収書等）は必ず保管してください（収納証明書、領収書等のコピーを送付する必要はありません）。

2. 入学検定料の返還

一旦納入された入学検定料は事情の如何にかかわらず返還しません。

ただし、以下の1から3のいずれかに該当する場合は返還の対象となりますので、返還を申請される方は下記の申請期間にマイページより返還申請を行ってください。

【返還対象】

- 入学検定料を納入したが、志願票を郵送しなかった。
- 入学検定料を納入して志願票を郵送したが、他の出願書類に不備等があり、出願が受理されなかった。
- 東洋大学の基礎学力テスト型入試（総合型選抜）を受験し、12月13日実施の入学試験の出願が認められない場合

【申請期間】

返還対象となった入試の試験日翌日から2027年1月4日（月）まで

上記の期間にマイページ内の「入学検定料返還申請」より申請手続きを行ってください。

なお、申請期間外である場合、または申請期間内であっても上記の要件に該当しない場合は、マイページにログインしても申請手続きを行うことはできません。

【返還予定】

申請完了した月の2カ月先の末日

例：12月25日に申請完了した場合、2月末日

- ※ 書類または電子メール等による返還申請には一切応じません。
- ※ 申請期間経過後の返還請求には一切応じません。
- ※ 申請の際、返還先口座の金融機関名、支店名、口座番号、口座カナ名義が記載されたもの（通帳等）の画像ファイル（jpg / jpeg）のアップロードが必要となりますので、事前に準備をしてください。なお、画像ファイルは、上記の返還先口座情報を確認できるものであれば、スマートフォン等で撮影したものでも構いません。
- ※ 返還先口座として、日本国外の金融機関は指定できません。
- ※ 指定された口座情報が誤っている、申請内容に不備がある、申請内容についての本学からの確認依頼に応答しない等の事由により、本学が申請を受理できない場合には返還しません。
- ※ 支払手数料は返還の対象とはなりません。

受験上の配慮

病気・負傷や障がい等のために、入学試験の受験に際して配慮を希望する場合（日常的に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験するなどを含む）は、試験会場設定や他の配慮内容との関係から、必ず下記の申請締切日までに「受験相談申請書」を記入して入試部にご相談ください。ただし、必ずしも全てのご希望に添えるとは限りませんので予めご了承ください。

また、配慮内容について大学との事前の相談を希望する場合は、「受験相談申請書」の該当欄にその旨を記入してください。入学後の修学上の配慮については、原則として入学手続後に別途申請となります。

なお、「受験相談申請書」の提出に関する詳細については下記本学入試情報サイトに掲載してあります。

東洋大学入試情報サイト → 入試情報 → 受験上の配慮について

URL <https://www.toyo.ac.jp/nyushi/admission/care>

【申請期限】

10月実施試験の志願者 **2026年8月3日(月) 17:00**まで

10月・11月実施試験の志願者 **2026年8月3日(月) 17:00**まで

11月実施試験の志願者 **2026年9月25日(金) 17:00**まで

12月実施試験の志願者 **2026年10月23日(金) 17:00**まで

※申請期限後は一切受付できませんのでご注意ください。

区 分	対 象 と な る 者	配 慮 事 項 (例)
視覚に関する 配慮事項	・点字による教育を受けている者 ・両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・視力以外の視機能障がいが高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者	・点字解答 ・試験時間の延長 ・拡大文字問題冊子の配付 ・拡大鏡等の持参使用 ・窓際の明るい座席を指定
聴覚に関する 配慮事項	・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 ・上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者	・注意事項等の文書による伝達 ・座席を前列に指定 ・補聴器又は人工内耳の装用
肢体不自由 に関する配慮事項	・体幹の機能障がいにより座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障がいがある者 ・上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者	・チェック解答 ・試験時間の延長 ・1階又はエレベーターが利用可能な試験室で受験 ・トイレに近い試験室で受験 ・車椅子、杖の持参使用
病弱に関する 配慮事項	・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者	・1階又はエレベーターが利用可能な試験室で受験 ・杖の持参使用 ・別室の設定
発達障がい に関する配慮事項	・学習障がい、注意欠如・多動症(注意欠陥多動性障がい)、自閉スペクトラム症(自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい)等のため配慮を必要とする者	・試験時間の延長 ・チェック解答 ・拡大文字問題冊子の配付 ・注意事項等の文書による伝達
その他	・上記の区分以外で配慮を必要とする者	・トイレに近い試験室で受験 ・座席を試験室の出入口に近いところに指定

受験票

- ・受験票の郵送は行いません。マイページの「受験・合否情報確認」から受験生各自が印刷し、試験当日に必ず持参してください。
- ・受験票の印刷可能予定日は、各方式の「試験日程」のページを確認してください。
- ・受験票は必ずA4サイズで印刷してください(モノクロおよびカラー印刷のいずれでも可能ですが、縮小や拡大印刷はしないでください)。
- ・印刷した受験票は点線に沿って折り曲げ、右上の受験番号が記載されている面を表にして、試験会場の机の上に置いてください。
- ・印刷後、記載内容に誤りがないか必ず確認してください。
- ・受験票印刷可能予定日を過ぎてもマイページから受験票を印刷することができない場合は、入試部にお問い合わせください。
- ・社会学部第1部社会学科の自己推薦入試、第一次選考は書類選考であるため受験票は発行しません。受験生は、10月2日(金)以降に「マイページ」で受験番号を確認し、出願が受理されていることを確認してください。第二次選考の受験票は、11月16日(月)以降に「マイページ」より印刷が可能となりますので、上記の指示に従って受験生各自で印刷し、試験当日に必ず持参してください。

総合型選抜 AO型推薦入試

○AO型推薦入試は、勉学に対しての明確な目的意識があり、アドミッション・ポリシーに合致する人材を募集する推薦入試です。

※各学部学科のアドミッション・ポリシーは、本学入試情報サイトに掲載しています。

試験日程	13
試験科目〔配点〕	13
受験方法の選択について	14
 第1部(昼)	
文 学 部	15
教育学科(初等教育専攻)	
国際文化コミュニケーション学科	17
経 済 学 部	19
総合政策学科	
国 際 学 部	22
グローバル・イノベーション学科	
国際地域学科(国際地域専攻) ～ジャンル・セレクト入試～	25
国際地域学科(国際地域専攻) ～Web体験授業型～	29
国 際 観 光 学 部	31
国際観光学科	
情 報 連 携 学 部	33
情報連携学科 ～コンピュータ・サイエンス型～	
情報連携学科 ～INIAD MOOCs(イニアド ムークス)型～	35
情報連携学科 ～INIAD特別スカラシップ型～	36
福祉社会デザイン学部	37
人間環境デザイン学科 ～デザイン基礎力型～	
健康スポーツ科学部	38
健康スポーツ科学科 ～アスリート型～	
理 工 学 部	40
機械工学科・都市環境デザイン学科・建築学科	
総 合 情 報 学 部	43
総合情報学科(心理・スポーツ情報専攻)	
環境イノベーション学部	45
環境イノベーション学科	
生 命 科 学 部	47
生命科学科・生体医工学科・生物資源学科	

試験日程

実施時期	出願期間	受験票 印刷可能予定日	試験日	合格発表日	入学手続締切日
10月	9月 7日(月)～ 9月10日(木)	10月 2日(金)～	10月18日(日)	11月 2日(月)	11月13日(金)
11月	11月 2日(月)～11月 5日(木)	11月16日(月)～	11月22日(日)	12月 1日(火)	12月11日(金)
12月	11月27日(金)～12月 2日(水)	12月 8日(火)～	12月13日(日)	1月 8日(金)	1月14日(木)

※ 出願期間内に、出願書類の郵送（出願期間内消印有効）および入学検定料の支払いが必要です。

※ 受験票印刷可能予定日について、受験票は上記の受験票印刷可能予定日後に受験生各自が印刷してください。詳細は「受験票」のページを確認してください。

出願期間の注意点

出願を完了するためには、「インターネット出願登録」「入学検定料の支払い」「出願書類の郵送」が必要となります。「インターネット出願登録」は出願期間最終日の23:59まで可能ですが、インターネット出願登録後に「入学検定料の支払い」「出願書類の郵送」が必要となりますので、出願期間内にすべての手続が完了するように、余裕をもって行ってください。

試験科目〔配点〕

- 下表の科目欄に配点の記載がある科目が、その学科（専攻）での試験科目です。
- 入学試験は東洋大学の各キャンパスにて実施します。各キャンパスの所在地は「キャンパス案内図」のページを参照してください。学科（専攻）によって試験会場が異なりますので、試験当日は試験会場を間違えないよう、十分に注意してください。なお、試験会場を間違えた場合、受験することはできません。

試験日	学部	学科（専攻）	書類選考	英語 ※1	プレゼンテーション・ 質疑応答	面接	プレゼンテーション・ 質疑応答・面接	ディスカッション	小論文	課題発表・ 質疑応答	（平面構成・解説文） 実技	（立体構成・解説文） 実技
10月18日(日)	第1部 (昼)	文	教育(初等教育)	100	100							
			国際文化コミュニケーション	100	100							
		経 済	総合政策	30	70							
		国 際	グローバル・ イノベーション	100	100	100						
			国際地域(国際地域)	50	100 ※2	100 ※2 ※4		100 ※2				
		国際観光	国際観光	100	100				100			
		情報連携	情報連携	100			100 ※3					
			INIAD MOOCs型1回目	100								
		健康スポーツ科	健康スポーツ科	50	100				100			
		理 工	機械工	100		100 ※3				100		
			都市環境デザイン	100		100 ※3				100		
			建築	100		100				100		
		総合情報	総合情報(心理・スポーツ情報)	40	60							
		環境イノベーション	環境イノベーション	100		100 ※3				100		
11月22日(日)	国 際	生命科	生命科	50	100	100 ※3						
			生体医工	50	100	100 ※3						
			生物資源	50	100	100 ※3						
12月13日(日)	第2部 (夜)	国 際	国際地域(国際地域)	50	100							
			Web体験授業型	100	100	100						
		情報連携	情報連携	100		100 ※3						
			INIAD MOOCs型2回目	100		100						
12月13日(日)	福祉社会デザイン	人間環境デザイン	INIAD特別スカラシップ型	100		100						
			デザイン基礎力型	50		50					100	100

※1 提出された英語外部試験のスコアをもとに本学基準に換算して採点します。

※2 いずれか1科目を受験。なお、受験科目は選択したジャンルにより異なります。

※3 口頭試問を含みます。

※4 面接は英語面接となります。

受験方法の選択について

下記の学部・学科（専攻）の入試方式において受験方法を選択できます。

(1) 対象学部・学科（専攻）・入試方式

- ・国際学部 国際地域学科（国際地域専攻） Web 体験授業型
- ・総合情報学部 総合情報学科（心理・スポーツ情報専攻）

(2) 受験方法

① 本学試験会場での受験

本学キャンパスで受験をします。

② Web 会議システム利用による受験

Web 会議システム等を利用したオンラインビデオ通話形式で受験をします。試験当日は本学試験会場で受験をする必要はありません。

なお、この受験方法を選択する場合は、下記の条件を満たす必要があります。

- ・周囲に騒音がなく他者がいない環境
- ・下記のパソコンの推奨環境を満たし、Web カメラ・マイクが搭載されたPC^{*}での受験
※搭載されていない場合は、Web カメラ・マイクを別途用意してください。
※事前に接続テストを実施します。

【Web 会議システムについて】

Web 会議システムの利用方法、事前接続テストの詳細および受験までの流れについては、東洋大学入試情報サイト内の「Web 会議システム利用受験要領」に記載されています。必ず一読し、事前に詳細を確認してください。

(注1) 事前接続テストの結果、オンラインビデオ通話接続が不可と判断された場合は、受験方法について別途連絡します。

(注2) Web 会議システム利用に伴う通信料は、受験生自身の負担となります。

■ Web 会議システム利用におけるパソコンの推奨環境 (2026 年 6 月現在)

○ Windows の場合

- ・ O S : 11(32/64bit)
- ・ ブラウザ : Microsoft Edge 最新版
Google Chrome 最新版
Firefox 最新版
- ・ C P U : Intel Dual-Core CPU 2.XX GHz または AMD プロセッサ (2GB 以上の RAM を推奨)
- ・ そ の 他 : JavaScript と Cookie が有効になっていること

○ Mac OS の場合

- ・ O S : 10.15 以降
- ・ ブラウザ : Safari 最新版
Google Chrome 最新版
Firefox 最新版
- ・ C P U : M1 チップまたは Intel CPU ベース (2GB 以上の RAM を推奨)
- ・ そ の 他 : JavaScript と Cookie が有効になっていること

※試験日時時点で推奨要件が変更となる場合があります。

文学部第1部(昼) 教育学科(初等教育専攻)

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科(専攻)を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

出願書類

(1) 志願票

(2) 調査書

[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]

(3) 課題論文

以下の「課題論文」の記載に沿って作成してください。

(4) レジューメシート [本学所定用紙]

「課題論文要旨」および初等教育専攻、特に往還型教育実習で学びたいことを、本人が自筆(黒ボールペン)で記入してください。

〈課題論文・レジューメシート提出方法〉

本学所定用紙「課題論文・レポート・レジューメシート表紙」を表紙として使用し、課題論文、レジューメシートの順に重ねて左上1か所をホチキスでとめたものを、**3部**(自筆による原本1部、原本をコピーしたもの2部)提出してください。

(5) プレゼンテーション用資料

本学所定用紙の「プレゼンテーション用資料表紙」を表紙として使用し、課題論文についてのプレゼンテーションで使用する資料(Microsoft PowerPoint®の資料[A4用紙に1枚ずつスライドを印刷したもの])を作成して、左上1か所をホチキスでとめたものを**3部**提出してください。

課題論文

以下の課題について1,800字以上2,000字以内で論文にまとめてください。ワープロソフトを用いて、A4用紙横書きで、1ページあたり40字×30行に設定してください。図表やデータがある場合は、別にA4用紙1枚の添付を認めます。図表中の文字、数字、記号は課題論文の字数には含めません。論文の最後に文字数を記載してください。ただし、タイトルや自身の名前、見出しも文字数に含めることとします。

〈課題〉

2030年度の次期学習指導要領の改訂にあわせて、デジタル教科書が紙の教科書と同じように正式な教科書として位置づけられる予定です。デジタル教科書の導入にあたっては、様々なメリット、デメリットが考えられます。あなたは、デジタル教科書を小学校で使用するとしたら、これらのメリット、デメリットを踏まえた上で、どのような場面で活用しますか。あなたの考えを理由とともに1,800字以上2,000字以内で記述しなさい。なお、執筆に際しては、必ず教育学関連の参考文献やデータを引用すること。また、引用文献・データは文末に明示し、論文の字数には含まないものとする。

試験実施概要

プレゼンテーション・質疑応答試験を実施します。
志願状況により、複数名同時に行う場合があります。

◇プレゼンテーション

プレゼンテーションは、事前に提出した課題論文およびプレゼンテーション用資料3部のうち、1部をプレゼンテーション時に受け取り、課題論文に記載した内容について、はじめにパソコン（Microsoft PowerPoint®）を投影しながら説明を行ってください。説明は1人あたり4分（厳守）とし、5名前後を1グループとして順に行います。その後、それぞれの説明に関してグループディスカッションを15分程度実施します。なお、他者のプレゼンテーションの際、筆記用具の使用を認めます。下記の＜注意事項＞をよく読んで、準備を進めてください。

＜注意事項＞

- ・プレゼンテーション資料は、Microsoft PowerPoint®を用いて作成してください。プレゼンテーションファイルはUSBフラッシュメモリに入れ、受験番号および氏名（漢字・フリガナ）を書いた任意の封筒にそのUSBフラッシュメモリを入れて、試験日当日に必ず持参してください。
- ・プレゼンテーションファイル名は受験番号（半角数字）＋氏名（漢字・フリガナ）としてください。（例 00010 東洋太郎・トウヨウタロウ）
- ・USBフラッシュメモリの中には、プレゼンテーションに必要なファイル以外は入れないでください。当日持参するファイルは事前に提出した資料と同じものとし、変更を加えないでください。
- ・プレゼンテーションを始める前に、大学のパソコンに保存して動作を確認します。プレゼンテーションファイルのPC保存、起動等に問題が生じた場合には、提出済のMicrosoft PowerPoint®印刷資料を書画カメラ（OHC）で使用していただく場合があります。
- ・プレゼンテーション会場に持ち込めるものは、プレゼンテーション発表者用の資料・時計・レーザーポインター（希望者のみ）です。

◇質疑応答

グループ全員のプレゼンテーションが終わった後に行います。試験官からは、発表者本人のプレゼンテーションの内容や志望理由について質問するほか、同グループの他の発表者のプレゼンテーションに関する質問をする場合もあります。質疑応答の際、筆記用具の使用を認めます。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割	
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～
		説明	プレゼンテーション・ 質疑応答

出願資格

- (1) 大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確認できる者)。
※大学入学資格はP.4参照。
- (2) (1)に加え、以下のいずれかを満たす者。
 - ① 実用英語技能検定(従来型を含む全方式) 1,800点以上
 - ② GTEC(CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ) 840点以上
 - ③ TEAP(4技能) 195点以上
 - ④ IELTS™ 4.5以上

※①は、2024年10月以降に1級・準1級・2級のいずれかを受験したものに限る。
 ※②～④は、過去2年以内(2024年10月以降)に受験したものに限る。
 ※③は、同一試験日のスコア合計点のみ有効。
 ※④はアカデミック・モジュールのみを適用する。One Skill Retakeによるスコアは利用不可。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 課題論文
以下の「課題論文」の記載に沿って作成してください。
- (4) レジュメシート [本学所定用紙]
「課題論文要旨」および「本学科で学びたいこと」を、本人が自筆(黒ボールペン)で記入してください。
 〈課題論文・レジュメシート提出方法〉
 本学所定用紙「課題論文・レポート・レジュメシート表紙」を表紙として使用し、課題論文、レジュメシートの順に重ねて左上1か所をホチキスでとめたものを、**3部**(自筆による原本1部、原本をコピーしたもの2部)提出してください。
- (5) 英語外部試験スコアに関する証明書
以下のいずれかの証明書をコピーし、学校長の確認印を押して提出してください。
 各種証明書は、発行までに時間を要するものもあるので、余裕をもって準備してください。
 ※各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。
 - a) 実用英語技能検定合格証明書、英検 CSE スコア証明書、または実用英語技能検定個人成績表のいずれか
 ※デジタル合格証明書、デジタル英検 CSE スコア証明書は受理できません。上記書類を必ず提出してください。
 - b) GTEC(CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ) OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
 ※ SCORE REPORT では受理できません。
 - c) TEAP(4技能) Official Score Report
 - d) IELTS™ Test Report Form(成績証明書)
 一度提出された証明書は返還しませんので、証明書の原本を提出する際は十分注意してください。なお、証明書はコピーによる提出を可としますが、コピーを提出する場合は学校長の確認印が押印されたものを提出してください。

課題論文

以下の課題について3,000字以上4,000字以内（A4用紙にワープロソフトを用いて（横書き）、1ページあたり40字×30行）の論文にまとめてください。ただし、図表やデータがある場合は、別にA4用紙1枚の添付を認めます。図表中やデータ中の文字、数字、記号は課題論文の字数には含めません。

〈課題〉

これまでは、大学生が異文化コミュニケーション能力を身につけるために海外に長期留学をすることも珍しくありませんでした。一方で、現在では「海外留学が最も効果的とは言えない」という考え方もあります。この意見に対し、賛成か、反対か、あなたの考えを論じてください。その際、自分の考えを説明するための具体的な事例を取り上げ、論理的に説明してください。あなたが実際に体験したことや身近にあった出来事、このテーマについて文献で調べたことを盛り込んでもかまいません。ただし、文献を用いる場合は必ず出典を明示してください。（出典情報は字数に含めません）

試験実施概要

プレゼンテーション・質疑応答試験を実施します。
志願状況により、複数名同時に行う場合があります。

◇プレゼンテーション

事前に提出した資料3部のうち、1部をプレゼンテーション時に受け取り、その資料のみを使用してプレゼンテーションを行ってください。時間は1人5分（厳守）とし、5～7名程度を1グループとして順に行います。なお、他者のプレゼンテーションの際、筆記用具の使用を認めます。

◇質疑応答

グループ全員のプレゼンテーションが終わった後に行います。試験官からは、発表者本人のプレゼンテーションの内容について質問するほか、同グループの他の発表者のプレゼンテーションに関する質問をする場合もあります。質疑応答の際、筆記用具の使用を認めます。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割	
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～
		説明	プレゼンテーション・ 質疑応答

出願資格

- (1) 大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。
※大学入学資格はP.4参照。
- (2) 出願資格(1)に加え、以下の①～④のいずれかを満たすこと。
 - ①実用英語技能検定(従来型を含む全方式) 1,800点以上
 - ②GTEC(CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ)840点以上
 - ③TEAP(4技能) 195点以上
 - ④IELTS™ 4.0以上

※①は、2024年10月以降に1級・準1級・2級のいずれかを受験したものに限る。
 ※②～④は、過去2年以内(2024年10月以降)に受験したものに限る。
 ※③は、同一試験日のスコア合計点のみ有効。
 ※④は、アカデミック・モジュールのみを適用する。One Skill Retakeによるスコアは利用不可。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 課題論文(1部)
以下の「課題論文」の記載に沿って作成してください。
- (4) プレゼンテーション用資料(2部)
本学所定用紙の「プレゼンテーション用資料表紙」を表紙として使用し、「課題論文についてのプレゼンテーション」で使用する資料(Microsoft PowerPoint®の資料[A4用紙に1枚ずつスライドを印刷したもの])を作成して、左上1か所をホチキスでとめたものを2部提出してください。
- (5) 出願資格確認書類
以下のいずれかの証明書をコピーし、学校長の確認印を押して提出してください。
各種証明書は、発行までに時間を要するものもあるので、余裕をもって準備してください。
※各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。
 - a) 実用英語技能検定合格証明書、英検 CSE スコア証明書、または実用英語技能検定個人成績表のいずれか
※デジタル合格証明書、デジタル英検 CSE スコア証明書は受理できません。上記書類を必ず提出してください。
 - b) GTEC(CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ) OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
※SCORE REPORTでは受理できません。
 - c) TEAP(4技能) Official Score Report
 - d) IELTS™ Test Report Form(成績証明書)

課題論文

本学所定用紙の「課題論文・レポート・レジュメシート表紙」を表紙として使用し、以下の課題に関して3,000字以上4,000字以内(A4用紙にワープロソフトを用いて、1ページあたり40字×30行、図表は1つを100字として換算)の論文にまとめ、左上1か所をホチキスでとめて1部提出してください。問題意識の有無、知識の習得度、論理的思考力などを評価します。

〈課題〉

近年の日本では、仕事や働き方に関連した、いわゆる「年収の壁」と呼ばれるものが、社会経済的な課題の1つとして、国会や審議会の場を中心に議論されてきました。首相官邸のWebサイト^(※1)は、この年収の壁によって、「『もっと働きたい』と思っても、働けないという問題」が発生していることを指摘しています。年収の壁と働き方の関連や、それを踏まえた制度・政策のあり方について、考えてみましょう。

- (1)【参照資料】に記載されているWebサイト^(※1および2)、あるいは書籍等を参考にして、
- ①そもそも、年収の壁とは、どのような現象・状況であるのか
 - ②なぜそれが「『もっと働きたい』」と思っても、働けないという問題」につながるのかという2点について説明してください。
 - ②については、「労働時間」と「働き控え」という2つの用語を用いて経済学の観点から説明をしてください。
- (2)年収の壁の存在による「『もっと働きたい』」と思っても、働けないという問題」について、あなた自身やあなたの身近な人の経験に基づいて、具体的な事例を挙げてください。身近で具体的な事例が見つからない場合は、出典を明記した上で、書籍やWebサイトから事例を探してきてかまいません。
- (3)年収の壁のうち、「106万円の壁」については、壁の金額を調整するのではなく、被用者保険の適用を拡大する方法で見直すことになりました。すなわち、一定の労働時間以上働く短時間労働者は、収入額にかかわらず勤務先の社会保険に加入し、自ら保険料を支払う方向への見直しです^(注)。このような方法のメリット、デメリットを、誰にとつてのメリット、デメリットなのかを明確にした上で説明してください。
- (注) この問題(3)では主に「106万円の壁」に関する見直しを扱います。ただし、すべての扶養されている人がただちに勤務先の社会保険に加入するわけではなく、週20時間未満で働く人などについては、なお「130万円の壁」が関係する場合があります。
- (4)あなたは、政策担当者として、「130万円の壁(社会保険の扶養認定基準)」による就業調整や人手不足に対して、以下のいずれか一方を選んで推進する立場になったとします。
- ①「壁」となる年収基準を130万円から引き上げ(例：178万円など)、社会保険料が免除される範囲を拡大する。
 - ②「壁(第3号被保険者制度など)」そのものを段階的に撤廃し、全ての労働者が自らの収入に応じて社会保険に加入・負担する仕組みへ移行する。
- ①と②のそれぞれが労働市場(特に賃金、労働供給、雇用のあり方)に与える影響について、メリット・デメリットを比較した上で、あなたが政策担当者の立場なら、どちらを選択するか、その理由とともに説明してください。
- (5)「『もっと働きたい』」と思っても、働けないという問題」について、「年収の壁・支援強化パッケージ^(※2)」に関連するもの以外に、どのような対策が考えられるでしょうか。

〈課題論文作成上の注意事項〉

1. 利用した資料等については、【参照資料】として文末にまとめて出典を明記してください。
2. 回答を作成するにあたって ChatGPT 等の AI 系ツールを用いた場合、どのツールをどの箇所でどのように用いたかを【AI 系ツールの利用】として、【参照資料】の後ろにおいて説明してください。
3. 【参照資料】および【AI 系ツールの利用】に関する説明文は課題論文の字数制限に含みません。

【参照資料】

※1 首相官邸(2026)「いわゆる『年収の壁』対策」首相官邸ホームページ、2026年5月11日閲覧、
<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/nennsyuunokabe/index.html>

※2 厚生労働省(2025)「年収の壁・支援強化パッケージ」厚生労働省ホームページ、2026年5月11日閲覧、
https://www.mhlw.go.jp/stf/taiou_001_00004.html

試験実施概要

プレゼンテーション・質疑応答試験を実施します。

◇プレゼンテーション

プレゼンテーション方法は、パソコン(Microsoft PowerPoint®)を投影して説明を行ってください。下記の〈注意事項〉をよく読んで、準備を進めてください。

※プレゼンテーションは、課題論文に記載した内容について、事前に提出した資料を使用して、**8分以上～10分以内(厳守)**で試験監督者にわかりやすく説明してもらいます。

〈注意事項〉

- ・ プレゼンテーション資料は、Microsoft PowerPoint®を用いて作成してください。プレゼンテーションファイルはUSBフラッシュメモリに入れ、受験番号および氏名(漢字・フリガナ)を書いた任意の封筒にそのUSBフラッシュメモリを入れて試験日当日に持参してください。
- ・ プレゼンテーションファイル名は受験番号(半角数字)+氏名(漢字・フリガナ)(例 00010 東洋太郎・トウヨウタロウ)としてください。USBフラッシュメモリの中にはプレゼンテーションに必要なファイル以外は入れないでください。当日持参するファイルは事前に提出した資料と同じものとし、変更を加えないでください。
- ・ プレゼンテーションを始める前に大学のパソコンに保存して動作を確認します。プレゼンテーションファイルのPC保存、起動等に問題が生じた場合には、提出済みのMicrosoft PowerPoint®印刷資料を書画カメラ(OHC)で使用していただく場合があります。
- ・ プレゼンテーション会場に持ち込めるものは、プレゼンテーション発表者用の資料・時計・レーザーポインター(希望者のみ)です。

◇質疑応答

プレゼンテーション後、5～15分程度で行います。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割	
白山キャンパス	9:00	9:00～9:30	9:30～
		説明および発表準備	プレゼンテーション・ 質疑応答

国際学部第1部(昼) グローバル・イノベーション学科

※この入試方法は、10月実施・12月実施の計2回実施します。なお、各回毎に出願することができます。

出願資格

- (1) 大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

※大学入学資格はP.4を参照

- (2) 上記の出願資格に加え、自身の英語能力を客観的に証明することができる者。
客観的な証明にあたっては、以下のいずれかをを用いることとする。

【10月実施】

- ① 実用英語技能検定(従来型を含む全方式)
- ② GTEC(CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ)
- ③ TEAP(4技能)
- ④ IELTS™

※①は、2024年10月以降に1級・準1級・2級のいずれかを受験したものに限る。

※②～④は、過去2年以内(2024年10月以降)に受験したものに限る。

※③は、同一試験日のスコア合計点のみ有効。

※④は、アカデミック・モジュールのみを適用する。One Skill Retakeによるスコアは利用不可。

【12月実施】

- ① 実用英語技能検定(従来型を含む全方式)
- ② GTEC(CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ)
- ③ TEAP(4技能)
- ④ IELTS™

※①は、2024年12月以降に1級・準1級・2級のいずれかを受験したものに限る。

※②～④は、過去2年以内(2024年12月以降)に受験したものに限る。

※③は、同一試験日のスコア合計点のみ有効。

※④は、アカデミック・モジュールのみを適用する。One Skill Retakeによるスコアは利用不可。

出願書類

- (1) 志願票

- (2) 調査書

[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]

- (3) 課題レポート

以下の「課題レポート」の記載に沿って作成し、2部提出してください。

- (4) 志願理由書[本学所定用紙]

・出力後、本人が自筆(黒ボールペン)で記入してください。

・「Instruction for Global Innovation Studies (GINOS) Application Essay」を読み、指定された設問について理由書を英語で作成してください。「Instruction for Global Innovation Studies (GINOS) Application Essay」および志願理由書[本学指定用紙]は、本学入試情報サイトよりダウンロードしてください。

- (5) プレゼンテーション資料

本学所定用紙の「プレゼンテーション用資料表紙」を表紙として使用し、A4用紙スライド10枚以内で作成して、左上1か所をホチキスでとめたものを2部提出してください。なお、資料の印刷はカラー刷りとします。

(6) 英語の能力に関する証明書

自身の英語能力を証明するための以下の英語外部試験スコアの証明書のうち、いずれか一つを提出してください。提出された英語外部試験のスコアを本学基準に換算して、その結果採点します。複数の結果を保持している方は、P.24の「英語外部試験スコアの得点換算方法」を参照の上、最も高い換算点となるものを自身で確認し、そのいずれか一つを提出してください。

各種証明書は、発行までに時間を要するものもあるので、余裕をもって準備してください。

※各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。

実用英語技能検定合格証明書、英検 CSE スコア証明書、または実用英語技能検定個人成績表のいずれか

※デジタル合格証明書、デジタル英検 CSE スコア証明書は受理できません。上記書類を必ず提出してください。

GTEC (CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ) … OFFICIAL SCORE CERTIFICATE

※ SCORE REPORT では受理できません。

TEAP (4技能) … Official Score Report

IELTS™ … Test Report Form

一度提出された証明書は返還しませんので、証明書の原本を提出する際は十分注意してください。なお、証明書はコピーによる提出を可としますが、コピーを提出する場合は学校長の確認印が押印されたものを提出してください。

(7) 客観資料

必要に応じて能力を証明する客観資料などを提出してください。ただし義務教育修了後に取得したものに限り、資料が無いものは、義務教育修了以前に取得したものと判断します。

〔例〕合格証書等のコピー

課題レポート

【作成・提出方法】

- ・本学所定用紙の「課題論文・レポート・レジュメシート表紙」を表紙として使用し、左上1か所をホチキスでとめたものを**2部**提出してください。
- ・A4用紙にワープロソフトを用いて、すべて英文で500words以上600words以内で作成してください。なお、フォントはTimes New Romanを使用してください。
- ・図表やデータがある場合は、別にA4判1枚の添付を認めます。
- ・書籍・データ等の引用を行う際は、引用元を必ず明示してください。(字数制限500～600wordsには含めない)
(注) 英語のワード数 (words) については、日本語の場合とは数え方が異なるので注意すること。
例) This is a book. → 4 words と数える

【提出部数】

2部 (各1部ずつ表紙をつけ、ホチキスでとめること)

【課題内容】**キャリア・プレゼンテーション型**

次の課題について実際に「グローバル・アントレプレナーシップ領域」「グローバル・ビジネス領域」「グローバル・コラボレーション領域」の3つの柱からなる、グローバル・イノベーション学科のカリキュラムマップ全体を参考にしながら答えてください。

国際学部カリキュラムマップ (<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/undergraduate/grs/curriculum/>)

〈課題〉

グローバル化の進展により、世界的な相互依存が深まった。その過程で、生産、輸送、通信の技術が進歩し、これに伴い人、物、アイデアの国際的な移動が活発化している。同時に、貿易自由化に伴う世界市場における競争が、製品の品質向上、そして生産コストの削減に結びついている。金融市場をみても、国際的な資本の流れが後押しする形で、世界各地で技術進歩が可能となった。これらにより、経済効率が高まり、生活水準が向上した。しかし、現代の国際社会は、環境の悪化や貧困、不平等、紛争、人権侵害など、多くの深刻な問題に直面している。特に、環境問題や安全保障は、国際社会にとって重大な課題となっている。加えて、移民・難民の問題が頻発し、地政学的な緊張も新たな課題を生み出している。

地球規模の問題を解決するためには、国際的な協力が重要である。しかしながら、政治的な違いや利害の対立、国家間の信頼の不足など、協力には困難が伴う。グローバルな課題に包括的かつ効果的に対処するためには、これらの障害を克服することが不可欠である。

もしそうであるならば「グローバル化」の課題を克服し、適切に機能させるために何をすべきか、あなた自身の今後のキャリアパスを軸として、あなたの考えを論じなさい。その際には、あなた自身が大学で何を学び、どのような学生生活を送り、卒業後どのような生き方・働き方をして自分の夢を実現したいか、それぞれの点について十分に述べなさい。

試験実施概要

プレゼンテーション・質疑応答試験を実施します。

◇プレゼンテーション

- ・試験官2名に対し受験生1名の形式で実施し、英語でプレゼンテーションを行っていただきます。
- ・課題レポートの内容を発表資料にまとめて説明するもので、時間は10分以内（厳守）です。
- ・プレゼンテーションの内容は、出願時に提出した課題レポートの内容から逸脱したものは認められません。
- ・出願時に提出したプレゼンテーション資料（A4用紙スライド10枚以内）を用いてプレゼンテーションを行ってください。当日使用する資料は各自印刷して持参してください。
- ・試験当日は、出願時に提出したプレゼンテーション資料のみ使用することを認めます。それ以外の資料・書類・機材・用具等を使用することはできません。プレゼンテーション資料の差し替えも認めません。

◇質疑応答

プレゼンテーションの後に試験官2名に対し受験生1名の形式で10分程度の時間で実施し、すべて英語で質疑応答を行います。

英語外部試験スコアの得点換算方法

提出された英語外部試験スコアを以下の本学基準に換算して採点します。

換算点	実用英語技能検定(英検) ※従来型を含む全方式	GTEC (CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ)	TEAP (4技能)	IELTS™
100	2,304以上	1,180以上	309以上	6.0以上
90	2,150～2,303	1,050～1,179	253～308	5.5
80	1,980～2,149	960～1,049	225～252	5.0
60	1,800～1,979	840～959	195～224	4.0～4.5
30	1,799以下	839以下	194以下	3.5以下

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割	
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～
		説明	プレゼンテーション・ 質疑応答

国際学部第1部(昼) 国際地域学科(国際地域専攻)

～ジャンル・セレクト入試～

※インターネット出願登録時に、下記のジャンルのうち、いずれか1つを選択してください。

実施概要

ジャンル・セレクト入試では3つのジャンルの中から、皆さんが希望するジャンルを1つ選択して受験することができます。各ジャンルの概要は、以下のとおりです。

ジャンルA：国際コミュニケーション型

このジャンルは、英語による課題レポートを通して、国内外の社会課題に対する自身の問題関心について説明するとともに、英語面接を通じて英語でのコミュニケーションを行うものです。入学後、海外フィールドワークや長期留学に挑戦したい方、英語を通じたコミュニケーションに興味を持っている方におすすめです。

ジャンルB：地域づくりエキスパート型

このジャンルは、地域づくり・活性化や災害からの復興について関連分野から自由にテーマを設定し、テーマの概要や皆さんが考える対応策・解決策をプレゼンテーションし、質疑応答を行います。

自分が暮らす地域や、海外の地域など、様々な地域の魅力を知ることや、地域の課題を把握し、課題解決に向けて意欲的に学んでみたいと考える方におすすめです。

ジャンルC：動画を用いたゼミナール型

このジャンルは、本学科で特に力を入れている「ゼミナール(少人数演習)」を疑似体験しながら、入学後に皆さんが学ぶ地域づくりや国際的なテーマについてディスカッションを行います。事前に各自が作ってきた動画を皆さんで観た後で、共通したテーマについて話し合いを行い、各自の考えを深めます。

他者と協働しながら解決策を探ったり、多様な意見を持つ人々の合意形成を図ったりする意欲・姿勢を高く評価します。

出願資格

(1)【全ジャンル共通】

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科(専攻)を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

※大学入学資格はP.4を参照。

(2)【ジャンルAのみ】

出願資格(1)に加え、以下のいずれかを満たす者。

- ①英語の学習成績の状況 4.2以上
- ②実用英語技能検定(従来型を含む全方式) 1,980点以上
- ③GTEC(CBTタイプ、検定版Advancedタイプ) 960点以上
- ④TEAP(4技能) 225点以上
- ⑤IELTS™ 5.0以上

※②は、2024年10月以降に1級・準1級・2級のいずれかを受験したものに限る。

※③～⑤は、過去2年以内(2024年10月以降)に受験したものに限る。

※④は、同一試験日のスコア合計点のみ有効。

※⑤は、アカデミック・モジュールのみを適用する。One Skill Retakeによるスコアは利用不可。

出願書類

(1) 志願票

(2) 調査書

〔高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書〕

(3) 課題レポート

次の「課題レポート」の項目を参照してください。

(4) 志願理由書〔本学所定用紙〕

出力後、本人が自筆(黒ボールペン)で記入してください。

なお、ジャンルAを選択する場合は、すべて英語で記入してください。

(5) 客観資料

【全ジャンル共通】

必要に応じて能力を証明する客観資料などを提出してください。ただし義務教育修了後に取得したものに限りです。(資料が無いものは、義務教育修了以前に取得したものと判断します。)

〔例〕合格証書等のコピー

【ジャンルA】

出願資格②②～⑤に該当する者は以下のいずれかの英語能力を証明する書類を必ず提出してください。なお、一度提出された証明書は返還しませんので、証明書の原本を提出する際は十分注意してください。証明書はコピーによる提出を可としますが、コピーを提出する場合は学校長の確認印が押印されたものを提出してください。

各種証明書は、発行までに時間を要するものもあるので、余裕をもって準備してください。

※各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。

実用英語技能検定合格証明書、英検 CSE スコア証明書、または実用英語技能検定個人成績表のいずれか

※デジタル合格証明書、デジタル英検 CSE スコア証明書は受理できません。上記書類を必ず提出してください。

GTEC (CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ) … OFFICIAL SCORE CERTIFICATE

※SCORE REPORT では受理できません。

TEAP (4技能) … Official Score Report

IELTS™ … Test Report Form

【ジャンルBおよびC】

以下のいずれかの英語能力を証明する書類を持っている場合には、提出してください(任意提出)。なお、一度提出された証明書は返還しませんので、証明書の原本を提出する際は十分注意してください。証明書はコピーによる提出を可としますが、コピーを提出する場合は学校長の確認印が押印されたものを提出してください。

各種証明書は、発行までに時間を要するものもあるので、余裕をもって準備してください。

※各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。

①実用英語技能検定(従来型を含む全方式) … 実用英語技能検定合格証明書、英検 CSE スコア証明書、または実用英語技能検定個人成績表のいずれか

※デジタル合格証明書、デジタル英検 CSE スコア証明書は受理できません。上記書類を必ず提出してください。

② GTEC (CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ) … OFFICIAL SCORE CERTIFICATE

※SCORE REPORT では受理できません。

③ TEAP (4技能) … Official Score Report

④ IELTS™ … Test Report Form

課題レポート

選択するジャンル毎に、課題レポートの内容および提出方法が異なります。

【提出方法】

・本学所定用紙の「課題論文・レポート・レジュメシート表紙」を表紙として使用してください。

・選択したジャンルに応じて、以下の仕様・基準で論文にまとめて、左上1か所をホチキスでとめたもの**2部**提出してください。また、図表やデータがある場合は、すべてのジャンルにおいて、別にA4判1枚の添付を認めます。なお、書籍またはデータ等の引用を行う際は、引用元を必ず明示してください(字数制限には含めない)。

ジャンルA：A4用紙にワープロソフトを用いて、すべて英文で500words以上600words以内で作成してください。

なお、フォントはTimes New Romanを使用してください。

ジャンルB：A4用紙にワープロソフトを用いて、3,000字以内で作成してください。

ジャンルC：A4用紙にワープロソフトを用いて、1,500字以内で作成してください。

(注) 英語のワード数(words)については、日本語の場合とは数え方が異なるので注意してください。

例) This is a book. →4wordsと数える。

【提出部数】

2部(各1部ずつ表紙をつけ、ホチキスでとめること)

【課題内容】**◇ジャンルA**

以下の(1)～(3)の中から1つ選択し、各自テーマを設定して、自分の設定したテーマの概要と、自分の考える対応策について論じてください。

- (1) 国際的な問題に関するテーマ(例：貧困削減、開発支援、異文化理解など)
- (2) 地域課題に関するテーマ(例：地域活性化、コミュニティ開発、まちづくりなど)
- (3) 環境問題に関するテーマ(例：気候変動、都市環境汚染など)

◇ジャンルB

以下はテーマの例ですが、まちづくりや地域活性化などに関するものであれば、どのようなテーマでもかまいません。各自テーマを設定し、自分の設定したテーマに沿って、概要と自分の考える対応策について論じてください。なお、出願者の地域づくりの活動やこれまでの経験に基づいた議論を評価します。

例①：過疎地域におけるコミュニティの維持・再生のあり方

例②：新たなまちづくりの姿とは

例③：商店街の役割とその活性化

例④：復興の担い手について

例⑤：外国人との共生をめざすコミュニティ

◇ジャンルC

あなたが現在住む市区町村で「地域の魅力」だと考える特定の場所について動画と課題レポートを使って紹介してください。

- (1) 約1分間の紹介動画を自ら撮影・作成してください。1分間の動画の冒頭20秒間には、自分が連続して写っている映像を入れてください。(動画のデータは「Windows Media Player」で再生できることを事前に確認しておくこと。)
- (2) 課題レポートでは、動画で採用した地域の基本情報やその地域・場所を選んだ理由などの概要をまとめてください。

試験実施概要

選択するジャンルに応じて、試験内容が異なります。

なお、いずれのジャンルにおいても当日の資料として提出した課題レポートの写しを持ち込んでもかまいません。

ジャンルA

英語面接試験を実施します。

試験官2名に対し受験生1名の形式で実施し、15分程度の時間で行います。課題レポートに対するインタビューを含み、志望理由や将来の展望に関して尋ねます。

ジャンルB

プレゼンテーション・質疑応答試験を実施します。

◇プレゼンテーション

課題レポートの内容を発表資料にまとめて説明するもので、発表資料としてポスター1枚(両面利用不可、片面に発表内容を記載)を用いて10分以内(厳守)で行っていただきます。試験当日はポスターを黒板等に張り付け、プレゼンテーションを行っていただきますので使用するポスター1枚を持参してください。

【作成方法】

- ・大きさは模造紙(四六版)のサイズ程度(788mm×1091mm)とします。ただし、用紙の手配が難しい場合は、A1(594mm×841mm)～A0(841mm×1189mm)の範囲は可とします。
- ・紙の色は白色としてください。カラー用紙は不可とします。
- ・文字の大きさは、60ポイント(21mm×21mm)を目安として作成してください。それ以下の場合、試験監督に見えにくくなる可能性があります。文字色に制限はありません。
- ・当日持参する際は、折り曲げても構いません。
- ・ポスター作成については手書き、パソコン等を利用するなど作成方法は自由ですが、上記作成条件を基準としてください。なお、ポスター作成方法についての問い合わせには一切応じません。
- ・発表後、ポスターは提出していただきます。なお、提出した資料の返却はしません。

◇質疑応答

プレゼンテーション後に10分程度の時間で実施します。

ジャンルC

ディスカッション試験を実施します。

- ・試験当日は課題レポートで作成した動画のデータをUSBフラッシュメモリに格納して持参してください。(動画のデータは「Windows Media Player」で再生できることを事前に確認してください。)
- ・ディスカッションは試験官2名に対し受験生4～6名程度を目安としてグルーピングを行います。
- ・ディスカッション冒頭で、受験生1名あたり3分以内で①自己紹介、②志望理由、③大学生活で重要だと思うこととその理由を述べていただきます。
- ・持参した動画を全員で観た後に、制限時間20分間の中で課題レポートに関するテーマ(試験当日に発表)についてグループで議論を行います。ディスカッション中は自由にメモを取ることができます。
- ・グルーピングが困難な場合、集団面接または個別面接に変更して試験を実施する場合があります。その場合、面接[配点:100]として実施します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割	
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～
		説明	英語面接 プレゼンテーション・質疑応答 ディスカッション

～Web 体験授業型～

実施概要

この入試は、本学入試情報サイトに掲出されている「Web 体験授業」の動画を視聴した上で、出願時に課題レポート・プレゼンテーション資料を提出していただき、試験当日にプレゼンテーション・質疑応答を行うものです。

本学(白山キャンパス)で受験する方法のほか、Web 会議システム等を利用してオンラインビデオ通話形式で受験することも可能であるため、遠隔地に在住している受験生でも、自宅等で試験を受けることができます。

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科(専攻)を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確認できる者)。

※大学入学資格はP.4 参照。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 課題レポート
次の「課題レポート」の記載に沿って作成したものを **2部**提出してください。
- (4) 志願理由書[本学所定用紙]
出力後、本人が自筆(黒ボールペン)で記入してください。
- (5) プレゼンテーション資料
A4用紙スライド10枚以内で作成して、左上1か所をホチキスでとめたものを **2部**提出してください。なお、資料の印刷はカラー刷りとします。
- (6) 客観資料
必要に応じて能力を証明する客観資料などを提出してください。(ただし義務教育修了後に取得したものに限り、資料が無いものは、義務教育修了以前に取得したものと判断します。)
[例] 合格証書等のコピー
- (7) 英語外部試験スコアに関する証明書
以下のいずれかの英語能力を証明する書類を持っている場合には、提出してください(任意提出)。なお、一度提出された証明書は返還しませんので、証明書の原本を提出する際は十分注意してください。証明書はコピーによる提出を可としますが、コピーを提出する場合は学校長の確認印が押印されたものを提出してください。
各種証明書は、発行までに時間を要するものもあるので、余裕をもって準備してください。
※各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。
① 実用英語技能検定(従来型を含む全方式) … 実用英語技能検定合格証明書、英検 CSE スコア証明書、または実用英語技能検定個人成績表のいずれか
※デジタル合格証明書、デジタル英検 CSE スコア証明書は受理できません。上記書類を必ず提出してください。
② GTEC (CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ) … OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
※ SCORE REPORT では受理できません。
③ TEAP (4技能) … Official Score Report
④ IELTS™ … Test Report Form

課題レポート

【提出方法】

- ・本学所定用紙の「課題論文・レポート・レジュメシート表紙」を表紙として使用し、左上1か所をホチキスでとめたものを提出してください。
- ・A4用紙にワープロソフトを用いて、3,000字以内で論文にまとめてください。
- ・図表やデータがある場合は、別にA4用紙1枚の添付を認めます（字数制限には含めない）。
- ・左上1か所をホチキスでとめて提出してください。

【提出部数】

2部（各1部ずつ表紙をつけ、ホチキスでとめること）

【課題内容】

次のAからMのWeb体験授業から1つを選択した上で、(1)講義の内容を要約し、(2)その内容をふまえて、あなたが取り組みたいと思う地域貢献活動について述べてください。

(<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/admission/admission-data/requirements-special/>)

- A 藪長 千乃教授「福祉を比較する」
- B 岡村 敏之教授「魅力ある中心市街地を創り出すための交通まちづくり」
- C 志摩 憲寿教授「開発途上国におけるスラムの現状と居住環境改善策」
- D 荒巻 俊也教授「開発途上国の水・衛生の問題は改善に向かっているのか」
- E 岡本 郁子教授「発展途上国の農村開発プロジェクトー3つのキーワードー」
- F 中島 晶子教授「国家とグローバリゼーションーヨーロッパ地域研究からー」
- G 久松 佳彰教授「THE GROWING DOMINICAN REPUBLIC AND STAGNANT HAITIーAn Introduction to Comparative Growth Analysisー」
- H 山崎 義人教授「地域の資源を活かす まちづくり」
- I 中村 香子教授「進化する「伝統衣装」ー東アフリカのマサイ系牧畜民を事例にー」
- J 鈴木 鉄忠教授「Rethinking the Global-Local “glocalization” of food and cities」
- K ギャラガー ニコール講師「The Impact of the SDGs on Higher Education」
- L 金子 聖子准教授「Education for refugees: Role of learning centers in Malaysia」
- M 沼尾 波子教授「地域の多様性と地方自治体ー多文化共生の視点から考えるー」

※「Web体験授業」を担当している教員への問い合わせについては一切応じません。

試験実施概要

プレゼンテーション・質疑応答試験を実施します。

◇プレゼンテーション

- ・試験官2名に対し受験生1名の形式で実施し、課題レポートの内容を発表資料にまとめて説明するもので、時間は7分以内（厳守）です。
- ・出願時に提出したプレゼンテーション資料（スライド10枚以内）を用いてプレゼンテーションを行ってください。当日使用する資料は、各自印刷して持参してください。
- ・試験当日は、出願時に提出したプレゼンテーション資料のみ使用することを認めます。それ以外の資料・書類・機材・用具等を使用することはできません。プレゼンテーション資料の差し替えも認めません。

◇質疑応答

- ・プレゼンテーションの後に、試験官2名に対し受験生1名の形式で8分程度の時間で実施します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割	
白山キャンパス※	9:00	9:00～9:20	9:20～
		説明	プレゼンテーション・ 質疑応答

※この入試方式では、受験方法を選択できます。詳細はP.14の「受験方法の選択について」を確認してください。

出願資格

- (1) 大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。
※大学入学資格はP.4参照。
- (2) 上記の出願資格に加え、自身の英語能力を客観的に証明することができる者。客観的な証明にあたっては、以下のいずれかを用いることとする。
 - ① 実用英語技能検定(従来型を含む全方式) 1,800点以上
 - ② GTEC(CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ) 840点以上
 - ③ TEAP(4技能) 195点以上
 - ④ IELTS™ 4.5以上

※①は、2024年10月以降に1級・準1級・2級のいずれかを受験したものに限る。
 ※②～④は、過去2年以内(2024年10月以降)に受験したものに限る。
 ※③は、同一試験日のスコア合計点のみ有効。
 ※④はアカデミック・モジュールのみを適用する。One Skill Retakeによるスコアは利用不可。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 課題レポート
別項の「課題レポート」の記載に沿って作成し、提出してください。
指定された課題についてプレゼンテーションを行っていただきます。そのプレゼンテーションの内容について、レポートにまとめたものを提出時に提出してください。また、課題の作成において、出典資料を直接複写したものをそのまま利用することは認めません(出典資料から引用した場合は、引用元を必ず記載すること)。
- (4) 志願理由書[本学所定用紙]
出力後、本人が自筆(黒ボールペン)で記入してください。
- (5) 英語能力を証明する書類
以下のいずれかの証明書をコピーし、学校長の確認印を押して提出してください。
各種証明書は、発行までに時間を要するものもあるので、余裕をもって準備してください。
※各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。
※一度提出された証明書は返還しませんので、証明書の原本を提出する際は十分注意してください。
 - a) 実用英語技能検定合格証明書、英検 CSE スコア証明書、または実用英語技能検定個人成績表のいずれか
※デジタル合格証明書、デジタル英検 CSE スコア証明書は受理できません。上記書類を必ず提出してください。
 - b) GTEC(CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ) OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
※ SCORE REPORT では受理できません。
 - c) TEAP(4技能) Official Score Report
 - d) IELTS™ Test Report Form(成績証明書)
- (6) 客観資料
必要に応じて能力を証明する客観資料などを提出してください。ただし、義務教育修了後に取得したものに限り、資料が無いものは、義務教育修了以前に取得したものと判断します。
[例] 合格証書等のコピー

課題レポート

<課題>

観光立国の実現に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための観光立国推進基本計画（第5次）が2026年3月に決定されました。これまでの取組みによって訪日外国人旅行消費額が約9.5兆円（2025年実績）に達するなど、観光は日本経済をリードする戦略産業として大きな効果を生み出している一方、様々な課題も指摘されています。それらを念頭に計画では下記A～Cの3つの施策の柱と、それに対応する1)～12)の視点を設定しています。

A. インバウンドの戦略的な誘客と住民生活の質の確保との両立

- 1) 局所的・地域的に生じている混雑・マナー違反等の個別課題への対応（民泊関係含む）
- 2) 地方誘客を進めるための広域的な体制の整備
- 3) 地方誘客及び消費拡大に効果の高い観光コンテンツの充実
- 4) 地方部への交通ネットワークの機能強化

B. 国内交流・アウトバウンド拡大

- 5) 休暇の分散・旅行需要の平準化
- 6) 関係人口の創出や二地域居住の促進
- 7) 国内・海外旅行の需要喚起に向けた機運醸成
- 8) 観光復興に向けた再生支援

C. 観光地・観光産業の強靱化

- 9) 持続可能性を高めるためのインバウンド市場・観光コンテンツの多様化
- 10) 観光DX、省力化投資等による生産性向上
- 11) 健全な競争環境の整備
- 12) ユニバーサルツーリズムなど多様なニーズへの対応

我が国が目指すべき観光の2030年の姿を「戦略産業として、日本の魅力・活力を次世代にも持続的に継承・発展させていく観光」と設定した時、上記1)～12)の中で、**自ら特に重要と考えるものを1つ選択してください**。その理由を説明するとともに、現状の問題点等を示してください。さらに、基本計画に示された施策や自ら望ましいと考える提案の有効性（それらによって問題点等が改善されるロジックや期待される効果など）について説明してください。

（参考文献）

観光庁ホームページ

https://www.mlit.go.jp/kankoch/seisaku_seido/kihonkeikaku.html（2026.6.8にアクセス）

<提出方法>

- ・課題に関するプレゼンテーションの要旨を、ワープロソフトを用いてA4用紙（40字×36行）1枚以内で作成してください。
- ・図表やデータ、引用元がある場合は、別紙（要旨と別のA4用紙）1枚にまとめて記載してください。
- ・本学所定用紙の「課題論文・レポート・レジュメシート表紙」を表紙として使用し、表紙・要旨・別紙の順に並べて、左上1か所をホチキスでとめたものを出願時に**4部**提出してください。

試験実施概要

小論文試験およびプレゼンテーション・質疑応答試験を実施します。

◇プレゼンテーション・質疑応答

- ・教員2名に対し受験生5～7名程度にグルーピングし、受験生1名あたり3分間で課題レポートのプレゼンテーションを行っていただきます（時間を過ぎた場合は途中打ち切り）。
- ・提出した課題レポート4部のうち、1部をプレゼンテーション時に渡しますので、出願時に提出したレポートのみを使用してプレゼンテーションを行ってください（パソコン、配布資料などの事前提出物以外のものは使用不可）。
- ・プレゼンテーションに続いて質疑応答を行います。本人のプレゼンテーションに対するもののほか、同一グループの他者のプレゼンテーションに対する意見を求めること、ディスカッションを行っていただくこともあります。
- ・他者のプレゼンテーションの際に、メモを取る等の目的のために筆記用具を使用することを認めます。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
		9:00～9:20	9:20～10:20	10:50～
白山キャンパス	9:00	説明	小論文	プレゼンテーション・ 質疑応答

※プレゼンテーション・質疑応答について、待ち時間が長時間となる可能性があります。各自、軽食を準備・持参してください。

～コンピュータ・サイエンス型～

出願資格

以下の(1)～(3)のすべてを満たす者。

- (1) 大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

- (2) 自作ソフトウェアを、GitHub上で公開していること。
- (3) INIAD Admissions Officeによる事前適性審査を受験し、学部の定めた基準を満たす者。

事前適性審査の受験について

情報連携学部(INIAD)を志願する方は、オンラインでの「事前適性審査(試験科目:書類選考)」の受験が必要となります。

INIAD Admissions Officeサイトにエントリーし、事前にプレゼンテーション資料を提出していただきます。

審査の結果、基準を満たした方のみ出願が可能となります。

受験方法などの詳細は、INIAD Admissions Officeサイト(<https://www.iniad.org/admissions-office/>)を確認してください。

「事前適性審査」に関する問い合わせ先

赤羽台事務課 E-mail: admissions-office@iniad.org

プレゼンテーション資料について

本入試では、自身がGitHub上で公開している自作ソフトウェア^{*}について説明した資料を作成し、事前適性審査時にその内容を審査します。資料の内容については、INIAD Admissions Officeサイトを確認してください。

※スマートフォンアプリ、Webアプリケーション、PC上で動作するソフトウェア、Raspberry Pi等の上で動作するソフトウェアなどを想定していますが、標準的に手に入る環境で動作するプログラムであれば特に限定はしません。

※教育機関やプログラミングスクールの授業や課題の一環として取り組んだソフトウェアではなく、個人として開発しているソフトウェアに限定します。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]

- (3) 志願理由書[本学所定用紙]

出力後、本人が自筆(黒ボールペン)で記入してください。

- (4) 事前適性審査受験証明書

事前適性審査を受験し、学部の定めた基準を満たした場合に発行される受験証明書をA4サイズ用の紙で印刷してください。

試験実施概要

プレゼンテーション・質疑応答・面接試験（口頭試問を含む）を実施します。なお、全体で30分程度の時間を想定して行います。

◇プレゼンテーション

- ・個人形式で、事前適性審査時に提出したプレゼンテーション資料を要約して、受験生1人あたり5分（厳守）で行います。
- ・自身が所有するPCを持参（※）し、発表していただきます。その他の資料を持ち込むことはできません。自身でソフトウェアを開発していることが分かるように留意して、説明を行ってください。

※機器、備品の貸出は行いません。電源ケーブルのほか、必要な周辺機器は持参してください。

※HDMI（タイプA）ケーブルを接続して、画面を投影します。自身のPCに直接接続できない場合は、適合する変換アダプタを必ず持参してください。

◇質疑応答・面接（口頭試問を含む）

事前適性審査やプレゼンテーションの内容に関する質疑応答を行うほか、志望動機や高校での数学の学習度合い、AI技術をはじめとした情報通信技術等について、質問をします。質疑応答・面接の際、一部筆記用具を使用することがあります。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割	
赤羽台キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～
		説明	プレゼンテーション・質疑応答・ 面接（口頭試問を含む）

情報連携学部第1部(昼) 情報連携学科

～INIAD MOOCs (イニアド ムークス) 型～

※この入試方式は、10月実施・12月実施の計2回実施します。なお、各回毎に出願することができます。

出願資格

以下の(1)～(2)のすべてを満たす者。

- (1) 大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

- (2) INIAD Admissions Officeによる事前適性審査を受験し、学部の定めた基準を満たす者。

事前適性審査の受験について

情報連携学部(INIAD)を志願する方は、オンラインでの「事前適性審査(試験科目:プログラミング、数学)」の受験が必要となります。

本審査は、一定期間の学習準備を行なった上で、INIADの学習分野について十分な適性があるかをあらかじめ確認するためのものです。

審査の結果、基準を満たした方のみ出願が可能となります。

受験方法などの詳細は、INIAD Admissions Officeサイト(<https://www.iniad.org/admissions-office/>)を確認してください。

「事前適性審査」に関する問い合わせ先

赤羽台事務課 E-mail: admissions-office@iniad.org

出願書類

- (1) 志願票

- (2) 調査書

[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]

- (3) 志願理由書[本学所定用紙]

出力後、本人が自筆(黒ボールペン)で記入してください。

- (4) 事前適性審査受験証明書

事前適性審査を受験し、学部の定めた基準を満たした場合に発行される受験証明書をA4サイズの用紙で印刷してください。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割	
赤羽台キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～
		説明	面接*

※面接には口頭試問を含みます。口頭試問では、事前適性審査での学習範囲について、口頭で試験を行います(筆記用具の使用可)。

～INIAD 特別スカラシップ型～

出願資格

以下の(1)～(2)のすべてを満たす者。

(1)大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

※大学入学資格は P. 4 参照。

(2)INIAD Admissions Office による事前適性審査を受験し、学部の定めた基準を満たす者。

事前適性審査の受験について

この入試を志願する方は、出願前にオンラインでの「事前適性審査 (INIAD 特別スカラシップ型)」の受験が必要となります。

本審査では、AIによる総合型テストを行い、学力、思考力、発想力、協働力、学習意欲などを多面的に審査します。総合型テストで基準を満たした受験生に対しては、面接による審査も実施します。

受験方法・スカラシップの内容などの詳細は、INIAD Admissions Office サイト (<https://www.iniad.org/admissions-office/>) を確認してください。

「事前適性審査」に関する問い合わせ先

赤羽台事務課 E-mail : admissions-office@iniad.org

出願書類

(1) 志願票

(2) 調査書

[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]

(3) 志願理由書 [本学所定用紙]

出力後、本人が自筆(黒ボールペン)で記入してください。

(4) 事前適性審査受験証明書

事前適性審査 (INIAD 特別スカラシップ型) を受験し、学部の定めた基準を満たした場合に発行される受験証明書を A4 サイズの用紙で印刷してください。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割	
赤羽台キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～
		説明	面接

福祉社会デザイン学部第1部(昼) 人間環境デザイン学科

～デザイン基礎力型～

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 志願理由書[本学所定用紙]
出力後、本人が自筆(黒ボールペン)で記入してください。記入にあたっては「あなたはなぜデザインを学びたいのか」を含めてください。

試験実施概要

実技・面接試験を実施します。

◇ 実技

- ・「平面構成・解説文」と「立体構成・解説文」を実施します。
- ・受験生は、試験当日「2B～4Bの黒鉛筆およびシャープペンシル」と「プラスチック製の消しゴム」を持参してください。
- ・その他の材料、用具は当日配付します。

◇ 面接

- ・主に実技試験で制作した作品の意図について問うものとします。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割			
		9:00～9:20	9:20～10:20	11:00～12:00	12:30～
赤羽台キャンパス	9:00	説明	実技 (平面構成・解説文)	実技 (立体構成・解説文)	面接

～アスリート型～

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。かつ、義務教育修了後(または過去2年間)にスポーツの分野※で顕著な活躍をしたと自認する者。

※従来の競技スポーツに加え、国際大会および国内競技会が開催されている多様なスポーツによる受験も可能です。アーバンスポーツ系(例: スポーツクライミング、スケートボード、パルクール、BMX)、アドベンチャースポーツ系(例: ボルダリング、トレイルランニング、マウンテンバイク、サーフィン、ウインドサーフィン、ボディボード、スノーボード)やその他(例: スラックライン、ダーツ、ビリヤード、トランポリン、ボディビル、フィジーク、エアロビックダンス、ヒップホップダンス、プレイキン、eスポーツ)

※大学入学資格はP.4参照

【入学後の競技活動における注意点】

本入試の合格者は、入学後の競技活動を継続することを強く求め、毎年報告会にて活動状況を報告していただきます。また所属先を「東洋大学(併記可)」にすることも求めます。ただし、体育会入部および大学内でのスポーツ活動環境を保障するものではありません。各部(特に強化部と準強化部)への入部の可否については事前に各部までご確認願います。

出願書類

(1) 志願票

(2) 調査書

[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書。日本国以外の学校教育の課程の卒業(見込)者は、在籍した中等教育機関(日本の高等学校に相当するもの)の全学年の成績が記載された「成績証明書」と「卒業(見込)証明書」]

(3) 課題レポート

「課題レポート」の記載に沿って作成したものを1部提出してください。

(4) 志願理由書[本学所定用紙]

出力後、本人が自筆(黒ボールペン)で記入してください。

(5) 健康スポーツ科学部AO型推薦入試 競技成績記入用紙[本学所定用紙]

客観資料として提出する競技成績について、大会・試合年月日の古い順に必要事項を記入してください。記入欄が不足する場合は必要に応じて用紙をコピーし、左上1か所をホチキスでとめて提出してください。

(6) 客観資料

競技成績等を証明する大会プログラム(大会規模、出場資格、参加人数等)のコピーや、出場・競技成績を客観的に証明する書類(賞状、新聞や雑誌のコピー等)を必ず提出してください。ただし、義務教育修了後(または過去2年間)に取得したものに限り、提出した書類は返却しません。

課題レポート

【課題内容】

「自分が実施しているスポーツが社会の課題や人々の健康に寄与できる可能性」

【提出方法】

- ・本学所定用紙の「課題論文・レポート・レジュメシート表紙」を表紙として使用し、左上1か所をホチキスでとめて提出してください。
- ・テーマを含め、1,200字以内(A4用紙1枚にワープロ打ち)のレポートにまとめてください。
- ・図表やデータがある場合は、別にA4用紙1枚の添付を認めます。
- ・書類・データ等の引用を行う際は、引用元を必ず明示してください(字数制限には含めない)。

【提出部数】

1部(表紙をつけ、ホチキスでとめること)

試験実施概要

小論文試験およびプレゼンテーション・質疑応答試験を実施します。

◇プレゼンテーション

【プレゼンテーション課題】

「自分が実施しているスポーツの紹介、これまでの競技成績、今後の抱負」

※プレゼンテーションのスライドをA4用紙1枚に6スライドを縦置きカラー印刷（2枚の場合は両面に印刷）し、試験日当日に2部提出してください。

- ・受験生1名に対し試験官2名の形式で、8分間（厳守）で実施します。
- ・本学備え付けのWindowsパソコンを用いMicrosoft PowerPoint® スライドショーの投影によりプレゼンテーションを行ってください。スライドは10枚以内とします。
- ・プレゼンテーションファイルはUSBフラッシュメモリに保存し、プレゼンテーションファイル名は受験番号（半角数字）＋氏名（漢字・フリガナ）（例 00010 東洋太郎・トウヨウタロウ）としてください。USBフラッシュメモリにはプレゼンテーションファイル以外は保存しないでください。
- ・本学のパソコンにインストールされているソフトウェアのバージョンは、Microsoft PowerPoint® 2024です。その他のバージョンでファイルを作成した場合、意図どおりの表現にならないことや、動作に不具合が生じることがありますので作成時によく確認してください。
- ・試験当日、プレゼンテーションファイルの起動に不具合が発生した場合は、印刷資料を書画カメラ（OHC）で投影することでプレゼンテーションを行いますので、当日提出する2部とは別にプレゼンテーションスライドを受験生各自で印刷し、必ず持参してください。なお、プレゼンテーション・質疑応答終了後は自身で持ち帰ってください。
- ・指示棒はこちらで用意します。

◇質疑応答

プレゼンテーションの後に、受験生1名に対し試験官2名の形式で7分程度実施します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
		9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
赤羽台キャンパス	9:00			
		説明	小論文	プレゼンテーション・ 質疑応答

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 課題

<機械工学科>

身のまわりにある「機械」を一つとりあげ、その構造や動作原理について観察および考察を行い、A4用紙に1,500字程度(Microsoft Word[®] 使用が望ましい)で説明しなさい。説明には下記①～④の内容をすべて含めること。なお、観察できない部分については、合理的な仮説を立て、その根拠を示すこと。

- ①その機械を選んだ理由
- ②観察・考察の方法
- ③内部構造や動作原理の推定
- ④その機械を製作したエンジニアが工夫したと思われる点

さらに、その機械の機能を達成するための仕組みについて、自らの理解に基づいて再構成したモデルを示しなさい。モデルは以下のいずれかの方法で表現してよい。

- ・簡易な模型(安全な材料と方法で製作したもの)
- ・手描き図(概念図・構造図、フローチャートなど)

【作業に関する注意】

- ・本課題では機械の分解は行わないこと
- ・模型等の工作は任意とし、図による表現でも同等に評価する
- ・工作を行う場合は、安全に十分配慮し、無理のない範囲で実施すること
- ・日常的に使用している工具や材料の範囲を超える作業は行わないこと
- ・作業に伴う怪我や物品の損傷の可能性を十分理解したうえで、自己の判断と責任において実施すること

<都市環境デザイン学科>

テーマ：あなたの住む地域の課題を取り上げ、現状を分析し、解決策を提案しなさい。

(注 意：課題に対する現状分析においては、インターネットや文献等からの単純な引用といった表面的なものであることが明らかな場合は、評価の対象としない。一方、当該課題の解決は客観的に見て極めて困難であることが明らかな場合、そこでの現状分析が十分に行われているならば必ずしも解決策を提案しなくてもよい。)

(課題例：防災、河川・海岸災害、地盤災害、水環境、土壌汚染、廃棄物・リサイクル、建造物の維持管理、交通問題、地域活性化、など)

A4用紙に2,000字程度(Microsoft Word[®] 使用が望ましい)で、上記テーマに関する以下の内容について、図表を交えて簡潔に記述すること。

1. 課題を取り上げた理由および社会的背景
2. 調査の内容
3. 考察

＜建築学科＞

下記の中から1つを選択して、必要書類を提出すること。課題を作成するにあたっては、結果だけでなく経緯や方法などの過程についても表現すること。インターネット等を利用した一般的な情報による調査ではなく、十分に時間をかけ深掘りされた調査による成果物を期待する。

①テーマや対象を選んで「しらべる」

歴史・文化、伝統・風土、意匠・デザイン、技術等の点でメルクマールとなった特色のある国内外の建物やまち（例えば、歴史的建築物、各国や地域の代表的建築やまち並みなど）や文学上、音楽上、芸術上で取り上げられた、あるいは表現された建築やまちについて調べる。具体的にはその建物やまちの概要（歴史的経緯、建設・計画年、場所、設計者、規模など）と建てられた時代背景、気候、風土、社会状況、生活環境、芸術様式、技術などについて自分の評価を加えまとめる。

または、現在建設中の建物や進行中のまちづくりに携わっている人々から、概念や考え方、その特徴や進捗状況、問題点や課題などを聞いたり見たりして自分の評価を加えまとめる。

②社会や地域と「かかわる」

ボランティア活動やその他の社会的活動（環境保護活動、福祉活動、地域のコミュニティ活動、まちづくり運動など）を通して社会や地域に実際にかかわった経験や体験をまとめる。

③作品を「つくる」

模型、オブジェ、彫刻、絵などをつくる。または、建物の設計やまちを計画する（学校での課題などの作品や図面、コンペの応募作品やまたはそれをリファインしたものでも可）。作品の他に概要書を提出すること。十分に時間をかけて製作された成果物を期待する。

※ ①「しらべる」または②「かかわる」課題の場合は、**課題レポート（図表・写真等を含む）をA4用紙2枚（裏面使用不可）**にまとめて提出すること。

③「つくる」課題の場合は、**概要書（写真・図面等添付可）をA4用紙1枚**にまとめて提出すること。作品は、試験当日に可能な限り持参してください。

＜その他共通事項＞

※ 用紙については原稿用紙・レポート用紙の指定はありませんが、厚い紙は不可とします。

※ レポートの課題を提出する際には選択した課題内容・用紙のサイズに関わらず、全員「2027年度理工学部AO型推薦入試課題レポート・概要書表紙」（本学所定用紙）を手書きで記入し、ホチキスで留めて提出してください。なお、表紙は課題の枚数、文字数には数えません。

(4) 志願理由書 [本学所定用紙]

志願理由書は**2枚**提出してください。「本学の理工学部志望学科で何を学び、何を修得したいのか」、「大学卒業後、あなたの希望する将来の進路について」を各1枚記入し、1行目にそれぞれの題名を記入してください。出力後、本人が自筆（黒ボールペン）で記入してください。

(5) 機器使用申込書 [本学所定用紙]

機器使用の有無に関わらず、必要事項を記入の上、必ず全員提出してください。

事前申し込みにて各種機器（プロジェクター・書画カメラ・パソコン等）を使用することもできます。パソコンについては、Microsoft PowerPoint[®]、Word[®]、Excel[®]を利用する場合は、USBフラッシュメモリを持参し、本学のパソコン利用を推奨します。その他特別なソフトウェアを利用する場合は、自分のパソコンを持参してください。利用環境等については、機器使用申込書に記載してありますので、本学のパソコンを利用する場合、あるいは、自分のパソコンを持参する場合も、**必ず確認してください。**

なお、当日本学のパソコンまたは持参したパソコンに不具合が発生した場合は、書画カメラによる発表となりますので、**当日は発表用のデータを印刷した用紙を予備として持参してください。**

(6) 活動の記録 (自由提出)

学術を含め、あなたがこれまで積極的に取り組んだ活動について、それを表現・証明できる書類等がある場合は添付してください。いずれもコピーで構いませんが、A4サイズにしてください。作品の場合は写真や説明文等を添付してください。提出した書類は返却しません。

例) ・コンクール・発表会・競技会等の賞状またはそれらに出品した作品や図面

・参加したボランティア活動等を紹介している新聞・雑誌等の記載事項

・高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）での成績以外で、

自分の得意分野を積極的に表現できる資料（各種検定試験・ジュニアマイスター顕彰等の成績を含む）

※ これらはあくまで一例です。これらにとらわれず、自分のこれまでの活動や、自らの意欲・能力・発想力等を証明することができるものと考えられるものを積極的に添付してください。

課題発表方法

発表では、出願時に提出した課題について、Microsoft PowerPoint® やポスター等を使って5分程度で説明してください。事前申し込みによる視聴覚機器の使用が可能です。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割	
川越キャンパス	10:00	10:00～10:20	10:20～
		説明	課題発表・質疑応答 面接※

※ [機械工学科・都市環境デザイン学科] 面接には口頭試問を含みます。口頭試問とは、高等学校で学ぶ教科に関する知識を問うものとしします。

総合情報学部第1部(昼) 総合情報学科(心理・スポーツ情報専攻)

本学で受験する方法の他、「Web会議システム」を利用してオンラインビデオ通話形式で受験することも可能です。
遠隔地に在住している受験生でも自宅等で試験を受けることができます。

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科(専攻)を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学すること
を確約できる者)。かつ、義務教育修了後(または過去2年間)にスポーツの分野で顕著な活躍をしたと自認する者。

※大学入学資格はP.4参照。

出願書類

(1) 志願票

(2) 調査書等

[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書。日本国以外の学校教育の
課程の卒業(見込)者は、在籍した中等教育機関(日本の高等学校に相当するもの)の全学年の成績が記載された「成績証明
書」と「卒業(見込)証明書」]

(3) 課題レポート

本学所定用紙の「課題論文・レポート・レジュメシート表紙」を表紙として使用し、下記の課題についてテーマを含め、日本語の
場合は2,000字以内、英語の場合は1,000words以内(A4用紙にワープロ打ち)の論文にまとめ、ホチキスでとめて出願時
に2部提出してください。ただし、図表やデータがある場合は、別にA4用紙1枚の添付を認めます。なお書類・データ等の引
用を行う際は、引用元を必ず明示してください(字数制限には含めない)。左上1か所をホチキスでとめて提出してください。

<課題>

あなたが行ってきたスポーツの分野における活動について、どのような取り組みをしたか、特に工夫した点などを中心に説
明してください。そして、その取り組みがどのような成果につながったか、どのような点が重要と思われたかを説明してくだ
さい。さらに、これらをどのように今後活かしていきたいかを説明してください。

(4) 志願理由書[本学所定用紙]

出力後、本人が自筆(黒ボールペン)で記入してください。

(5) プレゼンテーション資料

課題レポートの内容をまとめ、Microsoft PowerPoint®等、試験当日に使用するソフトウェアにより12スライド以内で作成し
てください。また資料の印刷は、A4用紙1枚に2スライドを入れてカラー刷りとし、左上1か所をホチキスでとめて、出願時に
2部提出してください。

(6) 機器使用申込書[本学所定用紙] ※Web会議システム利用による受験の場合は提出不要

本学試験会場で受験の場合、必要事項を記入の上、必ず全員提出してください。Microsoft PowerPoint®データを格納した
USBフラッシュメモリを持参し、本学のパソコンを利用することを推奨します。その他特別なソフトウェアを利用する場合は、
自分のパソコンを持参し、本学のプロジェクターに接続することもできます。利用環境等については、機器使用申込書に記載し
てありますので、本学のパソコンを利用する場合、自分のパソコンを持参する場合とも、必ず確認してください。

※Web会議システム利用による受験方法、パソコン推奨環境等については、P.14の「受験方法の選択について」を確認してください。

(7) 客観資料

必要に応じて能力を証明する客観資料などを提出してください。ただし、義務教育修了後(または過去2年間)に取得したもの
に限りです。資料が無いものは、義務教育修了以前(または過去2年間以前)に取得したものと判断します。

〔例〕大会の表彰状のコピー、新聞記事、雑誌記事(雑誌記事を提出する場合は該当ページのほか、雑誌の表紙のコピーを併せ
て提出してください。)

試験実施概要

プレゼンテーション・質疑応答試験を実施します。

◇ プレゼンテーション

課題レポートの内容を発表資料にまとめて説明するもので、時間は8分程度です。

<本学会場で受験の場合>

- ・「機器使用申込書」により出願時に申請した方法に従って、プレゼンテーション用のファイルをUSBフラッシュメモリに入れて持参するか、自分のパソコンを持参してください。当日使用するファイルは事前に提出した資料と同じものとし、差し替えや変更を加えないでください。
- ・試験当日、プレゼンテーションファイルの起動に不具合が発生した場合は、印刷資料を用いてプレゼンテーションを実施していただきますので、出願時に提出したプレゼンテーション資料を受験生各自で印刷し、必ず持参してください。
- ・本学のパソコンにインストールされているソフトウェアのバージョンは、Microsoft PowerPoint® 2024です。その他のバージョンでファイルを作成した場合、意図どおりの表現にならないことや、動作に不具合が生じることがあります。作成時に確認したうえで機器使用申請を行ってください。

<Web会議システムで受験の場合>

- ・試験官の指示により、プレゼンテーション用ファイルを画面共有し発表を行っていただきます。画面共有の方法を事前に確認してください。**Web会議システムの事前接続テストの際に画面共有の動作についても確認します。**
- ・プレゼンテーション用ファイルをWeb会議システムに接続するパソコンにあらかじめ保存してください。使用するファイルは事前に提出した資料と同じものとし、差し替えや変更を加えないでください。
- ・画面共有の不具合に備え、印刷したプレゼンテーション資料を手元に用意して受験してください。
- ・Web会議システムの利用方法、事前接続テストの詳細および受験までの流れについては、東洋大学入試情報サイト内の「Web会議システム利用受験要領」に記載されています。必ず一読し、事前に詳細を確認してください。

◇ 質疑応答

プレゼンテーション後、5分程度の時間で実施します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割	
川越キャンパス※	10:00	10:00～10:20	10:20～
		説明	プレゼンテーション・ 質疑応答

※この入試方式では、受験方法を選択できます。詳細はP.14の「受験方法の選択について」を確認してください。

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

出願書類

(1) 志願票

(2) 調査書

[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]

(3) 課題

本学所定用紙の「課題論文・レポート・レジュメシート表紙」を表紙として使用し、下記の課題についてテーマを含め、A4用紙に日本語の場合は2,000字程度、英語の場合は1,000words程度(Microsoft Word® 使用が望ましい)の論文にまとめ、ホチキスでとめて出願時に2部提出してください。ただし、図表やデータがある場合は、別にA4用紙1枚の添付を認めます。なお書類・データ等の引用を行う際は、引用元を必ず明示してください(字数制限には含めない)。左上1か所をホチキスでとめて提出してください。

<課題>

あなたが高校で自主的に取り組んできた活動や、総合的な探究の時間の内容について、何に取り組み、どのような成果や課題があったかを要約してください。そのうえで、その経験や探究活動を通して身に付けた力を、具体的な環境問題の発見や解決にどのように活かすことができるかを説明してください。

※探究活動のテーマは、環境に直接関係する内容でなくてもかまいません。

(4) 志願理由書 [本学所定用紙]

志願理由書は2枚提出してください。これまでのあなたの活動や環境問題意識を踏まえて、「環境イノベーション学科で学びたいこと」「大学卒業後の進路や将来の夢について」を各1枚記入し、1行目にそれぞれの題名を記入してください。出力後、本人が自筆(黒ボールペン)で記入してください。

(5) 機器使用申込書 [本学所定用紙]

機器使用の有無に関わらず、必要事項を記入の上、必ず全員提出してください。

事前申し込みにて各種機器(プロジェクター・書画カメラ・パソコン等)を使用することもできます。パソコンについては、Microsoft PowerPoint®、Word®、Excel®を利用する場合は、USBフラッシュメモリを持参し、本学のパソコン利用を推奨します。その他特別なソフトウェアを利用する場合は、自分のパソコンを持参してください。利用環境等については、機器使用申込書に記載してありますので、本学のパソコンを利用する場合、あるいは、自分のパソコンを持参する場合も、必ず確認してください。

なお、当日本学のパソコンまたは持参したパソコンに不具合が発生した場合は、書画カメラによる発表となりますので、当日は発表用のデータを印刷した用紙を予備として持参してください。

(6) 活動の記録 (自由提出)

学術を含め、あなたがこれまで積極的に取り組んだ活動について、それを表現・証明できる書類等がある場合は添付してください。いずれもコピーで構いませんが、A4サイズにしてください。作品の場合は写真や説明文等を添付してください。提出した書類は返却しません。

例)・コンクール・発表会・競技会等の賞状またはそれらに出品した作品や図面

・参加したボランティア活動等を紹介している新聞・雑誌等の記載事項

・高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)での成績以外で、自分の得意分野を積極的に表現できる資料(各種検定試験・ジュニアマイスター顕彰等の成績を含む)

※これらはあくまで一例です。これらにとらわれず、自分のこれまでの活動や、自らの意欲・能力・発想力等を証明することができると思われるものを積極的に添付してください。

試験実施概要

課題発表・質疑応答・面接試験を実施します。

課題発表では、出願時に提出した課題について、Microsoft PowerPoint[®]、書画カメラやポスター等を使って8分程度で発表してください。事前申し込みによる視聴覚機器の使用が可能です。発表終了後、面接（口頭試問を含む、7分程度）を行います。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割	
川越キャンパス	10:00	10:00～10:20	10:20～
		説明	課題発表・質疑応答 面接 [※]

※面接には口頭試問を含みます。口頭試問とは環境に関する基礎知識を問うものとしします。

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

出願書類

(1) 志願票

(2) 調査書

[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]

(3) 課題レポート

＜生命科学科＞

「生物や化学に関連する分野で、これまでに興味を抱いて自主的に取り組んだ内容」について、「課題論文・レポート・レジュメシート表紙」を表紙として使用し、A4用紙に2,000字程度でまとめなさい。図表を用いた場合は、1つあたり100字と換算します(ワープロソフトを用いて作成すること)。

＜生体医工学科＞

「物理・化学・生物に関連する分野で、これまでに興味を抱いて自主的に取り組んだ内容」について、「課題論文・レポート・レジュメシート表紙」を表紙として使用し、A4用紙に2,000字程度でまとめなさい。図表を用いた場合は、1つあたり100字と換算します(ワープロソフトを用いて作成すること)。

＜生物資源学科＞

「生物や化学に関連する分野で、これまでに興味を抱いて自主的に取り組んだ内容」について、「課題論文・レポート・レジュメシート表紙」を表紙として使用し、A4用紙に2,000字程度でまとめなさい。図表を用いた場合は、1つあたり100字と換算します(ワープロソフトを用いて作成すること)。

(4) 志願理由書[本学所定用紙]

＜生命科学科＞

「本学の生命科学部生命科学科で何を学び、何を修得したいのか」および「大学卒業後、あなたの希望する将来の進路について」を記入してください。

＜生体医工学科＞

「本学の生命科学部生体医工学科で何を学び、何を修得したいのか」および「大学卒業後、あなたの希望する将来の進路について」を記入してください。

＜生物資源学科＞

「本学の生命科学部生物資源学科で何を学び、何を修得したいのか」および「大学卒業後、あなたの希望する将来の進路について」を記入してください。

(5) 機器使用申込書[本学所定用紙]

機器使用の有無に関わらず、必要事項を記入の上、必ず全員提出してください。

事前申し込みにて各種機器(プロジェクター・書画カメラ・パソコン等)を使用することもできます。パソコンについては、Microsoft PowerPoint[®]、Word[®]、Excel[®]を利用する場合は、USBフラッシュメモリを持参し、本学のパソコン利用を推奨します。その他特別なソフトウェアを利用する場合は、自分のパソコンを持参してください。利用環境等については、機器使用申込書に記載してありますので、本学のパソコンを利用する場合、自分のパソコンを持参する場合も、必ず確認してください。

なお、当日本学のパソコンまたは持参したパソコンに不具合が発生した場合は、書画カメラによる発表となりますので、当日は発表用のデータを印刷した用紙を予備として持参してください。

(6) 客観資料

課題に関係した内容について、その活動を表現・証明できる書類等(コピー可)があれば、提出してください。

試験実施概要

プレゼンテーション・質疑応答・面接試験を実施します。

プレゼンテーションでは、出願時に提出した課題について、Microsoft PowerPoint®、書画カメラやポスター等を使って8分程度で発表してください。事前申し込みによる視聴覚機器の使用が可能です。発表終了後、面接（口頭試問を含む、7分程度）を行います。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割	
		9:00～9:20	9:20～
朝霞キャンパス	9:00		
		説明	プレゼンテーション・ 質疑応答・面接※

※面接には口頭試問を含みます。

[生命科学科、生物資源学科] 口頭試問は、化学・生物に関する内容です。

[生体医工学科] 口頭試問は、理科に関する内容です。

総合型選抜 自己推薦入試

○自己推薦入試は、学校長の推薦がなくても、自分の意志で受験できる推薦入試です。

試験日程	50
試験科目〔配点〕	51
第1部(昼)	
文 学 部	哲学科 ～小論文型～ 52
	哲学科 ～ディベート型～ 53
	東洋思想文化学科 ～小論文型～ ～漢文型～ 54
	教育学科(人間発達専攻) 55
経 済 学 部	経済学科 56
社 会 学 部	社会学科(2段階選抜) 58
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科 59
	子ども支援学科 60
	人間環境デザイン学科 61
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科 62
	栄養科学科 ～文系型～ ～理系型～ 63
総合情報学部	総合情報学科(システム情報専攻) 64
環境イノベーション学部	環境イノベーション学科 65
生 命 科 学 部	生命科学科・生体医工学科・生物資源学科 66
食 環 境 科 学 部	食環境科学科・フードデータサイエンス学科・健康栄養学科 67
第2部・イブニングコース(夜)	
文 学 部	東洋思想文化学科 ～小論文型～ ～漢文型～ 68
	日本文学文化学科 69
	教育学科 70
経 済 学 部	経済学科 71
法 学 部	法律学科 72
社 会 学 部	社会学科 73
国 際 学 部	国際地域学科(地域総合専攻) 74

試験日程

実施時期	出願期間	受験票 印刷可能予定日	試験日	合格発表日	入学手続締切日
10月	9月 7日(月)～ 9月10日(木)	10月 2日(金)～	10月18日(日)	11月 2日(月)	11月13日(金)
10月・11月 2段階選抜	第一次選考 9月 7日(月)～ 9月10日(木)	書類選考のため 受験票発行なし	書類選考のみ	11月 2日(月) (第一次選考結果発表)	—
	第二次選考 11月 2日(月)～11月 5日(木)	11月16日(月)～	11月22日(日)	12月 1日(火)	12月11日(金)
11月	11月 2日(月)～11月 5日(木)	11月16日(月)～	11月22日(日)	12月 1日(火)	12月11日(金)
12月	11月27日(金)～12月 2日(水)	12月 8日(火)～	12月13日(日)	1月 8日(金)	1月14日(木)

※出願期間内に、出願書類の郵送(出願期間内消印有効)および入学検定料の支払いが必要です。

※受験票印刷可能予定日について、受験票は上記の受験票印刷可能予定日後に受験生各自が印刷してください。詳細は「受験票」のページを確認してください。

※「10月・11月2段階選抜」の第二次選考は、第一次選考合格者についてのみ出願を受付し、実施します。第二次選考の出願締切日は11月5日(木)です。合格発表後、第一次選考合格者は速やかに手続を行ってください。

出願期間の注意点

出願を完了するためには、「インターネット出願登録」「入学検定料の支払い」「出願書類の郵送」が必要となります。「インターネット出願登録」は出願期間最終日の23:59まで可能ですが、インターネット出願登録後に「入学検定料の支払い」「出願書類の郵送」が必要となりますので、出願期間内にすべての手続が完了するように、余裕をもって行ってください。

試験科目[配点]

- 下表の科目欄に配点の記載がある科目が、その学科(専攻)での試験科目です。
- 入学試験は東洋大学の各キャンパスにて実施します。各キャンパスの所在地は「キャンパス案内図」のページを参照してください。学科(専攻)によって試験会場が異なりますので、試験当日は試験会場を間違えないよう、十分に注意してください。なお、試験会場を間違えた場合、受験することはできません。

試験日	学部		学科(専攻)		書類選考	小論文	その他	面接	口頭試問 ^{※1}	
10月18日(日)	第1部 (昼)	文	哲	小論文型	20	40		40		
				ディベート型	20		40 (ディベート)	40		
			東洋思想文化	小論文型	20	40		40		
				漢文型	20		40 (漢文)	40		
			教育(人間発達)				10	60		30
		経 済	経済		50			50 ^{※2}	◎	
		福祉社会 デザイン	社会福祉		100	100		100	◎	
			子ども支援		50	100	100 (グループディスカッション)			
			人間環境デザイン		50		100 (実技)	100		
		健康 スポーツ科	栄養科	文系型	30	100		100		
				理系型	30	100		100	◎	
		総合情報	総合情報(システム情報)			50	100		100	
		食環境科	食環境科		30	100		100		
			フードデータ サイエンス	1回目	30	100		100		
			健康栄養		30	100		100		
社 会			社会	第一次選考	100					
		第二次選考			100		100			
11月22日(日)		健康スポーツ科	健康スポーツ科			50	100		100	
12月13日(日)	環境イノベーション	環境イノベーション			100	100		100	◎	
	生 命 科	生命科		30	100		100	◎		
		生体医工		50	100		100	◎		
		生物資源		30	100		100	◎		
	食環境科	フードデータ サイエンス	2回目	30	100		100			
10月18日(日)	第2部・ イブニング コース (夜)	文	東洋思想文化	小論文型	20	40		40		
				漢文型	20		40 (漢文)	40		
			日本文学文化			20	40		40	
			教育			10	60		30	
		経 済	経済		100	100		100 ^{※2}		
		社 会	社会		100	100		100		
		国 際	国際地域(地域総合)			50	50		100	
12月13日(日)		法	法律			30	40		30	

※1 ◎の記載のある学科は面接時に口頭試問を行います。

※2 集団面接となる場合があります。

～小論文型～

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 自己推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限り、ます。
- (4) 自己推薦入試 様式1 [本学所定用紙]
哲学科を志望した理由を以下の点を中心として1,000字以内で書いてください。
 - 哲学科を自己推薦入試で志望する理由
 - 入学後に主に学びたいと思っているテーマ
 - 卒業後の志望
- (5) 客観資料
自己推薦入試 推薦書の「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。ただし、義務教育修了後に取得したものに限り、ます。
[例] 合格証書等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
		9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
白山キャンパス	9:00	説明	小論文	面接

～ディベート型～

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 自己推薦入試 推薦書[本学所定用紙]
「3.資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限りします。
- (4) 自己推薦入試 様式1[本学所定用紙]
哲学科を志望した理由を以下の点を中心として1,000字以内で書いてください。
●哲学科を自己推薦入試で志望する理由
●入学後に主に学びたいと思っているテーマ
●卒業後の志望
- (5) 客観資料
自己推薦入試 推薦書の「3.資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。ただし、義務教育修了後に取得したものに限りします。
[例] 合格証書等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	ディベート	面接

ディベート試験について

ディベート試験の概要は以下のとおりとなります。

【実施概要】 試験監督者(コーディネーター)の指示に基づき、以下の手順で進行します。

- (1)「短い文章の読解」を行い、「自分の主張の立論」を行います(目安:10分)。
- (2)「自分の主張の発表」と「他の受験生の主張の聴取」を行います(目安:20分)。
- (3)「受験生同士による討論」を行います(目安:30分)。

※出願状況によっては、内容が変更となる場合があります。

【評価項目】 次の4つの項目について評価を行います。

- (1) 出題文の趣旨を正確に読解できているか等の「出題文の読解能力」
- (2) 自分の主張を明晰に提示できているか等の「自分の主張の論理的構成能力」
- (3) 対論者の主張を正確に聴き取れているか等の「対論の精確な聴取能力」
- (4) 対論者と噛み合う反論や討論ができているか等の「説得的な対話能力」

～小論文型～ ～漢文型～

インターネット出願登録時に、2つの型からいずれか1つを選択してください。

出願資格

【小論文型・漢文型共通】

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

出願書類

【小論文型・漢文型共通】

(1) 志願票

(2) 調査書

[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]

(3) 自己推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]

「3.資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限りします。

(4) 自己推薦入試 様式1 [本学所定用紙]

次の事柄について1,000字以内で記入してください。

●東洋の思想と文化について興味を覚えるところ、学びたいものを、自分のことばで記入してください。

(5) 客観資料

自己推薦入試 推薦書の「3.資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。ただし、義務教育修了後に取得したものに限りします。

[例] 合格証書等のコピー

なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

【小論文型】

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

【漢文型】

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	漢文	面接

出願資格

- (1) 大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科(専攻)を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 自己推薦入試 推薦書[本学所定用紙]
「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限りです。
- (4) 自己推薦入試 様式1[本学所定用紙]
教育学科を志望した理由を以下の点を中心として1,000字以内で書いてください。
●教育学科を自己推薦で志望する理由
●入学後に主に学びたいと思っているテーマ
●卒業後の志望
- (5) 客観資料
自己推薦入試 推薦書の「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
[例] 合格証書等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

出願資格

- (1) 大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。
※大学入学資格はP.4参照。
- (2) 出願資格(1)に加え、以下の【英語】および【数学】のいずれの要件も満たすこと。

【英語】

以下の①～④のいずれかを満たすこと。

- ①実用英語技能検定(従来型を含む全方式) 1,800点以上
- ②GTEC(CBTタイプ、検定版Advancedタイプ) 840点以上
- ③TEAP(4技能) 195点以上
- ④IELTS™ 4.5以上

※①は、2024年10月以降に1級・準1級・2級のいずれかを受験したものに限る。

※②～④は、過去2年以内(2024年10月以降)に受験したものに限る。

※③は、同一試験日のスコア合計点のみ有効。

※④は、アカデミック・モジュールのみを適用する。One Skill Retakeによるスコアは利用不可。

【数学】

以下の①、②のいずれかを満たすこと。

- ①実用数学技能検定 1級・準1級・2級・準2級のいずれかを受験し、1次・2次検定の両方もしくはいずれかに合格している者。

※2024年9月～2026年7月の間に1次・2次検定のいずれかを受験したものに限る。

- ②東洋大学経済学部経済学科が実施する事前適性審査を受験し、学部の定めた基準を満たす者。

事前適性審査について

経済学部第1部経済学科の自己推薦入試では、学部のアドミッションポリシーや入学後の教育研究を理解し、本学部へ適性の高い学生に入学していただくために、「事前適性審査【数学】」を導入しています。

自己推薦入試の出願資格【数学】では、実用数学技能検定の条件を満たすか、事前適性審査を受験し、学部の定めた基準を満たす必要があります。(出願には【英語】の出願要件も満たしている必要があります。)

事前適性審査を受験される受験生の方は、出願前にオンラインで「学習」や「試験」を行っていただきます。1日きりの試験とは異なり、一定時間をかけて受験生自身が学科への適性を測ることが可能です。

学習・試験範囲は「数学I・数学A」です。事前適性審査の受験方法は、経済学部第1部経済学科自己推薦入試事前適性審査エントリーページ(<https://sites.google.com/toyo.jp/eco-preliminary/>)で確認してください。

なお、出願資格【数学】において、実用数学技能検定の条件を満たしている受験生の方は、事前適性審査を受験する必要はありません。

「事前適性審査」に関する問い合わせ先

東洋大学経済学部教務課 E-mail: mlkeizai@toyo.jp

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格 (見込) 者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 自己推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限りです。
- (4) 自己推薦入試 様式 1 [本学所定用紙]
経済学科を志望した理由を 1,000 字以内で書いてください。出力後、本人が自筆 (黒ボールペン) で記入すること。
- (5) 出願資格確認資料
以下の英語および数学の証明書をコピーし、提出すること。
【英語】
以下の a～d のいずれかの出願資格に該当する証明書を提出すること。
各種証明書は、発行までに時間を要するものもあるので、余裕をもって準備してください。
※各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。
a) 実用英語技能検定合格証明書、英検 CSE スコア証明書、または実用英語技能検定個人成績表のいずれか
※デジタル合格証明書、デジタル英検 CSE スコア証明書は受理できません。上記書類を必ず提出してください。
b) GTEC (CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ) OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
※ SCORE REPORT では受理できません。
c) TEAP Official Score Report
d) IELTS™ Test Report Form (成績証明書)
【数学】
出願資格②【数学】①に該当する場合は下記の証明書を提出すること。
・実用数学技能検定 個別成績票 もしくは合格証明書
出願資格②【数学】②に該当する場合は下記の証明書を提出すること。
・事前適性審査受験証明書
事前適性審査を受験し、学部のでめた基準を満たした場合に発行される受験証明書を A4 サイズの用紙で印刷してください。
- (6) 客観資料
必要に応じて、(5)以外で能力を証明する客観資料などを提出してください。ただし義務教育修了後に取得したものに限りです。
〔例〕合格証書等のコピー
資料が無いものは、義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割	
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～
		説明	面接*

※面接は、集団面接となる場合があります。

※面接には口頭試問を含みます。口頭試問は、英語・数学に関する内容とします。数学については、図形的理解力を確認するため、本学が用意するスケッチボードおよびペンを使用し、簡単なグラフ等を描いていただく場合があります。

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

出願書類

(1) 志願票

(2) 調査書

[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]

(3) 活動の記録

あてはまる特記事項がある場合のみ、本学所定用紙を使用してください。

何も記入することがない場合は、提出する必要はありません。

(4) 志願理由書

・手書きの場合は市販のA4判横書き400字詰原稿用紙、ワープロソフトを用いる場合はA4判用紙に横書きで、志望学部・学科・氏名を明記の上、なぜ東洋大学社会学部第1部社会学科に志望したのか、その理由ないし動機を3,000～4,000字で書いてください。適宜、小見出しを入れるなど、読みやすく工夫すること。

・志望理由・動機を書くにあたっては、以下の諸点にも適宜言及するようにしてください。

●志願動機に関わる自分のこれまでの社会経験や社会活動、職業経験、印象的なできごと、強く感銘を受けた読書体験など

●入学後の学生生活で実践したいことや、卒業後の職業・生活・活動の計画と大学での勉強とのつながり

(5) 客観資料

必要に応じて能力を証明する客観資料などを提出してください。ただし、義務教育修了後に取得したものに限りです。

[例] 合格証書等のコピー

試験概要

＜第一次選考＞書類選考【10月18日(日)】

・第一次選考は、提出された全ての書類を総合的に審査します。

・第一次選考の結果発表は11月2日(月)に「マイページ」にて行います。

合格者は第二次選考の手続のためのパスワードが交付されますので、必ず控えてください。

＜第二次選考＞小論文 / 面接【11月22日(日)】

※第二次選考は、第一次選考合格者についてのみ出願を受付し、実施します。

※第二次選考の出願締切日は11月5日(木)です。合格発表後、第一次選考合格者は速やかに手続を行ってください。

試験会場・集合時間・時間割

第二次選考【11月22日(日)実施】

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確認できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 自己推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限りです。
- (4) 自己推薦入試 様式1 [本学所定用紙]
志願理由を明らかにするとともに、これまでの体験をもとにあなた自身をアピールしてください。[1,000字以内]
- (5) 客観資料
自己推薦入試 推薦書の「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
[例] 合格証書等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
赤羽台キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接 [※]

※面接には口頭試問を含みます。口頭試問は、出願時に提出された志願理由書および、小論文に関する内容を面接時に問うものとします。

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確認できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 自己推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限りです。
- (4) 自己推薦入試 様式1 [本学所定用紙]
志願理由を明らかにするとともに、保育・幼児教育・子ども家庭福祉の専門職に対する自己の適性について、根拠となる活動体験など具体的な理由を含めて記入してください。[1,000字以内]
- (5) 客観資料
自己推薦入試 推薦書の「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
[例] 合格証書等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
赤羽台キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	グループディスカッション※

※複数名によるグループディスカッション(子ども支援に関するテーマ)を行います。

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 自己推薦入試 推薦書[本学所定用紙]
「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限りします。
- (4) 自己推薦入試 様式1[本学所定用紙]
志願理由を明らかにするとともに、これまでの体験をもとにあなた自身をアピールしてください。[1,000字以内]
- (5) 客観資料
自己推薦入試 推薦書の「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
[例] 合格証書等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

実技

「実技」は、平面構成(テーマに関するイメージスケッチ)と、解説文(そのテーマについて自分の意見を記述)です。
受験生は、試験当日「2B～4Bの黒鉛筆およびシャープペンシル」と「プラスチック製の消しゴム」を持参してください。

また、面接時に自分で制作したデザイン作品、調査レポート等を持参することを推奨します。

なお、「面接」は持参した作品等の内容、持参の有無によって評価するものではありません。

[作品について]

- 作品は、平面・立体とも自分で持ち込める大きさとしします。
- 作品の内容は基本的に自由です。下記は例として参考にしてください。
 - ・高校の授業や行事等で制作した作品、個人の興味により自主制作した作品(例えば絵画、スケッチ、グラフィックデザイン、模型、木工制作物等)やその記録写真
 - ・何らかのテーマでまとめたレポート等
 - ・撮影した写真等の表現作品

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
赤羽台キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	実技	面接

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確認できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 自己推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限りします。
- (4) 自己推薦入試 様式1 [本学所定用紙]
志願理由を明らかにするとともに、これまでの体験をもとにあなた自身をアピールしてください。[1,000字以内]
- (5) 客観資料
自己推薦入試 推薦書の「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
[例] 合格証書等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
赤羽台キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

～文系型～ ～理系型～

インターネット出願登録時に、2つの型からいずれか1つを選択してください。

出願資格

【文系型・理系型共通】

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

出願書類

【文系型・理系型共通】

(1) 志願票

(2) 調査書

[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]

(3) 自己推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]

「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限りです。

(4) 自己推薦入試 様式1 [本学所定用紙]

志願理由を明らかにするとともに、これまでの体験をもとにあなた自身をアピールしてください。[1,000字以内]

(5) 客観資料

自己推薦入試 推薦書の「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。

[例] 合格証書等のコピー

なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
		9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
赤羽台キャンパス	9:00			
		説明	小論文	面接*

※理系型は化学「物質の変化とその利用(化学基礎の範囲)」もしくは生物「ヒトの体の調節(生物基礎の範囲)」に関する口頭試問を含みます。インターネット出願時に、上記のいずれか1つを選択してください。

出願資格

- (1) 大学入学資格を有する者(含見込者)で、かつ下記に該当し、本学当該学科(専攻)を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。
※大学入学資格はP.4 参照。
 - (2) 出願資格(1)に加え、以下の①および②のいずれの要件も満たすこと。
 - ①独立行政法人情報処理推進機構が実施する情報処理技術者試験(全区分:ITパスポート、基本情報技術者など)の合格者。
 - ②自身の英語能力を客観的に証明することができる者。客観的な証明にあたっては、以下のいずれかを用いることとする。
 - a) 実用英語技能検定(従来型を含む全方式)
 - b) GTEC(CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ)
 - c) TEAP(4技能)
 - d) IELTS™
- ※aは2024年10月以降に1級・準1級・2級・準2級プラス・準2級のいずれかを受験したものに限り。
 ※b～dは、過去2年以内(2024年10月以降)に受験したものに限り。
 ※cは、同一試験日のスコア合計点のみ有効。
 ※dはアカデミック・モジュールのみを適用する。One Skill Retakeによるスコアは利用不可。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 自己推薦入試 推薦書[本学所定用紙]
- (4) 自己推薦入試 様式1[本学所定用紙]
「大学卒業後の進路」や「将来の夢」を明記し、その実現のために当該専攻で学びたいことを、1,000字以内で記入してください。
- (5) 出願資格確認資料
出願資格(2)①
情報処理技術者試験の合格を証明する書類を提出してください。
[例] 合格証書等のコピー
出願資格(2)②
以下のa)～d)のいずれかの英語能力を証明する書類のコピーを提出してください。
各種証明書は、発行までに時間を要するものもあるので、余裕をもって準備してください。
※各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。
a) 実用英語技能検定合格証明書、英検CSEスコア証明書、または実用英語技能検定個人成績表のいずれか
※デジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書は受理できません。上記書類を必ず提出してください。
b) GTEC(CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ) OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
※SCORE REPORTでは受理できません。
c) TEAP(4技能) Official Score Report
d) IELTS™ Test Report Form(成績証明書)
※コンピューター版で受験した場合は、WebサイトからダウンロードしたPDF版Test Report Form(eTRF)を印刷したもので可。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
川越キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 自己推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
- (4) 自己推薦入試 様式1 [本学所定用紙]
これまでのあなたの活動や環境問題意識を踏まえて、「大学卒業後の進路や将来の夢」の実現のために環境イノベーション学科で学びたいことを、1,000字以内で記入してください。
- (5) 客観資料
自己推薦入試推薦書の「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
[例] 合格証書等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
		9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
川越キャンパス	9:00	説明	小論文	面接*

※面接には口頭試問を含みます。口頭試問とは環境に関する基礎知識を問うものとします。

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確認できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 自己推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限りです。
- (4) 自己推薦入試 様式1 [本学所定用紙]
志願理由を明らかにするとともに、これまでの体験をもとにあなた自身をアピールしてください。[1,000字以内]
- (5) 客観資料
自己推薦入試 推薦書の「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
[例] 合格証書等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
朝霞キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接※

※面接には口頭試問を含みます。

[生命科学科、生物資源学科]口頭試問は、化学・生物に関する内容です。

[生体医工学科]口頭試問は、理科に関する内容です。

※この入試方式は、フードデータサイエンス学科では10月実施・12月実施の計2回実施します。なお、各回毎に出願することができます。

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 自己推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限りします。
- (4) 自己推薦入試 様式1 [本学所定用紙]
志願理由を明らかにするとともに、これまでの体験をもとにあなた自身をアピールしてください。[1,000字以内]
- (5) 客観資料
自己推薦入試 推薦書の「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
[例] 合格証書等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
朝霞キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

～小論文型～ ～漢文型～

インターネット出願登録時に、2つの型からいずれか1つを選択してください。

出願資格

【小論文型・漢文型共通】

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

出願書類

【小論文型・漢文型共通】

(1) 志願票

(2) 調査書

〔高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書〕

(3) 自己推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]

「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限ります。

(4) 自己推薦入試 様式1 [本学所定用紙]

次の事柄について1,000字以内で記入してください。

●東洋の思想と文化について興味を覚えるところ、学びたいものを、自分のことばで記入してください。

(5) 客観資料

自己推薦入試 推薦書の「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。ただし、義務教育修了後に取得したものに限ります。

[例] 合格証書等のコピー

なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

【小論文型】

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

【漢文型】

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	漢文	面接

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 自己推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限りです。
- (4) 自己推薦入試 様式1 [本学所定用紙]
志望した理由を、以下の点を中心として1,000字以内で書いてください。志願者本人が黒のボールペンで記入すること。
 - 日本文学文化学科を自己推薦で志望する理由
 - 入学後に主に学びたいと思っているテーマ
 - 卒業後の志望
- (5) 客観資料
自己推薦入試 推薦書の「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
[例] 合格証書等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 自己推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限りです。
- (4) 自己推薦入試 様式1 [本学所定用紙]
教育学科を志望した理由を以下の点を中心として1,000字以内で書いてください。
 - 教育学科を自己推薦で志望する理由
 - 入学後に主に学びたいと思っているテーマ
 - 卒業後の志望
- (5) 客観資料
自己推薦入試 推薦書の「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
[例] 合格証書等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 自己推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限りです。
- (4) 自己推薦入試 様式1 [本学所定用紙]
経済学科を志望した理由を以下の点を中心として1,000字以内で書いてください。
 - 経済学科を自己推薦で志望する理由
 - 入学後に主に学びたいと思っているテーマ
 - 卒業後の志望
- (5) 客観資料
自己推薦入試 推薦書の「3. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
[例] 合格証書等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接※

※集団面接となる場合があります。

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確認できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 自己推薦入試 推薦書[本学所定用紙]
自己推薦入試 推薦書の推薦事項等欄の1~4を記入してください。
ただし、義務教育修了後に資格取得、特別な経験および活動したものに限ります。
- (4) 自己推薦入試 様式1[本学所定用紙]
法律学科を志望した理由および自己評価を1,000字以内で記入してください。出力後、本人が自筆(黒ボールペン)で記入すること。
- (5) 客観資料
必要に応じて能力を証明する客観資料などを提出してください。ただし、義務教育修了後に取得したものに限ります。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00~9:20	9:20~10:20	10:40~
		説明	小論文	面接

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 自己推薦入試様式2[本学所定用紙]
自己評価を600字以内で記入してください。本学科を志望する理由も含めて書いてください。
- (4) 客観資料
必要に応じて能力を証明する客観資料などを提出してください。ただし、義務教育修了後に取得したものに限りです。
[例] 合格証書等のコピー
- (5) 英語能力を証明する書類
以下のいずれかの英語能力を証明する書類を持っている場合には、提出してください(任意提出)。なお、一度提出された証明書は返還しませんので、証明書の原本を提出する際は十分注意してください。証明書はコピーによる提出を可としますが、コピーを提出する場合は学校長の確認印が押印されたものを提出してください。
各種証明書は、発行までに時間を要するものもあるので、余裕をもって準備してください。
※各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。
① 実用英語技能検定(従来型を含む全方式) … 実用英語技能検定合格証明書、英検CSEスコア証明書、または実用英語技能検定個人成績表のいずれか
※デジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書は受理できません。上記書類を必ず提出してください。
② GTEC(CBTタイプ、検定版Advancedタイプ) … OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
※ SCORE REPORTでは受理できません。
③ TEAP(4技能) … Official Score Report
④ IELTS™ … Test Report Form(成績証明書)

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00~9:20	9:20~10:20	10:40~
		説明	小論文	面接

出願資格

大学入学資格を有する者(含見込者)で、本学当該学科(専攻)を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

※大学入学資格はP.4参照。

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者は合格成績証明書]
- (3) 自己推薦入試 推薦書[本学所定用紙]
「3.資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限り、
「4.活動歴」欄には、以下の事項に該当する場合に記入してください。
●高等学校卒業後の学歴(現役生の場合は記入不要)
●海外滞在歴(観光旅行等は除く)がある場合には、国名、都市名、期間、目的等
- (4) 自己推薦入試 様式2[本学所定用紙]
以下の項目について、それぞれ番号をつけたうえ順番にバランスよく記入してください。
1. 志望理由 2. 入学後の勉学計画 3. 卒業後の将来の進路
- (5) 客観資料
自己推薦入試 推薦書の「3.資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
[例] 合格証書等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。
- (6) 英語能力を証明する書類
以下のいずれかの英語能力を証明する書類を持っている場合には、提出してください(任意提出)。なお、一度提出された証明書は返還しませんので、証明書の原本を提出する際は十分注意してください。証明書はコピーによる提出を可としますが、コピーを提出する場合は学校長の確認印が押印されたものを提出してください。
各種証明書は、発行までに時間を要するものもあるので、余裕をもって準備してください。
※各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。
① 実用英語技能検定(従来型を含む全方式) … 実用英語技能検定合格証明書、英検CSEスコア証明書、または実用英語技能検定個人成績表のいずれか
※デジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書は受理できません。上記書類を必ず提出してください。
② GTEC(CBTタイプ、検定版Advancedタイプ) … OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
※SCORE REPORTでは受理できません。
③ TEAP(4技能) … Official Score Report
④ IELTS™ … Test Report Form(成績証明書)

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00~9:20	9:20~10:20	10:40~
		説明	小論文	面接

学校推薦型選抜 学校推薦入試（総合評価型）

○学校推薦入試は、学校長の推薦を受けて受験する推薦入試です。

試験日程	76
試験科目〔配点〕	77
第1部（昼）	
文 学 部	哲学科 ～論文型～ 78
	哲学科 ～ディベート型～ 79
	東洋思想文化学科 ～小論文型～ 80
	日本文学文化学科 ～小論文型～ 81
	英米文学科 ～小論文型～ 82
	教育学科（人間発達専攻／初等教育専攻） ～総合問題型～ 84
経 済 学 部	国際経済学科 ～小論文型～ 85
	総合政策学科 ～小論文型～ 86
経 営 学 部	経営学科 ～小論文型～ 87
	マーケティング学科 ～小論文型～ 88
	会計ファイナンス学科 ～小論文型～ 89
法 学 部	法律学科・企業法学科 ～小論文型～ 90
社 会 学 部	国際社会学科 ～小論文型～ 91
国 際 観 光 学 部	国際観光学科 ～小論文型～ 92
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科 ～小論文型～ 94
	人間環境デザイン学科 ～実技型～ 95
理 工 学 部	機械工学科 ～総合問題型～ 96
	電気電子情報工学科・応用化学科・都市環境デザイン学科 ～小論文型～ 97
総 合 情 報 学 部	総合情報学科（メディア情報専攻・システム情報専攻） ～小論文型～ 98
環境イノベーション学部	環境イノベーション学科 ～小論文型～ 99
生 命 科 学 部	生命科学科・生体医工学科・生物資源学科 ～小論文型～ 100
食 環 境 科 学 部	食環境科学科・フードデータサイエンス学科 ～小論文型～ 101

第2部・イブニングコース（夜）

文 学 部	東洋思想文化学科・日本文学文化学科・教育学科 ～小論文型～ 102
経 済 学 部	経済学科 ～小論文型～ 103
経 営 学 部	経営学科 ～小論文型～ 104
法 学 部	法律学科 ～小論文型～ 105
社 会 学 部	社会学科 ～小論文型～ 106
国 際 学 部	国際地域学科（地域総合専攻） 107

試験日程

実施時期	出願期間	受験票 印刷可能予定日	試験日	合格発表日	入学手続締切日
11月	11月 2日(月)～11月 5日(木)	11月16日(月)～	11月22日(日)	12月 1日(火)	12月11日(金)
12月	11月27日(金)～12月 2日(水)	12月 8日(火)～	12月13日(日)	1月 8日(金)	1月14日(木)

※出願期間内に、出願書類の郵送(出願期間内消印有効)および入学検定料の支払いが必要です。

※受験票印刷可能予定日について、受験票は上記の受験票印刷可能予定日後に受験生各自が印刷してください。詳細は「受験票」のページを確認してください。

出願期間の注意点

出願を完了するためには、「インターネット出願登録」「入学検定料の支払い」「出願書類の郵送」が必要となります。「インターネット出願登録」は出願期間最終日の23:59まで可能ですが、インターネット出願登録後に「入学検定料の支払い」「出願書類の郵送」が必要となりますので、出願期間内にすべての手続が完了するように、余裕をもって行ってください。

試験科目[配点]

- 下表の科目欄に配点の記載がある科目が、その学科(専攻)での試験科目です。
- 入学試験は東洋大学の各キャンパスにて実施します。各キャンパスの所在地は「キャンパス案内図」のページを参照してください。学科(専攻)によって試験会場が異なりますので、試験当日は試験会場を間違えないよう、十分に注意してください。なお、試験会場を間違えた場合、受験することはできません。

試験日	学部		学科(専攻)		書類選考	小論文	その他	面接	口頭試問※
11月22日(日)	第1部 (昼)	文	哲	論文型	20		100 (論文)	20	
				ディベート型	20		100 (ディベート)	20	
			東洋思想文化	小論文型	20	40		40	
			日本文学文化	小論文型	20	40		40	
			英米文	小論文型	50	100		50	
			教育(人間発達)	総合問題型	10		60 (総合問題)	30	
			教育(初等教育)	総合問題型	10		60 (総合問題)	30	
		経 済	国際経済	小論文型	50	100		50	
			総合政策	小論文型	100	100		100	
		経 営	経営	小論文型	100	100		100	
			マーケティング	小論文型	100	100		100	
			会計ファイナンス	小論文型	100	100		100	
		法	法律	小論文型	30	40		30	
			企業法	小論文型	30	40		30	
		社 会	国際社会	小論文型	50	100		100	
		国際観光	国際観光	小論文型	100	100		100	
		福祉社会 デザイン	社会福祉	小論文型	100	100		100	
			人間環境デザイン	実技型	50		100 (実技)	100	
		理 工	機械工	総合問題型	100		100 (総合問題)	100	
			電気電子情報工	小論文型	100	100		100	◎
			応用化	小論文型	100	100		100	◎
			都市環境デザイン	小論文型	100	100		100	◎
		総合情報	総合情報 (メディア情報)	小論文型	50	100		100	
			総合情報 (システム情報)	小論文型	50	100		100	
		環境イノベーション	環境イノベーション	小論文型	100	100		100	◎
		生 命 科	生命科	小論文型	30	100		100	◎
			生体医工	小論文型	50	100		100	◎
			生物資源	小論文型	30	100		100	◎
		食環境科	食環境科	小論文型	30	100		100	
			フードデータ サイエンス	小論文型	30	100		100	
12月13日(日)	第2部・ イブニング コース (夜)	文	東洋思想文化	小論文型	20	40		40	
			日本文学文化	小論文型	20	40		40	
			教育	小論文型	10	60		30	
		経 済	経済	小論文型	100	100		100	
		経 営	経営	小論文型	100	100		100	
		法	法律	小論文型	30	40		30	
		社 会	社会	小論文型	100	100		100	
		国 際	国際地域(地域総合)			50			100

※◎の記載のある学科は面接時に口頭試問を行います。

～論文型～

出願資格

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。
- (2) 全体の学習成績の状況3.6以上
※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。

※出願資格の取り扱いについてはP.4参照

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
- (3) 学校推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
- (4) 学校推薦入試 様式1 [本学所定用紙]
以下の項目を取り入れて記入してください。
●大学入学後にどのようなことを学びたいのか
●大学卒業後にあなたが目指す将来の姿
- (5) 客観資料
学校推薦入試 推薦書の「4. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
[例] 合格証書等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	論文	面接

～ディベート型～

出願資格

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。
- (2) 全体の学習成績の状況3.6以上
※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。

※出願資格の取り扱いについてはP.4参照

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
- (3) 学校推薦入試 推薦書[本学所定用紙]
- (4) 学校推薦入試 様式1[本学所定用紙]
以下の項目を取り入れて記入してください。
●大学入学後にどのようなことを学びたいのか
●大学卒業後にあなたが目指す将来の姿
- (5) 客観資料
学校推薦入試 推薦書の「4. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
[例] 合格証書等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	ディベート	面接

ディベート試験について

ディベート試験の概要は以下のとおりとなります。

【実施概要】 試験監督者(コーディネーター)の指示に基づき、以下の手順で進行します。

- (1) 「短い文章の読解」を行い、「自分の主張の立論」を行います(目安:10分)。
- (2) 「自分の主張の発表」と「他の受験生の主張の聴取」を行います(目安:20分)。
- (3) 「受験生同士による討論」を行います(目安:30分)。

※出願状況によっては、内容が変更となる場合があります。

【評価項目】 次の4つの項目について評価を行います。

- (1) 出題文の趣旨を正確に読解できているか等の「出題文の読解能力」
- (2) 自分の主張を明晰に提示できているか等の「自分の主張の論理的構成能力」
- (3) 対論者の主張を正確に聴き取れているか等の「対論の精確な聴取能力」
- (4) 対論者と噛み合う反論や討論ができているか等の「説得的な対話能力」

～小論文型～

出願資格

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。
- (2) 全体の学習成績の状況3.6以上
※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。

※出願資格の取り扱いについてはP.4参照

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
- (3) 学校推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
- (4) 学校推薦入試 様式1 [本学所定用紙]
以下の項目を取り入れて記入してください。
●大学入学後にどのようなことを学びたいのか
●大学卒業後にあなたが目指す将来の姿
- (5) 客観資料
学校推薦入試 推薦書の「4. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
[例] 合格証書等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
		9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
白山キャンパス	9:00	説明	小論文	面接

～小論文型～

出願資格

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。
- (2) 全体の学習成績の状況3.6以上
※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。

※出願資格の取り扱いについてはP.4参照

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
- (3) 学校推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
- (4) 学校推薦入試 様式1 [本学所定用紙]
志望した理由を、以下の項目を取り入れて1,000字以内で記入してください。志願者本人が黒のボールペンで記入すること。
●大学入学後にどのようなことを学びたいのか
●大学卒業後にあなたが目指す将来の姿
- (5) 客観資料
学校推薦入試 推薦書の「4. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
[例] 合格証書等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
		9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
白山キャンパス	9:00			
		説明	小論文	面接

～小論文型～

出願資格

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。
- (2) 全体の学習成績の状況3.6以上
※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。
- (3) 自身の英語能力を客観的に証明することができる者。客観的な証明にあたっては、以下のいずれかを用いることとする。
 - ① 実用英語技能検定(従来型を含む全方式)
 - ② GTEC(CBTタイプ、検定版Advancedタイプ)
 - ③ TEAP(4技能)
 - ④ IELTS™

※①は、2024年11月以降に1級・準1級・2級のいずれかを受験したものに限る。
 ※②～④は、過去2年以内(2024年11月以降)に受験したものに限る。
 ※③は、同一試験日のスコア合計点のみ有効。
 ※④は、アカデミック・モジュールのみを適用する。One Skill Retakeによるスコアは利用不可。

※出願資格の取り扱いについてはP.4参照

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
- (3) 学校推薦入試 推薦書[本学所定用紙]
- (4) 学校推薦入試 様式1[本学所定用紙]
以下の項目を取り入れて記入してください。
 ●大学入学後にどのようなことを学びたいのか
 ●大学卒業後にあなたが目指す将来の姿
- (5) 英語外部試験スコアに関する証明書
以下のいずれかの証明書を提出してください。
 各種証明書は、発行までに時間を要するものもあるので、余裕をもって準備してください。
 ※各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。
 - ① 実用英語技能検定合格証明書、英検 CSE スコア証明書、または実用英語技能検定個人成績表のいずれか
※デジタル合格証明書、デジタル英検 CSE スコア証明書は受理できません。上記書類を必ず提出してください。
 - ② GTEC(CBTタイプ、検定版Advancedタイプ) OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
※SCORE REPORTでは受理できません。
 - ③ TEAP(4技能) Official Score Report
 - ④ IELTS™ Test Report Form(成績証明書)
 一度提出された証明書は返還しませんので、証明書の原本を提出する際は十分注意してください。なお、証明書はコピーによる提出を可としますが、コピーを提出する場合は学校長の確認印が押印されたものを提出してください。
- (6) 客観資料
学校推薦入試 推薦書の「4. 資格・特別な経験」の欄に(5)以外のものを記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
 [例] 合格証書等のコピー
 なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

～総合問題型～

出願資格

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科(専攻)を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。
- (2) 全体の学習成績の状況3.6以上
※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。

※出願資格の取り扱いについてはP.4参照

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
- (3) 学校推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
- (4) 学校推薦入試 様式1 [本学所定用紙]
教育学科を志望した理由を以下の点を中心として1,000字以内で書いてください。
【人間発達専攻】
●教育学科を学校推薦で志望する理由
●入学後に主に学びたいと思っているテーマ
●卒業後の志望
【初等教育専攻】
●教育学科を学校推薦で志望する理由
●入学後に主に学びたいと思っているテーマ並びに往還型教育実習で学びたいこと
●卒業後の志望
- (5) 客観資料
学校推薦入試 推薦書の「4. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
[例] 合格証書等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	総合問題	面接

～小論文型～

出願資格

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。
- (2) 全体の学習成績の状況3.6以上かつ以下のa～dいずれかの基準を満たすこと。
 ※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。
 - a) 実用英語技能検定(従来型を含む全方式) 1,980点以上
 - b) GTEC(CBTタイプ、検定版Advancedタイプ) 960点以上
 - c) TEAP(4技能) 225点以上
 - d) IELTS™ 4.5以上
 ※aは、2024年11月以降に1級・準1級・2級のいずれかを受験したものに限る。
 ※b～dは、過去2年以内(2024年11月以降)に受験したものに限る。
 ※cは、同一試験日のスコア合計点のみ有効。
 ※dは、アカデミック・モジュールのみを適用する。One Skill Retakeによるスコアは利用不可。

※出願資格の取り扱いについてはP. 4 参照

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
- (3) 学校推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
- (4) 学校推薦入試 様式2 [本学所定用紙]
 当該学科を志望する理由を600字以内で記入してください。
- (5) 出願資格確認書類
 以下のいずれかの証明書をコピーし、学校長の確認印を押して提出してください。
 各種証明書は、発行までに時間を要するものもあるので、余裕をもって準備してください。
 ※各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。
 - a) 実用英語技能検定合格証明書、英検CSEスコア証明書、または実用英語技能検定個人成績表のいずれか
 ※デジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書は受理できません。上記書類を必ず提出してください。
 - b) GTEC(CBTタイプ、検定版Advancedタイプ) OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
 ※SCORE REPORTでは受理できません。
 - c) TEAP(4技能) Official Score Report
 - d) IELTS™ Test Report Form(成績証明書)

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

出願資格

～小論文型～

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。
- (2) 全体の学習成績の状況3.6以上かつ以下の①～④のいずれかを満たすこと。
 ※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。
 - ① 実用英語技能検定(従来型を含む全方式) 1,800点以上
 - ② GTEC(CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ) 840点以上
 - ③ TEAP(4技能) 195点以上
 - ④ IELTS™ 4.0以上
 ※①は、2024年11月以降に1級・準1級・2級のいずれかを受験したものに限り。
 ※②～④は、過去2年以内(2024年11月以降)に受験したものに限り。
 ※③は、同一試験日のスコア合計点のみ有効。
 ※④は、アカデミック・モジュールのみを適用する。One Skill Retakeによるスコアは利用不可。

※出願資格の取り扱いについてはP.4 参照

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
- (3) 学校推薦入試 推薦書[本学所定用紙]
 「4.資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限り。
- (4) 学校推薦入試 様式1[本学所定用紙]
 総合政策学科の特徴についてホームページ等で確認し、これを参考にして当該学科を志望する理由を800～1,000字で記入してください。この中で、入学後に取り組みたい研究テーマとそのテーマを取り上げる理由、自分の興味との関連、在学中の達成目標を自分の文章で具体的に記述してください。なお、面接の際に研究テーマについて説明を求めます。
- (5) 出願資格確認書類
 以下のいずれかの証明書をコピーし、学校長の確認印を押して提出してください。
 各種証明書は、発行までに時間を要するものもあるので、余裕をもって準備してください。
 ※各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。
 - a) 実用英語技能検定合格証明書、英検CSEスコア証明書、または実用英語技能検定個人成績表のいずれか
 ※デジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書は受理できません。上記書類を必ず提出してください。
 - b) GTEC(CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ) OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
 ※SCORE REPORTでは受理できません。
 - c) TEAP(4技能) Official Score Report
 - d) IELTS™ Test Report Form(成績証明書)
- (6) 客観資料
 学校推薦入試 推薦書の「4.資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
 [例] 合格証書等のコピー
 なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

～小論文型～

出願資格

以下の(1)～(4)のすべての基準を満たす者。

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。
- (2) 全体の学習成績の状況4.0以上
- (3) 以下のa～bいずれかの基準を満たすこと。
 - a) 国語、地理歴史、公民の学習成績の状況の平均が4.3以上
 - b) 国語、数学の学習成績の状況の平均が4.3以上

※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。
- (4) 以下のa～dいずれかの基準を満たすこと。
 - a) 実用英語技能検定(従来型を含む全方式)1,980点以上
 - b) GTEC(CBTタイプ、検定版Advancedタイプ)960点以上
 - c) TEAP(4技能)225点以上
 - d) IELTS™ 4.5以上

※aは、2024年11月以降に1級・準1級・2級のいずれかを受験したものに限る。
 ※b～dは、過去2年以内(2024年11月以降)に受験したものに限る。
 ※cは、同一試験日のスコア合計点のみ有効。
 ※dは、アカデミック・モジュールのみを適用する。One Skill Retakeによるスコアは利用不可。

※出願資格の取り扱いについてはP.4参照

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
- (3) 学校推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
- (4) 学校推薦入試 様式2 [本学所定用紙]
当該学科を志望する理由を600字以内で記入してください。

(5) 出願資格確認書類

以下のいずれかの証明書をコピーし、学校長の確認印を押して提出してください。

各種証明書は、発行までに時間を要するものもあるので、余裕をもって準備してください。

※各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。

- a) 実用英語技能検定合格証明書、英検CSEスコア証明書、または実用英語技能検定個人成績表のいずれか

※デジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書は受理できません。上記書類を必ず提出してください。

- b) GTEC(CBTタイプ、検定版Advancedタイプ) OFFICIAL SCORE CERTIFICATE

※SCORE REPORTでは受理できません。

- c) TEAP(4技能) Official Score Report

- d) IELTS™ Test Report Form(成績証明書)

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

～小論文型～

出願資格

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。
- (2) 全体の学習成績の状況4.0以上かつ以下のa～dいずれかの基準を満たすこと。
 ※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。
 - a) 実用英語技能検定(従来型を含む全方式) 1,980点以上
 - b) GTEC(CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ) 960点以上
 - c) TEAP(4技能) 225点以上
 - d) IELTS™ 4.5以上
 ※aは、2024年11月以降に1級・準1級・2級のいずれかを受験したものに限る。
 ※b～dは、過去2年以内(2024年11月以降)に受験したものに限る。
 ※cは、同一試験日のスコア合計点のみ有効。
 ※dは、アカデミック・モジュールのみを適用する。One Skill Retakeによるスコアは利用不可。

※出願資格の取り扱いについてはP. 4 参照

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
- (3) 学校推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
- (4) 学校推薦入試 様式2 [本学所定用紙]
 当該学科を志望する理由を600字以内で記入してください。
- (5) 出願資格確認書類
 以下のいずれかの証明書をコピーし、学校長の確認印を押して提出してください。
 各種証明書は、発行までに時間を要するものもあるので、余裕をもって準備してください。
 ※各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。
 - a) 実用英語技能検定合格証明書、英検 CSE スコア証明書、または実用英語技能検定個人成績表のいずれか
 ※デジタル合格証明書、デジタル英検 CSE スコア証明書は受理できません。上記書類を必ず提出してください。
 - b) GTEC(CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ) OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
 ※SCORE REPORTでは受理できません。
 - c) TEAP(4技能) Official Score Report
 - d) IELTS™ Test Report Form(成績証明書)

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

～小論文型～

出願資格

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

- (2) 全体の学習成績の状況3.6以上かつ以下のa～dのいずれかを満たすこと。

※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。

- a) 実用英語技能検定(従来型を含む全方式) 1,980点以上
b) GTEC(CBTタイプ、検定版Advancedタイプ) 960点以上
c) TEAP(4技能) 225点以上
d) IELTS™ 4.5以上

※aは、2024年11月以降に1級・準1級・2級のいずれかを受験したものに限る。

※b～dは、過去2年以内(2024年11月以降)に受験したものに限る。

※cは、同一試験日のスコア合計点のみ有効。

※dは、アカデミック・モジュールのみを適用する。One Skill Retakeによるスコアは利用不可。

※出願資格の取り扱いについてはP.4参照

出願書類

- (1) 志願票
(2) 調査書
(3) 学校推薦入試 推薦書[本学所定用紙]
(4) 学校推薦入試 様式2[本学所定用紙]
当該学科を志望する理由を600字以内で記入してください。

- (5) 出願資格確認書類

以下のいずれかの証明書をコピーし、学校長の確認印を押して提出してください。

各種証明書は、発行までに時間を要するものもあるので、余裕をもって準備してください。

※各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。

- a) 実用英語技能検定合格証明書、英検CSEスコア証明書、または実用英語技能検定個人成績表のいずれか

※デジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書は受理できません。上記書類を必ず提出してください。

- b) GTEC(CBTタイプ、検定版Advancedタイプ) OFFICIAL SCORE CERTIFICATE

※SCORE REPORTでは受理できません。

- c) TEAP(4技能) Official Score Report

- d) IELTS™ Test Report Form(成績証明書)

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

～小論文型～

出願資格

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。
- (2) 全体の学習成績の状況3.6以上
※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。

※出願資格の取り扱いについてはP.4参照

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
- (3) 学校推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
「4.資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限りです。
- (4) 学校推薦入試 様式1 [本学所定用紙]
志願理由を1,000字以内で記入してください。
- (5) 客観資料
学校推薦入試 推薦書の「4.資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
[例] 検定・資格の合格証書、試験の結果・スコア等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
		9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
白山キャンパス	9:00			
		説明	小論文	面接

～小論文型～

出願資格

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。
- (2) 全体の学習成績の状況 3.6 以上かつ以下の①～④のいずれかの基準を満たすこと。
 ※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。
 ① 実用英語技能検定(従来型を含む全方式) 1,800点以上
 ② GTEC(CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ) 840点以上
 ③ TEAP(4技能) 195点以上
 ④ IELTS™ 4.5 以上
 ※①は、2024年11月以降に1級・準1級・2級のいずれかを受験したものに限り。
 ※②～④は、過去2年以内(2024年11月以降)に受験したものに限り。
 ※③は、同一試験日のスコア合計点のみ有効。
 ※④は、アカデミック・モジュールのみを適用する。One Skill Retakeによるスコアは利用不可。

※出願資格の取り扱いについてはP. 4 参照

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
- (3) 学校推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
- (4) 学校推薦入試 様式1 [本学所定用紙]
 以下の項目を取り入れて記入してください。【800字以内】
 ・自身の多文化共生に活かせる経験(※)と、そこから得た国際交流や多文化共生に対する考え(400字程度)
 ※海外生活、海外留学、語学研修、海外フィールドスタディ、国内留学、多文化共生にかかわるボランティアの経験など
 ・国際社会学科を志望する理由と卒業後の計画(400字程度)
- (5) 英語能力に関する証明書
 以下のうちいずれか該当するもの。
 各種証明書は、発行までに時間を要するものもあるので、余裕をもって準備してください。
 ※各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。
 ① 実用英語技能検定合格証明書、英検 CSE スコア証明書、または実用英語技能検定個人成績表のいずれか
 ※デジタル合格証明書、デジタル英検 CSE スコア証明書は受理できません。上記書類を必ず提出してください。
 ② GTEC(CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ) OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
 ※SCORE REPORTでは受理できません。
 ③ TEAP(4技能) Official Score Report
 ④ IELTS™ Test Report Form(成績証明書)
 ※一度提出された証明書は返還しませんので、証明書の原本を提出する際は十分注意してください。なお、証明書はコピーによる提出を可としますが、コピーを提出する場合は学校長の確認印が押印されたものを提出してください。
- (6) 客観資料
 学校推薦入試推薦書の「4. 資格・特別な経験」の欄に記載した内容を証明する客観資料、「多文化共生に活かせる経験」に関する客観資料などを提出してください。
 [例] 英語以外の語学検定試験の合格証書やボランティア活動の報告書等のコピー

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

～小論文型～

出願資格

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者（合格した場合、必ず入学することを確認できる者）。
- (2) 全体の学習成績の状況3.6以上の者。
※学習成績の状況は、最終学年1学期末（2学期制の学校の場合は前期末）までの学習成績の状況とする。
- (3) 自身の英語能力を客観的に証明することができる者。
客観的な証明にあたっては、以下のいずれかを用いることとする。
 - ① 実用英語技能検定（従来型を含む全方式）2級以上合格、又は2,150点以上
 - ② GTEC（CBTタイプ、検定版Advancedタイプ）1,050点以上
 - ③ TEAP（4技能）253点以上
 - ④ IELTS™ 5.0以上
 ※いずれも過去2年以内（2024年11月以降）に受験したものに限り。
 ※③は、同一試験日のスコア合計点のみ有効。
 ※④は、アカデミック・モジュールのみを適用する。One Skill Retakeによるスコアは利用不可。
- (4) 以下に挙げるいずれかの資格を1つ以上有する者。
 総合旅行業務取扱管理者、国内旅行業務取扱管理者、情報処理技術者試験（ITパスポート等）、
 統計検定3級以上、日商簿記検定3級以上、全経簿記能力検定2級以上、全商簿記実務検定2級以上、
 ビジネス実務法務検定3級以上、ビジネス会計検定3級以上、ビジネス能力検定3級以上、
 世界遺産検定2級以上、秘書検定2級以上、中国語検定3級以上、HSK 5級以上

※出願資格の取り扱いについてはP. 4 参照

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
- (3) 学校推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
 推薦理由には、以下の項目を取り入れてください。
 - 性格・行動に関する記録
 - 本人の将来性
- (4) 学校推薦入試 様式1 [本学所定用紙]
 当該学科を志望する理由を、以下の点を明らかにしながら1,000字以内で記入してください。
 1. 大学入学後にどのようなことを学びたいのか
 2. 大学卒業後にあなたが目指す将来の姿
 3. 自己PR（資格・特技を含む）
- (5) 英語能力を証明する書類
 各種証明書は、発行までに時間を要するものもあるので、余裕をもって準備してください。
 ※各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。
 - a) 実用英語技能検定合格証明書、英検CSEスコア証明書、または実用英語技能検定個人成績表のいずれか
 ※デジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書は受理できません。上記書類を必ず提出してください。
 - b) GTEC（CBTタイプ、検定版Advancedタイプ）OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
 ※SCORE REPORTでは受理できません。
 - c) TEAP（4技能）Official Score Report
 - d) IELTS™ Test Report Form（成績証明書）
 ※一度提出された証明書は返還しませんので、証明書の原本を提出する際は十分注意してください。
 証明書はコピーによる提出を可としますが、コピーを提出する場合は学校長の確認印が押印されたものを提出してください。

(6) 資格試験に関する証明書

以下のいずれかの検定試験の合格を証明する書類を提出してください。
 総合旅行業務取扱管理者、国内旅行業務取扱管理者、情報処理技術者試験 (ITパスポート等)、統計検定 3 級以上、
 日商簿記検定 3 級以上、全経簿記能力検定 2 級以上、全商簿記実務検定 2 級以上、ビジネス実務法務検定 3 級以上、
 ビジネス会計検定 3 級以上、ビジネス能力検定 3 級以上、世界遺産検定 2 級以上、秘書検定 2 級以上、中国語検定 3 級以上、
 HSK 5 級以上

※一度提出された証明書は返しませんので、証明書の原本を提出する際は十分注意してください。
 証明書はコピーによる提出を可としますが、コピーを提出する場合は学校長の確認印が押印されたものを提出してください。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

～小論文型～

出願資格

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。
- (2) 全体の学習成績の状況3.6以上
※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。

※出願資格の取り扱いについてはP.4参照

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
- (3) 学校推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
「4. 資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限りです。
- (4) 学校推薦入試 様式2 [本学所定用紙]
当該学科を志望する理由を、以下の点を明らかにしながら、600字以内で記入してください。
●大学入学後にどのようなことを学びたいのか
●大学卒業後にあなたが目指す将来の姿
- (5) 客観資料
学校推薦入試 推薦書の「4. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
[例] 合格証書等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
赤羽台キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

～実技型～

出願資格

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。
- (2) 全体の学習成績の状況3.6以上
※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。

※出願資格の取り扱いについてはP.4 参照

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
- (3) 学校推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
「4.資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限りです。
- (4) 学校推薦入試 様式2 [本学所定用紙]
当該学科を志望する理由を、以下の点を明らかにしながら、600字以内で記入してください。
●大学入学後にどのようなことを学びたいのか
●大学卒業後にあなたが目指す将来の姿
- (5) 客観資料
学校推薦入試 推薦書の「4.資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
[例] 合格証書等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

実技

「実技」は、平面構成(テーマに関するイメージスケッチ)と、解説文(そのテーマについて自分の意見を記述)です。
受験生は、試験当日「2B～4Bの黒鉛筆およびシャープペンシル」と「プラスチック製の消しゴム」を持参してください。
また、面接時に自分で制作したデザイン作品、調査レポート等を持参することを推奨します。
なお、「面接」は持参した作品等の内容、持参の有無によって評価するものではありません。

[作品について]

- 作品は、平面・立体とも自分で持ち込める大きさとしします。
- 作品の内容は基本的に自由です。下記は例として参考になしてください。
 - ・高校の授業や行事等で制作した作品、個人の興味により自主制作した作品(例えば絵画、スケッチ、グラフィックデザイン、模型、木工制作物等)やその記録写真
 - ・何らかのテーマでまとめたレポート等
 - ・撮影した写真等の表現作品

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
赤羽台キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	実技	面接

～総合問題型～

出願資格

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。
- (2) 全体の学習成績の状況3.6以上
※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。

※出願資格の取り扱いについてはP.4参照

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
- (3) 学校推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
「4.資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限りです。
- (4) 学校推薦入試 様式2 [本学所定用紙]
大学で学びたいことや、将来の夢などを踏まえ当該学科を志望する理由を600字以内で記入してください。
- (5) 客観資料
学校推薦入試 推薦書の「4.資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
[例] 合格証書等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
		9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
川越キャンパス	9:00	説明	総合問題※	面接

※総合問題は、物理・数学の基礎的な知識を用いて解く問題と200字程度の小論文です。

～小論文型～

出願資格

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。
- (2) 全体の学習成績の状況3.6以上
※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。

※出願資格の取り扱いについてはP.4参照

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
- (3) 学校推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
「4. 資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限りです。
- (4) 学校推薦入試 様式2 [本学所定用紙]
大学で学びたいことや、将来の夢などを踏まえ当該学科を志望する理由を600字以内で記入してください。
- (5) 客観資料
学校推薦入試 推薦書の「4. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。
[例] 合格証書等のコピー
なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
川越キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接※

※面接には口頭試問を含みます。

〈電気電子情報工学科〉口頭試問は、数学・物理に関する内容とします。

〈応用化学科〉口頭試問は、化学に関する内容とします。

〈都市環境デザイン学科〉口頭試問は、数学・理科に関する内容とします。

～小論文型～

出願資格

(1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科(専攻)を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

(2) 全体の学習成績の状況3.6以上

※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。

※出願資格の取り扱いについてはP.4参照

出願書類

(1) 志願票

(2) 調査書

(3) 学校推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]

「4. 資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限り、ます。

(4) 学校推薦入試 様式1 [本学所定用紙]

「大学卒業後の進路」や「将来の夢」を明記し、その実現のために当該専攻で学びたいことを1,000字以内で記入してください。

(5) 客観資料

学校推薦入試 推薦書の「4. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。

[例] 合格証書等のコピー

なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
川越キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

～小論文型～

出願資格

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

- (2) 全体の学習成績の状況 3.6 以上

※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。

※出願資格の取り扱いについては P. 4 参照

出願書類

- (1) 志願票

- (2) 調査書

- (3) 学校推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]

「4. 資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限りします。

- (4) 学校推薦入試 様式2 [本学所定用紙]

環境イノベーション学科で学びたいことや大学卒業後の進路、将来の夢などを踏まえ、当該学科を志願する理由を600字以内で記入してください。

- (5) 客観資料

学校推薦入試 推薦書の「4. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。

[例] 合格証書等のコピー

なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
		9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
川越キャンパス	9:00	説明	小論文	面接※

※面接には口頭試問を含みます。口頭試問とは環境に関する基礎知識を問うものとします。

～小論文型～

出願資格

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

- (2) 全体の学習成績の状況3.6以上

※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。

※出願資格の取り扱いについてはP.4参照

出願書類

- (1) 志願票

- (2) 調査書

- (3) 学校推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]

「4. 資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限りです。

- (4) 学校推薦入試 様式1 [本学所定用紙]

当該学科を志望する理由を、以下の点を明らかにしながら、1,000字以内で記入してください。

●大学で学びたいこと

●大学卒業後にあなたが目指す将来の姿

- (5) 客観資料

学校推薦入試 推薦書の「4. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。

[例] 合格証書等のコピー

なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
		9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
朝霞キャンパス	9:00	説明	小論文	面接 [※]

※面接には口頭試問を含みます。

[生命科学科、生物資源学科]口頭試問は、化学・生物に関する内容です。

[生体医工学科]口頭試問は、理科に関する内容です。

～小論文型～

出願資格

(1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

(2) 全体の学習成績の状況3.6以上

※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。

※出願資格の取り扱いについてはP.4参照

出願書類

(1) 志願票

(2) 調査書

(3) 学校推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]

「4.資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限りします。

(4) 学校推薦入試 様式1 [本学所定用紙]

当該学科を志望する理由を、以下の点を明らかにしながら、1,000字以内で記入してください。

●大学で学びたいこと

●大学卒業後にあなたが目指す将来の姿

(5) 客観資料

学校推薦入試 推薦書の「4.資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。

[例] 合格証書等のコピー

なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
朝霞キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

～小論文型～

出願資格

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。
- (2) 全体の学習成績の状況3.0以上
※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。

※出願資格の取り扱いについてはP.4参照

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
- (3) 学校推薦入試 推薦書[本学所定用紙]
- (4) 学校推薦入試 様式1[本学所定用紙]

[東洋思想文化学科]

以下の項目を取り入れて記入してください。

- 大学入学後にどのようなことを学びたいのか
- 大学卒業後にあなたが目指す将来の姿

[日本文学文化学科]

志望した理由を、以下の項目を取り入れて1,000字以内で書いてください。志願者本人が黒のボールペンで記入すること。

- 大学入学後にどのようなことを学びたいのか
- 大学卒業後にあなたが目指す将来の姿

[教育学科]

教育学科を志望した理由を以下の点を中心として1,000字以内で書いてください。

- 教育学科を学校推薦で志望する理由
- 入学後に主に学びたいと思っているテーマ
- 卒業後の志望

- (5) 客観資料

学校推薦入試 推薦書の「4. 資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。

[例] 合格証書等のコピー

なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

～小論文型～

出願資格

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者（合格した場合、必ず入学することを確約できる者）。

- (2) 全体の学習成績の状況3.0以上

※学習成績の状況は、最終学年1学期末（2学期制の学校の場合は前期末）までの学習成績の状況とする。

※出願資格の取り扱いについてはP. 4 参照

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
- (3) 学校推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
- (4) 学校推薦入試 様式2 [本学所定用紙]
当該学科を志望する理由を600字以内で記入してください。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

～小論文型～

出願資格

(1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

(2) 全体の学習成績の状況3.5以上

※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。

※出願資格の取り扱いについてはP. 4 参照

出願書類

(1) 志願票

(2) 調査書

(3) 学校推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]

(4) 学校推薦入試 様式2 [本学所定用紙]

当該学科を志望する理由を600字以内で記入してください。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

～小論文型～

出願資格

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

- (2) 全体の学習成績の状況3.0以上

※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。

※出願資格の取り扱いについてはP.4参照

出願書類

- (1) 志願票

- (2) 調査書

- (3) 学校推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]

「4.資格・特別な経験」の欄に記載する事項は、義務教育修了後に取得したものに限りです。

- (4) 学校推薦入試 様式1 [本学所定用紙]

志願理由を1,000字以内で記入してください。

- (5) 客観資料

学校推薦入試 推薦書の「4.資格・特別な経験」の欄に記載する場合のみ、その資格・経験を証明する客観資料などを提出してください。

[例] 合格証書等のコピー

なお、資料が無いものは義務教育修了以前に取得したものと判断します。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

～小論文型～

出願資格

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。

- (2) 全体の学習成績の状況3.0以上

※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。

※出願資格の取り扱いについてはP.4参照

出願書類

- (1) 志願票

- (2) 調査書

- (3) 学校推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]

- (4) 学校推薦入試 様式2 [本学所定用紙]

当該学科を志望する理由を400字以内で記入してください。

- (5) 英語能力を証明する書類

以下のいずれかの英語能力を証明する書類を持っている場合には、提出してください(任意提出)。なお、一度提出された証明書は返還しませんので、証明書の原本を提出する際は十分注意してください。証明書はコピーによる提出を可としますが、コピーを提出する場合は学校長の確認印が押印されたものを提出してください。

各種証明書は、発行までに時間を要するものもあるので、余裕をもって準備してください。

※各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。

① 実用英語技能検定(従来型を含む全方式) … 実用英語技能検定合格証明書、英検CSEスコア証明書、または実用英語技能検定個人成績表のいずれか

※デジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書は受理できません。上記書類を必ず提出してください。

② GTEC(CBTタイプ、検定版Advancedタイプ) … OFFICIAL SCORE CERTIFICATE

※SCORE REPORTでは受理できません。

③ TEAP(4技能) … Official Score Report

④ IELTS™ … Test Report Form(成績証明書)

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割		
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～10:20	10:40～
		説明	小論文	面接

出願資格

- (1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科(専攻)を第一志望として入学を志す者(合格した場合、必ず入学することを確約できる者)。
- (2) 全体の学習成績の状況3.4以上
※学習成績の状況は、最終学年1学期末(2学期制の学校の場合は前期末)までの学習成績の状況とする。

※出願資格の取り扱いについてはP.4参照

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
- (3) 学校推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
推薦理由には、以下の項目を取り入れてください。
● 性格・行動に関する記録
● 本人の将来性
- (4) 学校推薦入試 様式1 [本学所定用紙]
当該学科(専攻)を志望する理由を、以下の点を明らかにしながら1,000字以内で記入してください。
1. 大学入学後にどのようなことを学びたいのか
2. 大学卒業後にあなたが目指す将来の姿
3. 自己PR(資格・特技を含む)
- (5) 英語能力を証明する書類
以下のいずれかの英語能力を証明する書類を持っている場合には、提出してください(任意提出)。なお、一度提出された証明書は返還しませんので、証明書の原本を提出する際は十分注意してください。証明書はコピーによる提出を可としますが、コピーを提出する場合は学校長の確認印が押印されたものを提出してください。
各種証明書は、発行までに時間を要するものもあるので、余裕をもって準備してください。
※各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。
① 実用英語技能検定(従来型を含む全方式) … 実用英語技能検定合格証明書、英検CSEスコア証明書、または実用英語技能検定個人成績表のいずれか
※デジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書は受理できません。上記書類を必ず提出してください。
② GTEC(CBTタイプ、検定版Advancedタイプ) … OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
※ SCORE REPORTでは受理できません。
③ TEAP(4技能) … Official Score Report
④ IELTS™ … Test Report Form(成績証明書)

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割	
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～
		説明	面接

学校推薦型選抜「独立自活」支援推薦入試

○「独立自活」支援推薦入試は、学校長の推薦を受けて受験する推薦入試です。

この推薦入試は、学ぶ意欲のある人が一人でも多く学ぶことができるよう、

- ① 在学中に白山キャンパスの大学事務局等で就労すること。
- ② 入学検定料を免除すること。
- ③ 奨学金として授業料・一般施設設備資金の半額相当額を給付すること（ただし、毎年度継続審査あり）。
- ④ 希望者は提携学生寮（1日2食付）への入居が可能であること。

を前提として募集します。

実施概要

この入試は、出願時に課題レポートを作成、提出していただき、試験当日にプレゼンテーション・質疑応答・面接試験を行うものです。本学（白山キャンパス）で受験する方法のほか、Web会議システム等を利用してオンラインビデオ通話形式で受験することも可能であるため、遠隔地に在住している受験生でも、自宅等で試験を受けることができます。

出願資格

(1) 2026年度に、高等学校、中等教育学校後期課程、もしくは特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者で、本学当該学科（専攻）を第一志望として入学を志す者（合格した場合、必ず入学することを確約できる者）。

在学中に、大学事務局等において就労し、勉学と経済的自立を両立させる意欲のある者。

(2) 全体の学習成績の状況4.3以上の者。

※学習成績の状況は、最終学年1学期末（2学期制の学校の場合は前期末）までの学習成績の状況とする。

※出願資格の取り扱いについてはP.4参照

試験日程

実施時期	出願期間	受験票印刷可能予定日	試験日	合格発表日	入学手続締切日
11月	11月 2日(月)～11月 5日(木)	11月16日(月)～	11月22日(日)	12月 1日(火)	12月11日(金)

※出願期間内に、出願書類の郵送（出願期間内消印有効）が必要です。

※受験票印刷可能予定日について、受験票は上記の受験票印刷可能予定日後に受験生各自が印刷してください。詳細は「受験票」のページを確認してください。

出願期間の注意点

出願を完了するためには、「インターネット出願登録」「出願書類の郵送」が必要となります。「インターネット出願登録」は出願期間最終日の23:59まで可能ですが、インターネット出願登録後に「出願書類の郵送」が必要となりますので、出願期間内にすべての手続が完了するように、余裕をもって行ってください。

試験科目[配点]

試験日	学部	学科(専攻)	書類選考	プレゼンテーション・ 質疑応答・面接
11月22日(日)	第2部・イブニングコース(夜)	文	30	70
		東洋思想文化		
		日本文学文化		
		教育		
		経済		
		経営		
		法律		
		社会		
		国際地域(地域総合)		

出願書類

- (1) 志願票
- (2) 調査書
- (3) 「独立自活」支援推薦入試 推薦書 [本学所定用紙]
- (4) 「独立自活」支援推薦入試 志願理由書 [本学所定用紙]
下記の項目を取り入れて記入してください。
 - 志望学科を「独立自活」支援推薦で志望する理由
 - 入学後の主に学びたいと思っているテーマ
 - 大学卒業後にあなたが目指す将来の夢
- (5) 課題レポート
「プレゼンテーション課題」の記載に沿って作成してください。

プレゼンテーション課題

【提出方法】

- ・A4用紙にワープロソフトを用いて、2,000字以内で自身の考えをまとめてください。
- ・本学所定用紙の「プレゼンテーション用資料表紙」を表紙として使用し、左上1か所をホチキスでとめたものを提出してください。

【提出部数】

2部 ※作成したものを2部印刷し、提出してください。

【課題内容】

『チャレンジャー井上円了 ―自分の運命は自分で拓けー』

(<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/admission/admission-data/requirements-special/>)を読み、①東洋大学創立者・井上円了の思想と行動の中で、特に心に残ったことについてまとめ(800字以内)、②その内容をふまえて、あなたが東洋大学でどのようなことを学び、将来何に挑戦したいと考えるか述べなさい(1,200字以内)。

【プレゼンテーション・質疑応答・面接方法】

事前に提出した資料(課題レポート)に基づいてプレゼンテーションを行ってください(10分以内)。質疑応答・面接はプレゼンテーションの後に10分程度を予定しています。プレゼンテーション発表方法は自由とし(原稿を読む、資料を利用するなど)、原稿・資料等(紙媒体のみ)の持ち込みも自由としますが、機材(パソコン等)を使用することはできません。

試験会場・集合時間・時間割

試験会場	集合時間	時間割	
白山キャンパス	9:00	9:00～9:20	9:20～
		説明	プレゼンテーション・ 質疑応答・面接

受験方法の選択について

この入試では、受験方法を選択できます。

① 本学試験会場での受験

本学キャンパスで受験をします。

② Web 会議システム利用による受験

Web 会議システム等を利用したオンラインビデオ通話形式で受験をします。試験当日は本学試験会場で受験をする必要はありません。なお、この受験方法を選択する場合は、下記の条件を満たす必要があります。

- ・周囲に騒音がなく他者がいない環境
- ・下記パソコンの推奨環境を満たし、Webカメラ・マイクが搭載されたPC※
- ※搭載されていない場合は、Webカメラ・マイクを別途用意してください。
- ※事前に接続テストを実施します。

【Web 会議システムについて】

Web 会議システムの利用方法、事前接続テストの詳細および受験までの流れについては、東洋大学入試情報サイト内の「Web 会議システム利用受験要領」に記載されています。必ず一読し、事前に詳細を確認してください。

(注1) 事前接続テストの結果、オンラインビデオ通話接続が不可と判断された場合は、受験方法について別途連絡します。

(注2) Web 会議システム利用に伴う通信料は、受験生自身の負担となります。

■ Web 会議システム利用におけるパソコンの推奨環境 (2026 年 6 月現在)

○ Windows の場合

- ・ O S : 11(32/64bit)
- ・ ブラウザ : Microsoft Edge 最新版
Google Chrome 最新版
Firefox 最新版
- ・ C P U : Intel Dual-Core CPU 2.XX GHzまたは AMD プロセッサ (2GB 以上の RAM を推奨)
- ・ そ の 他 : JavaScript と Cookie が有効になっていること

○ Mac OS の場合

- ・ O S : 10.15 以降
- ・ ブラウザ : Safari 最新版
Google Chrome 最新版
Firefox 最新版
- ・ C P U : Intel CPU ベース (2GB 以上の RAM を推奨)
- ・ そ の 他 : JavaScript と Cookie が有効になっていること

※試験日時時点で推奨要件が変更となる場合があります。

勤務内容概要（記載内容は変更となる場合があります）

- 業務内容：大学運営業務補助（事務系一般）
- 勤務期間：原則として卒業までの4年間
- 勤務先：大学内事務局等
- 勤務形態・待遇等：以下の2つの型から本人が自由に選べるものとする。

身 分	フルタイム型（非常勤嘱託）	パートタイム型（長期アルバイト）
勤務体制	週5日（月～金）9:00～17:00 休憩時間 13:00～14:00 時差での勤務・休憩あり	1週間の勤務は、原則として週3日以上5日未満とし、実働1日7時間以内（基本的には9:00～17:00）、週35時間未満とする。ただし、勤務時間については調整可能。
給 与	月額186,000円	時給1,230円（2026年4月現在）
通勤手当	授業期間中は原則、交通費を支給しない。 ただし、白山キャンパス学生休暇中等は支給する。	授業期間中は原則、交通費を支給しない。ただし、白山キャンパス学生休暇中等は1日1,200円（往復）を上限として、支給する。
社会保険	①日本私立学校振興・共済事業団に加入。 ②雇用保険、労災保険に加入。 ③健康診断の受診を義務付ける。	①社会保険の加入については、法令に基づき行う。 ②日本私立学校振興・共済事業団加入者については、健康診断の受診を義務付ける。

※本制度による奨学金は、日本学生支援機構奨学金（修学支援新制度を含む）との併給が可能です。

ただし、修学支援新制度を利用予定の場合、収入要件の観点から勤務形態は「パートタイム型（長期アルバイト）」を推奨します。

具体的な勤務内容紹介（過年度入学生の例、部署は入学年度によって異なります。）

業務内容（例）

学生・教員の窓口対応業務、電話対応業務、Word・Excel等を使った各種データ入力、会議資料等作成、イベントの準備・設営、来客対応業務、書類整理など

学生寮

(1) 対象学生寮

- 男子寮 ドーミー白山
- 女子寮 ドーミー蓮根

※運営管理は（株）共立メンテナンスに委託しています。（TEL 0120-88-1030）

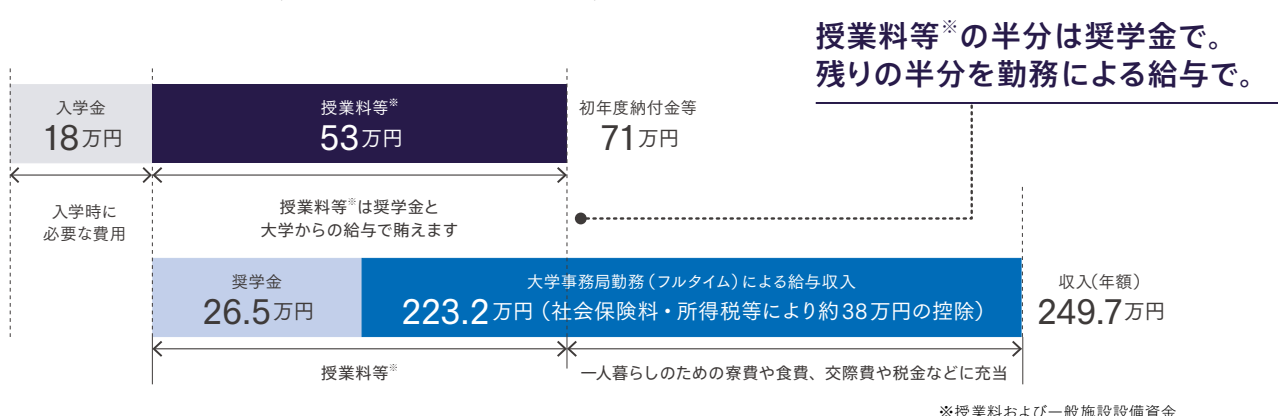
各学生寮の詳細は（株）共立メンテナンス HP（URL <https://dormy-ac.com/>）においてご確認ください。

(2) 費用

- 寮費：月額67,760円（朝夕2食付） ※日祝、夏季6日間、年末年始6日間、年度末7日間、第5土曜日等は休食
月間管理費：12,000円
別途初回契約時に入寮費50,000円、保証金50,000円、および事務手数料16,500円
その他月額費用（電気料金・通信設備料等）がかかります。
- 月額通学定期券代（2026年5月現在）
ドーミー白山：なし（白山キャンパスまで片道約10分、徒歩）
ドーミー蓮根：5,600円（白山キャンパスまで片道約40分）

入学時の経済状況について

■年間収支のモデル（フルタイム型勤務の場合）



パートタイム型、週3回勤務の場合の例 収入年額 108万円

※修学支援新制度の収入要件を考慮し、住民税非課税世帯の基準内とする場合

■1か月の家計モデル（フルタイム型、寮生活の場合）

手取り月収※	約 15.4 万円
寮費（朝・夕食付）、月間管理費含む	8 万円
昼食（学食等）	1 万円
交通費	0.5 万円
その他生活費 （電気料金、通信費、日用品、教材費など）	4.2 万円
学費積み立て	1.7 万円

※社会保険料、所得税等控除後の概算金額

「独立自活」支援推薦入試受験者の入学試験免除制度

2026年11月に実施される「独立自活」支援推薦入試を受験し不合格となった受験生が、当該試験において、同年12月に実施される第2部・イブニングコース（夜）総合型選抜・学校推薦型選抜の合格者に相当する成績を収めたと認められた場合には、2026年12月13日実施の第2部・イブニングコース（夜）総合型選抜・学校推薦型選抜の入学試験を免除し、入学を許可する場合があります。

該当者には「独立自活」支援推薦入試の合否結果通知時に対象となった旨を「マイページ」にて通知しますので、入学の意思がある受験生は通知内容に従い、**12月2日（水）までに**以下の手続を行ってください。

1. インターネット出願登録
2. 「志願票」の郵送
3. 入学検定料の支払い

なお、手続時に「志願票」以外の出願書類（推薦書、調査書等）を提出する必要はありません。

[注意]

第2部・イブニングコース（夜）総合型選抜・学校推薦型選抜の入学試験が免除となる学部・学科（専攻）は、「独立自活」支援推薦入試受験時に志願した学部・学科（専攻）となります。

試験当日の注意事項

- (1) 試験会場の所在地および開門時間は「キャンパス案内図」のページで確認してください。試験会場を間違えると受験できませんので、十分に注意してください。
- (2) 受験票はマイページの「受験・合否情報確認」から印刷し、必ず持参してください。試験会場または試験教室の入口で、受験票の提示が必要になります。受験票を忘れた場合、受験できない場合があります。なお、受験生の付き添い者は試験教室に入室できません。**また、付き添い者の控室はありません。**
- (3) 試験教室等は、試験当日の朝、試験会場の入口に掲示します。
- (4) 試験教室では、机の上の座席票の受験番号が受験票の受験番号と同一であることを確認して、着席してください。自分の受験番号と異なる席に着席し、受験した場合、受験が無効となる場合がありますので、十分に注意してください。
- (5) 1時限目の試験開始時刻に遅刻した場合は、**試験開始から20分以内の遅刻に限り、受験を認めます。20分経過後は、1時限目だけでなく2時限目以降の受験もできません。**なお、1時限目を受験した場合で、2時限目以降において試験開始後20分までに試験場へ入室できない場合は、当該時限以降の受験はできません。
- (6) 試験会場には駐車場がありませんので、自動車・バイク等での試験会場への乗り入れはできません。ただし、理工学部建築学科AO型推薦入試に限り、発表に必要な制作物の運搬等、特別な事情がある場合には自動車での入構を許可する場合があります。
- (7) 試験教室では、すべて試験監督者の指示に従ってください。また、試験会場・試験教室において、他の受験生に迷惑となるような行為は禁止します。従わない場合は不正行為とみなし、退室させることがあります。
- (8) 試験が終了するまでは、特別な事情がない限り試験会場外へは出られませんので、必要に応じて昼食等を持参してください。なお、試験当日は学生食堂、売店等は営業していません。
- (9) **試験当日、試験会場近辺に合格電報・合格電話等を取り扱っている業者がありますが、本学とはまったく関係がありません。この業者に関して発生した事故について、本学は一切責任を負いませんので十分に注意してください。**
- (10) 試験教室には、時計がありません。また、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の電子機器類を時計代わりに使用することはできません。必要に応じて、**時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可)**を持参してください。なお、時計の貸出しは行っていません。
- (11) 不正行為となった場合は、それ以降の受験はできません。なお、その場合における入学検定料の返還の求めには応じません。
- (12) 不正行為が認められた場合、警察へ被害届を提出する等の対応をとる場合があります。

試験当日に交通機関の乱れが生じている場合

試験当日、雪などの天候不良や事故、地震などにより交通機関の乱れが生じている場合でも、まず試験会場に向かってください。本学では追試験・再試験は行いませんので、その日のうちに必ず入学試験は行われるものと理解してください。

各試験会場への主要公共交通機関(バス・車を除く)の乱れなどにより、多数の受験者が試験開始時刻に間に合わないとうかがわれ、大学が判断した場合に限り、試験開始時刻を遅らせることがあります。

ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

詳細については措置内容が決定した後、本学入試情報サイトに随時掲載しますので、各自で確認をしてください。

学校保健安全法等で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験実施にあたり、学校保健安全法等で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス・インフルエンザ等)の蔓延が確認された場合、関係行政機関等の対応を考慮した上で、試験実施について具体的な措置をとる場合があります。

また、感染症に罹患し治癒していない受験生が確認された場合、同じく関係行政機関等の対応を考慮した上で、試験実施について具体的な措置をとる場合もあります。なお、試験実施について措置がとられた場合でも、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

詳細については措置内容が決定した後、本学入試情報サイトに随時掲載しますので、各自で確認をしてください。

受験生の皆さんへお願い

- (1) 入学試験会場での感染症(新型コロナウイルス・インフルエンザ等)の感染を防ぐため、必要に応じて各自でマスクを用意してください。
- (2) 咳・くしゃみが出る場合は、マスクを着用する、咳エチケットを守るなど周囲の受験生への感染防止に配慮してください。
- (3) 休憩時間中他、ドア・窓等を開放して外気との換気を行う場合があります。寒暖については各自、体温調整が可能な服装で受験してください。
- (4) 感染症等の感染を防ぐため、必要な指示および措置を講じる場合は、決定次第、東洋大学入試情報サイト(<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/>)等にてお知らせします。

試験時間中の注意事項

受験票等所持品の扱い

- (1) 「受験票」は右上の受験番号が記載されている面を表にして点線に沿って十字折りし、必ず机の上に置いてください。
- (2) 「受験票」の他に試験時間中、机の上に置けるものは、次のとおりです。

- ・黒鉛筆 (HBまたはBに限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。)、鉛筆キャップ
 - ・シャープペンシル (HBまたはBの黒い芯に限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。)、芯ケース
 - ・プラスチック製の消しゴム
 - ・鉛筆削り (電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。)
 - ・時計 (辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。)
 - ・眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー (袋又は箱から中身だけ取り出したもの。)
- ただし、福祉社会デザイン学部人間環境デザイン学科に関しては、「2B～4Bの黒鉛筆およびシャープペンシル」の使用を認めます。

- (3) 「下敷き」「そろばん」「電卓」「グラフ用紙」「定規」などの用具は使用できません。ただし、福祉社会デザイン学部人間環境デザイン学科のAO型推薦入試(デザイン基礎型)の受験者は、配布された用具は使用できます。
- (4) **アラーム機能のついた時計は、試験教室に入る前に必ずアラームの設定を解除してください。**
- (5) 携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末(例：スマートウォッチやスマートグラス等)・タブレット型端末等の電子機器類は、試験教室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れておいてください。試験時間中にこれらをかばん等にしまわず、身に付けていたり、手に持っていると不正行為とみなされることがあります。アラームは、設定を解除しないと電源を切っていても鳴ることがありますので、注意してください。なお、試験時間中にかばん等の中で携帯電話の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を教室外に持ち出し、実施本部で当該試験時間終了まで保管します。
- (6) 「耳せん」は、試験監督者の指示等が聞き取れないことがありますので、使用できません。
- (7) **試験教室内で、「英文字」「地図」「格言」等がプリントされている衣服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。また、帽子・マフラーは原則として使用できません。**
- (8) 「座布団」「クッション」「タオル」「ひざ掛け」「手袋(多汗症用を含む。)」の使用を希望する場合は、試験開始前に試験監督者に申し出て、許可を受けてから使用してください。

試験時間中の退室

試験時間中は試験終了までは退室を認めません。試験中の発病またはトイレ等やむを得ない場合には、手を挙げて試験監督者の指示に従ってください。

ただし、一時退室が認められた場合でも、一時退室した分の試験時間の延長は認められません。

試験時間中の試験監督者の指示

試験時間中は、試験監督者の指示に従ってください。従わない場合は不正行為とみなし、退室させることがあります。なお、その場合における入学検定料の返還の求めには応じません。

不正行為

次の行為は不正行為となることがあります。不正行為となった場合は、それ以降の受験はできません。また、既に受験した科目の受験も無効となります。なお、その場合における入学検定料の返還の求めには応じません。

- (1) 解答用紙へ故意に虚偽の記入(本人以外の氏名・受験番号を記入するなど)をすること。
- (2) カンニング(カンニングペーパー・参考書・他の受験生の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど)をすること。
- (3) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- (4) 「下敷き」「そろばん」「電卓」「グラフ用紙」「定規」など、使用を禁じられた用具を使用して問題を解くこと。
- (5) 試験開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- (6) 配付された問題冊子をその試験時間が終了する前に試験教室から持ち出すこと。
- (7) 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- (8) 試験時間中に、出題内容、あるいは解答を教えるなど他の受験生が有利となるような行為をすること。
- (9) 試験時間中に携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末(例：スマートウォッチやスマートグラス等)・タブレット型端末等の電子機器類を身につけていること。
- (10) 試験時間中に携帯電話や時計等の音(着信・アラーム・振動音など)を鳴らすこと。
- (11) 試験会場において他の受験生の迷惑となる行為をすること。
- (12) 試験会場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- (13) その他、試験の公平性を損なう行為をすること

※不正行為が認められた場合、警察へ被害届を提出する等の対応をとる場合があります。

その他の注意事項

- (1) 試験時間中に監督者が受験生の顔の確認を行います。マスクの着用等により、本人確認できない場合、一時的に外す等の指示をすることがあります。
- (2) 試験時間中に日常的な生活騒音等（監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打合せ、航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験生の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置は行いません。
- (3) 机、椅子、空調等の試験教室による相違は一切考慮しません。

合格発表

- (1) **合格発表はマイページにて行います。合格発表日後に、マイページの「受験・合否情報確認」から合否結果を確認してください。**
※ 合格発表の公開開始時間は、合格発表日の10:00を予定しています。
※ 合格発表の開始直後はアクセス集中に伴い、マイページにログインしづらくなる場合があります。
- (2) 郵送による合格通知書の発送は行いません。合格通知書はマイページの「受験・合否情報確認」から必要に応じて印刷し、各自保管してください。
※ 合格通知書には、重要な個人情報が記載されています。SNS等での公開は絶対に行わないでください。
※ 合格通知書は、2027年4月5日（月）まで確認（印刷）が可能となります。
- (3) 合否結果に関する問い合わせには、一切応じません。また、マイページからの出力以外の方法による合格通知書発行の申し出にも応じません。
- (4) **社会学部第1部社会学科の自己推薦入試第一次選考の合格者には、第二次選考出願のためのパスワードを通知しますので、第二次選考の出願期間内に「マイページ」より出願登録を行ってください。**
- (5) 入学試験の成績開示については、2027年3月に本学入試情報サイトにてお知らせします。

入学手続

マイページの「受験・合否情報確認」から入学手続サイトにアクセスし、入学手続締切日までに下記の手続を行ってください。

- (1) 納付金納入手続
- (2) オンライン入学手続（学生情報の登録）

- ・手続方法の詳細は、入学手続サイトに掲載される「入学手続のしおり」を確認してください。
- ・入学手続締切日までに上記手続が完了しない場合は、当該合格者に入学の意思がないものとみなし、締切後の入学手続は一切受け付けません。入学手続未完了者に対して個別に手続催告等の通知は行いませんので、各自の責任で手続を完了させてください。
- ・納入した入学金（入学申込金）は「東洋大学の合格した学部学科・専攻に入学し得る地位を取得するための対価」としての金員であるため、入学を辞退した場合を含め、事情の如何にかかわらず返還しません。また提出した書類は返還しません。

納付金

2027年度入学生 納付金内訳(予定)

(単位:円)

			入学手続時 必要額	入学後 ＜10月＞	学費					その他の費用	初年度納付金 合計
					入学金 (入学申込金)	授業料	一般施設 設備資金	実験実習料	教育充実料	雨水会費	
第1部	文学部	教育学科 初等教育専攻	830,000	575,000	250,000	900,000	250,000			5,000	1,405,000
		教育学科初等教育 専攻を除く全学科	760,000	505,000	250,000	790,000	220,000			5,000	1,265,000
	経済学部・経営学部・法学部		760,000	505,000	250,000	790,000	220,000			5,000	1,265,000
	社会学部	社会学科	760,000	505,000	250,000	790,000	220,000			5,000	1,265,000
		国際社会学科・ 社会心理学科	767,500	512,500	250,000	790,000	220,000		15,000	5,000	1,280,000
		メディアコミュニ ケーション学科	765,000	510,000	250,000	790,000	220,000		10,000	5,000	1,275,000
	国際学部・国際観光学部		795,000	540,000	250,000	860,000	220,000			5,000	1,335,000
	情報連携学部		965,000	710,000	250,000	1,100,000	320,000			5,000	1,675,000
	福祉社会 デザイン学部	社会福祉学科・ 子ども支援学科	810,000	555,000	250,000	830,000	240,000	40,000		5,000	1,365,000
		人間環境 デザイン学科	900,000	645,000	250,000	890,000	300,000	100,000		5,000	1,545,000
	健康スポーツ 科学部	健康スポーツ科学科	880,000	625,000	250,000	870,000	300,000	80,000		5,000	1,505,000
		栄養科学科	905,000	650,000	250,000	920,000	300,000	80,000		5,000	1,555,000
	理工学部		972,500	717,500	250,000	1,090,000	260,000	85,000		5,000	1,690,000
	総合情報学部		920,000	665,000	250,000	1,030,000	260,000	40,000		5,000	1,585,000
	環境イノベーション学部		992,500	737,500	250,000	1,090,000	300,000	85,000		5,000	1,730,000
	生命科学部・食環境科学部		985,000	730,000	250,000	1,020,000	360,000	80,000		5,000	1,715,000
第2部・イブニングコース			445,000	265,000	180,000	430,000	100,000			710,000	

《備考》

- ・入学手続時に必要な納付金は、「入学金」と「学費(入学金以外)の1/2」と「その他の費用」です。
- ・「高等教育の修学支援新制度(日本学生支援機構(JASSO)の給付奨学金(多子世帯支援含む))」を利用予定の方は、「高等教育の修学支援新制度について」のページも必ず確認してください。
- ・入学金(入学申込金)の納入は、初年度のみです。
- ・納入した入学金(入学申込金)は、「東洋大学の合格した学部学科・専攻に入学し得る地位を取得するための対価」としての金員であるため、入学を辞退した場合を含め、事情の如何にかかわらず返還しません。また提出した書類は返還しません。
- ・その他の費用については、各団体からの依頼に基づき、本学が代理徴収しています。
- ・上記の金額は納入予定額のため、変更となる場合があります。
- ・上記の表は全学部・学科の納付金を掲載しています。入試方式によって募集学部・学科は異なります。
- ・文学部史学科に入学される方は、学会費が別途6,000円必要となります。
- ・社会学部国際社会学科に入学される方は、1年次に1週間程度の国内外での国際社会体験演習に参加するため、これに伴う費用(交通費・宿泊代・教材費・食費等)国内10万円程度、海外30万~40万円程度(長期プログラム希望者は35万~40万円程度)が別途必要になります。
- ・入学後の履修科目・所属コースによっては、各種実習料が必要となる場合があります。
- ・所定の修業年限を超えた方は、納付金額が変更となる場合があります。
- ・納付金についての最新情報は、東洋大学ホームページで確認してください。

入学手続後の入学辞退と納付金の返還

出願資格に記載のとおり、合格した際に、必ず入学することを確約できる方を募集する入試であるため、原則として入学を辞退することはできません。ただし、以下のいずれかの場合に本学が定める手続により届出をした者には入学辞退を認め、入学金を除く納付金を返還します。

- ・病気やけが、経済的困窮等により就学が困難になった場合
- ・出願資格または大学入学資格を取得見込で受験し、入学時までには要件を満たせなかった場合
- ・合格発表後等に出願資格及び出願資格審査に関わる書類に虚偽の記載があることが判明した場合

詳細は、入学手続サイトに掲載される「入学手続のしおり」で確認してください。

高等教育の修学支援新制度について

「高等教育の修学支援新制度」は日本学生支援機構の給付奨学金と大学による授業料等減免からなる国の経済支援制度で、東洋大学は対象機関に認定されています。当制度について、高校等在学中に予約採用を申し込み、本学の出願時に所定の手続を行うことにより、本学が当制度の支援対象、あるいは対象になり得ると確認ができた方は、入学手続時に徴収する授業料等の事前減免、または納付猶予を適用します。

●納付金について(入学金・授業料)

A. 高校等の予約採用に申し込み、出願時に「令和9年度大学等奨学生採用候補者決定通知」(スカラネットの簡易版含む)を提出した方

入学金：入学手続時には正規の金額をお支払いください。入学後、所定の手続を行うことにより、支援区分に応じた減免相当額を還付します。

授業料：入学手続時には、支援区分に応じて、事前に減免された金額をお支払いください。

※採用候補者決定通知の提出後、何らかの事由で支援区分が変更になった場合も、原則、出願登録時の支援区分に応じて減免します。変更前後の支援区分で差額が生じる場合は、入学後に還付または追加徴収します。

入学金および授業料以外の納付金(一般施設設備資金、実験実習料、教育充実料、雨水会費(第1部のみ))：本支援制度による減免の対象に含まれません。正規の金額をお支払いください。

B. 高校等の予約採用に申し込んでいるが、出願時に「令和9年度大学等奨学生採用候補者決定通知」(スカラネットの簡易版含む)を受け取っていないため提出ができず、大学による支援区分の確認ができない方

入学金：入学手続時には正規の金額をお支払いください。入学後、所定の手続を行ったうえで、奨学金の採用が確定した場合は支援区分に応じた減免相当額を還付します。

授業料：入学手続時の支払いを猶予します。猶予した授業料は入学後、所定の期日までに支援額を減免した金額を納入いただきます。

所定の期日までに納入がなかった場合、履修状況にかかわらず、4月30日付で除籍となり、その後の修学継続はできません。なお、本支援制度に採用されなかった場合は、所定の期日までに正規の金額を納入いただきます。

入学金および授業料以外の納付金(一般施設設備資金、実験実習料、教育充実料、雨水会費(第1部のみ))：本支援制度による減免の対象に含まれません。正規の金額をお支払いください。

上記A・Bに該当する場合、次ページの「申請方法」に従い、インターネット出願時に登録、必要書類をアップロードしてください。

・郵送による受付はいたしません。

・「大学等奨学金採用候補者」は、進学届の手続等、入学後に所定の手続を完了することで「日本学生支援機構奨学生」として正式に採用されます。入学後、大学が定める期日までに手続が完了しない場合は、奨学金を受給することができず、正規の納付金を納入いただくことになりますので十分注意してください(※)。

・入学後の手続の詳細については、3月下旬以降に本学ホームページで周知します。

※大学が定める期日までに納入できない場合、4月30日付で除籍となります。

C. 高校等の予約採用に申し込んでいない方

入学手続時の納付金について事前減免、納付猶予は適用できません。入学手続締切日までに正規の金額を納付いただきます。本学入学後に在学採用の手続を行い、採用となった場合は支援区分に応じた減免相当額を還付します。

★本制度の詳細については、文部科学省特設サイト・独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)ホームページにてご確認ください。

★東洋大学において、支援区分(第Ⅳ区分)の「理工農系」の対象となる学部・学科専攻は以下の通りです。

情報連携学部(全学科)、健康スポーツ科学部(栄養科学科)、理工学部(全学科)、総合情報学部(全学科・専攻)、生命科学部(全学科)、食環境科学部(全学科)

※2027年4月に開設される環境イノベーション学部(全学科)も、「理工農系」の対象として現在申請中です。
申請結果については、2026年8月下旬(予定)を目途に本学WEBサイト等にてお知らせいたします。

★授業料減免の金額等の詳細については、本学ホームページをご覧ください。

<https://sites.google.com/toyo.jp/gakubu-scholarship/sc/index/jasso-kyufu>

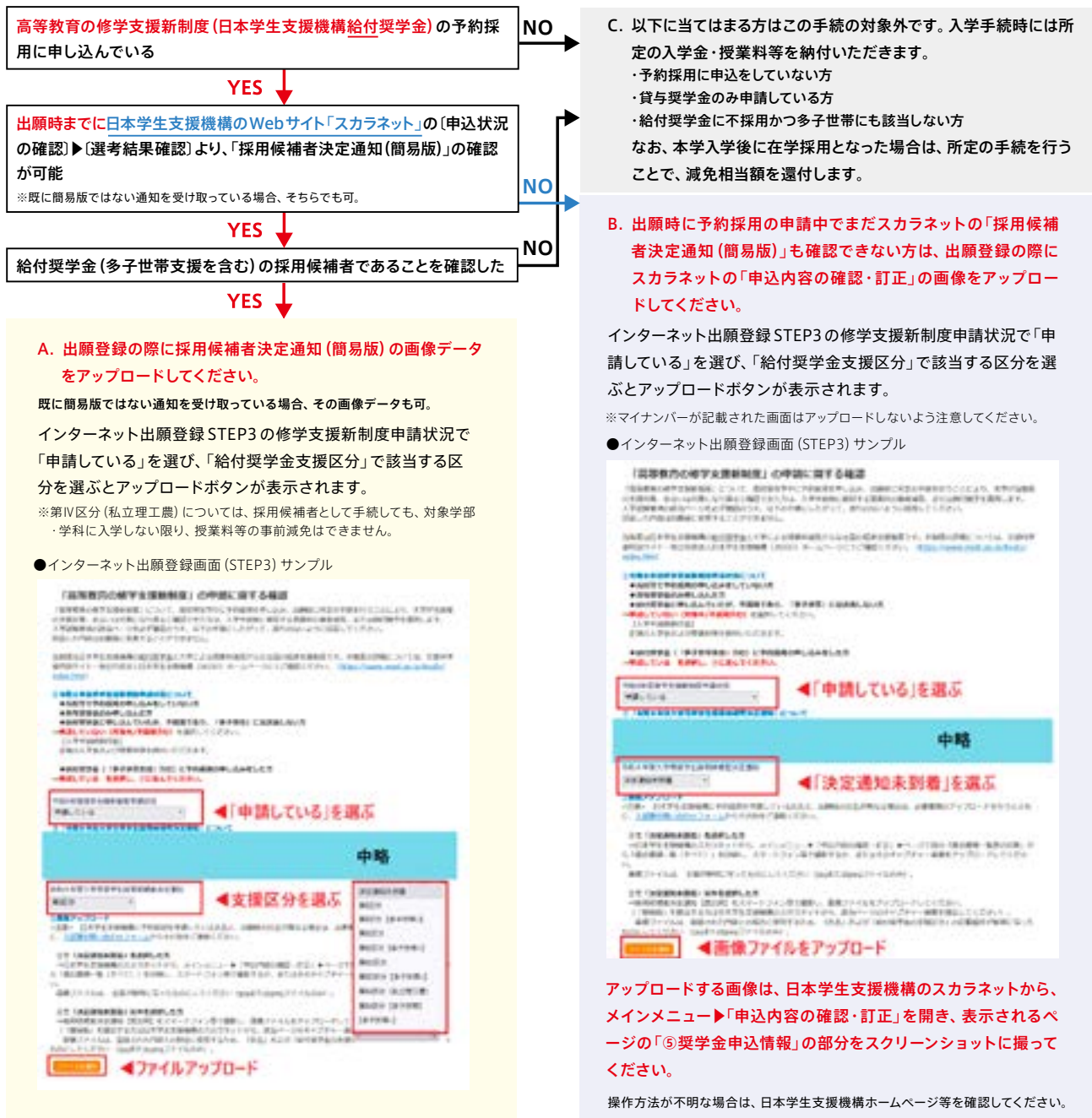


●申請方法 (参考) スカラネットの表示内容は今後変更になる場合があります。
出願開始前に入試情報サイトに掲載する案内をご確認ください。

高等教育の修学支援新制度(日本学生支援機構給付奨学金)について高校等で予約採用を申し込み、2026年10月～12月に行われる試験を受験する方は、下記を参照してインターネット出願時に登録、必要書類のアップロードを行って申請してください。

所定の申請を行わなかった場合は授業料等の事前減免または納付猶予を行うことができず、入学手続時には正規の金額を納付いただくことになります。

なお、入学金は申請の有無に関わらず、減免はできません。一律、入学後に所定の手続を行うことで減免相当額を還付します。



申請内容について、不備・不明点があった場合のみ「マイページ」等で連絡します。不備がない場合、受験票(受験番号)の公開をもって受理の連絡に代えます。合格発表までに不備等が解消できなかった場合は、授業料の事前減免、または納付猶予は適用できません。

手続完了後

合格発表まで必要な手続はありません。

入学手続時には授業料の納付猶予が適用されますが、**本学入学後、所定の期日までに以下の授業料を納入いただきます。**

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 後日決定通知を受け取り、給付奨学金(多子世帯支援を含む)の採用候補者となった方 | 後日決定通知を受け取り、貸与奨学金のみ採用候補、または不採用となった方 |
| ▶入学後に「進学先の手続」を行うことで、支援区分に応じた授業料を請求します。 | ▶入学後に正規の授業料を請求します。 |

▲ 所定の期日までに授業料の納付がなかった場合は4月30日付で除籍となり、その後の修学継続はできません。

教育ローン等について

学資を準備するための制度として、日本政策金融公庫による「国の教育ローン」や、本学と金融機関との提携による「東洋大学教育ローン」があります。ただし、教育ローンの利用が間に合わないことを理由に、入学手続きが遅れることは認められません。教育ローンの利用を検討している場合は、早めに各貸付先にお問い合わせください。

【国の教育ローン】

問い合わせ先：日本政策金融公庫

※申込目安は、必要時期の2～3カ月前です。詳細は問い合わせ先にご確認ください。

【東洋大学教育ローン】

● 提携先金融機関

三井住友銀行

問い合わせ先：ネットローンプラザ 電話：0120-338-555

楽天銀行

問い合わせ先：教育ローン専用ダイヤル 電話：0120-61-6910

提携校コード：TYU00074 申込コード：1001

※本制度は、東洋大学へ確実に入学する方が対象となります。また、確実な返済計画を立てたうえでお申し込みください。

※申込目安は、必要時期の1～2週間前程度です。詳細は問い合わせ先にご確認ください。

【その他の入学諸費用の支援制度】

教育ローンの他にも、以下のような支援制度があります。詳細は各問い合わせ先にご確認ください。

生活福祉資金貸付制度（厚生労働省）

問い合わせ先：お住まいの市区町村の社会福祉協議会

母子父子寡婦福祉資金貸付金（子ども家庭庁）

問い合わせ先：お住まいの市区町村の福祉担当窓口

なお、入学後の奨学金については、本学ホームページをご覧ください。教育ローンのように、入学前に事前に本学で手続可能なもの（給付・貸付両方）はございませんので、あらかじめご了承ください。

・ウェブサイト：https://www.toyo.ac.jp/campuslife/student_support/award/gakubu/

※高等教育の修学支援新制度については、該当ページをご確認ください。

在留資格（日本国以外の国籍を有する者）

本学に入学を許可された外国人学生は、「留学」の在留資格を申請することができます。ただし、2027年4月1日時点で「留学」または他の中長期在留資格を取得していない場合は原則として入学することはできません。

日本国以外の国籍を有する志願者が、第2部・イブニングコース（夜）へ入学した場合、在留資格「留学」を取得することはできません。

詳しくは、こちらのWebサイトを出願前に必ず確認してください。

<https://www.toyo.ac.jp/academics/international-exchange/enroll/prearrival/#anc06>

●有効な在留資格がある場合（日本に居住している方）

(1) 「留学」の在留資格を有している場合

すでに「留学」の在留資格がある場合、現在の在留資格期限に応じて在留期間更新許可申請を行ってください。詳しくは、「入学手続のしおり」を確認してください。

ただし、下記項目に該当する場合は、一度出国し、以下「有効な在留資格がない場合」と同じ手続を求める場合があります。この場合、本学では「留学」の在留期間更新許可申請は行いません。

① 本学入学前に在籍している教育機関で「留学」の在留資格を取得しており、前の教育機関の課程修了（卒業）から本学への入学までの期間が3カ月以上あいている場合

② 本学入学前に在籍している教育機関で「留学」の在留資格を取得しており、時期に関係なく前の（または現在在籍している）教育機関の課程を修了（卒業）せずに退学をした（またはする予定）場合等、本学が在留期間更新許可申請は不適切と認めた場合

※事情により、「在留資格認定証明書」の交付が2027年4月1日の入学に間に合わない場合もありますが、授業を欠席する等に伴う不利益について、本学は一切の責任を負わないものとしますので、ご注意ください。

(2) 「短期滞在」の在留資格を有している場合

「短期滞在」の在留資格では、大学に在籍することができません。入学前に「留学」の在留資格を取得する必要がありますので、「有効な在留資格がない場合」と同じ手続を行ってください。

(3) 「留学」「短期滞在」以外の有効な中長期在留資格を有している場合

2027年4月1日時点で「定住者」「家族滞在」等の有効な中長期在留資格を有していれば、大学に在籍することができます。ただし、授業料減免や奨学金受給等の各種支援制度の利用を希望する場合は、「留学」の在留資格が必要です。「留学」への在留資格変更を希望する場合は「在留資格変更許可申請」の手続をしてください。手続の方法は合格発表後、「入学手続のしおり」でお知らせします。

※ 合格者は、学費及び日本での生活費を十分に支弁できることを証明するため、就学手続の際に、保証人（経費支弁者）又は本人名義の預金残高証明書提出する必要があります。

<1年間の生活費（月額12万円×12ヶ月分）＋本学学費以上の残高があるもの>

※ 入学前に在籍した教育機関における在籍状況（日本語学校の出席率、大学・専門学校の成績等）が著しく不良である場合、在留資格更新に影響する可能性があります。特に、日本語学校等の出席率が80%未満の場合は、出入国在留管理庁による在留資格更新審査において不許可となる可能性が高いことから、本学でも在留資格更新手続を認めないことがあります。

●有効な在留資格がない場合（日本に居住していない方）

日本に入国し、大学に在籍するためには、「在留資格認定証明書」の交付申請をする必要があります。交付申請の手続は、日本国内の出入国在留管理庁で①本人、②本人の親族、③経費支弁者（大学の学費等を支払ってくれる方）のいずれかが行う必要があります。本人もしくは代理人（親族または経費支弁者）が日本にいない場合、本学指定の行政書士を通して在留資格の代理申請を行うことができます。代理申請に必要な書類の提出方法については、合格発表後、「入学手続のしおり」でお知らせします。なお、「在留資格認定証明書」は、申請してから交付されるまで2～3カ月かかります。また、「在留資格認定証明書」が交付されたら、他の必要書類を用意して、自国または居住地の在外日本公館より「留学ビザ（査証）」の発給を受けてから来日してください。

※ 大学が代理申請を行う在留資格は「留学」です。

※ 代理申請には「学費支弁能力証明書」が必要です。準備には時間を要する場合があるため、あらかじめ準備をしてください。

※ 本学で「在留資格認定証明書交付」の代理申請を希望する場合、過去の交付申請回数と不交付になった回数を正しく申し出てください。また、提出した全ての書類および入力内容等に関して、虚偽の報告により不交付になった場合、大学での再申請は受付しません。

※ 「在留資格認定証明書」については出入国在留管理庁が、ビザ取得については在住国の在外日本公館がそれぞれ審査を行います。不交付・不発給となった場合について、大学は一切責任を負いません。

キャンパス案内図

入学試験は、本学の各キャンパスにて実施します。

各学科・入試方式の「試験会場・集合時間・時間割」の項目で、自身の受験する試験会場を確認してください。

各キャンパスの所在地および試験当日の開門時間は以下のとおりです。

試験会場	開門時間
白山キャンパス	8:10
赤羽台キャンパス	
川越キャンパス	
朝霞キャンパス	

※入試方式によっては、その入試では試験会場とならないキャンパスがあります。

※掲載している地図は2026年4月現在のものです。建物名称等が変更される場合があります。

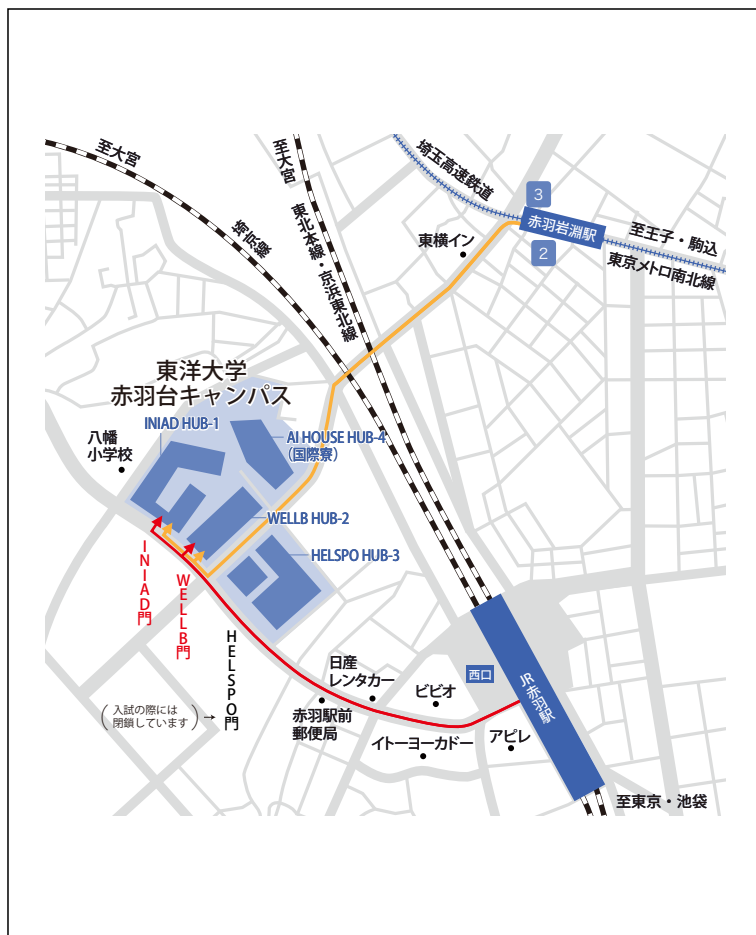


白山キャンパス

〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20

[交通案内]

- 都営地下鉄三田線「白山」駅下車、A3出口より徒歩5分
- 都営地下鉄三田線「千石」駅下車、A1出口より徒歩8分
- 東京メトロ南北線「本駒込」駅下車、1番出口より徒歩5分



赤羽台キャンパス

〒115-8650 東京都北区赤羽台1-7-11

[交通案内]

- JR
「赤羽」駅下車、西口より徒歩8分
- 東京メトロ南北線 / 埼玉高速鉄道線
「赤羽岩淵」駅下車、2番出口より徒歩12分



川越キャンパス

〒350-8585 埼玉県川越市鯨井2100

[交通案内]

- 東武東上線
「鶴ヶ島」駅下車、東口より徒歩10分



朝霞キャンパス

〒351-8510 埼玉県朝霞市岡 48-1

[交通案内]

- 東武東上線
「朝霞台」駅下車、北口より徒歩10分
- JR 武蔵野線
「北朝霞」駅下車、東口より徒歩10分

問い合わせ先

1. 入学試験に関すること

東洋大学入試部

<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/support/>

お急ぎの問い合わせは

TEL 03-3945-7272 (直通)

9:30～13:00 14:00～16:45 (月～金曜日)

9:30～12:45 (土曜日)



2. 納付金および納付金の返還に関すること

東洋大学経理部財務課

<https://sites.google.com/toyo.jp/gakuhi/inquiry-fees>



3. 在留資格、ビザ(査証)等に関すること

東洋大学在留資格サポートオフィス

E-mail toyo-pugs@tugs.co.jp

4. 経済学部第1部経済学科自己推薦入試の事前適性審査に関すること

東洋大学経済学部教務課

E-mail mlkeizai@toyo.jp

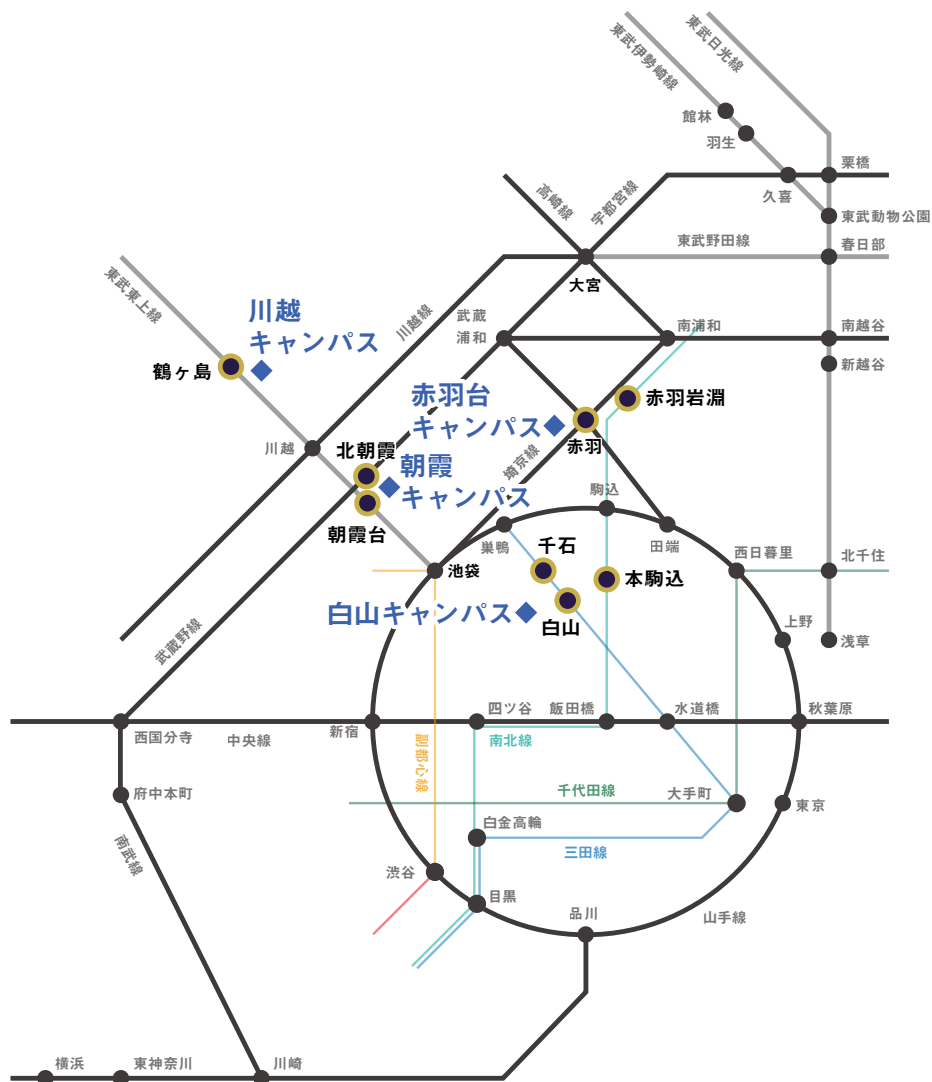
5. 情報連携学部の事前適性審査に関すること

東洋大学赤羽台事務部赤羽台事務課

E-mail admissions-office@iniad.org

※事務取扱日時は変更になる場合があります。

※入学手続に関しては、入学手続サイトに掲載される「入学手続のしおり」に記載の各学部教務課窓口にお問い合わせください。



交通案内

白山キャンパス

- 都営地下鉄三田線
「白山」駅下車、A3出口より徒歩5分
- 都営地下鉄三田線
「千石」駅下車、A1出口より徒歩8分
- 東京メトロ南北線
「本駒込」駅下車、1番出口より徒歩5分

赤羽台キャンパス

- JR
「赤羽」駅下車、西口より徒歩8分
- 東京メトロ南北線 / 埼玉高速鉄道線
「赤羽岩淵」駅下車、2番出口より徒歩12分

川越キャンパス

- 東武東上線
「鶴ヶ島」駅下車、東口より徒歩10分

朝霞キャンパス

- 東武東上線
「朝霞台」駅下車、北口より徒歩10分
- JR 武蔵野線
「北朝霞」駅下車、東口より徒歩10分



東洋大学

受験番号	※
------	---

※は記入しないでください。

2027年度 総合型選抜・学校推薦型選抜 課題論文・レポート・レジュメシート表紙

フリガナ		
氏 名	姓	名

※学部学科(専攻)・入試方式に応じて提出部数・課題の作成方法が異なります。自身の出願する学部学科(専攻)・入試方式の提出方法を入学試験要項で確認し、誤りがないよう十分に注意してください。

※課題論文・レポート本文の印刷にあたっては、上下左右に20mm程度の余白を設けてください。
本学でファイリングする際、文字や図版の欠けが生じた場合も本学は責任を負いません。

受験番号	※
------	---

※は記入しないでください。

2027年度 総合型選抜・学校推薦型選抜 プレゼンテーション用資料表紙

フリガナ		
氏 名	姓	名

※学部学科(専攻)・入試方式に応じて提出部数・課題の作成方法が異なります。自身の出願する学部学科(専攻)・入試方式の提出方法を入学試験要項で確認し、誤りがないよう十分に注意してください。

※課題論文・レポート本文の印刷にあたっては、上下左右に20mm程度の余白を設けてください。本学でファイリングする際、文字や図版の欠けが生じた場合も本学は責任を負いません。

2027年度 AO型推薦入試用(文学部)

※は記入しないでください。

志望 学科 専攻		学科 専攻	フリガナ	姓	名
			氏 名		

[illegible][illegible]

2027年度

※は記入しないでください。

フリガナ		
氏 名	姓	名

P.

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no text or other markings on the paper.

受験番号	※
------	---

※は記入しないでください。

2027年度 健康スポーツ科学部 AO型推薦入試 競技成績記入用紙

フリガナ	
氏 名	

(例)

番号※	大会・試合年月日	大会・試合名	競技名	競技成績
1	YYYY年MM月DD日	第〇回 △△△△競技大会	〇〇競技	〇〇の部優勝

※競技成績一覧に記載する大会・試合は義務教育終了後（または過去2年間）に出場したものに限る。
※大会・試合日の古い順に「1」から番号を付けること。また、大会・試合年月日の日付は最終成績を得た日とすること。
※すべての客観資料右上に附番した番号を記載し、附番順に整理して提出すること。
※記載欄が不足する場合は用紙をコピーし、左上1か所をホチキスでとめること。

受験番号 ※

※は記入しないでください。

2027年度 理工学部 AO型推薦入試 課題レポート・概要書表紙

志望学科 (○をつけてください)	機械工 ・ 都市環境デザイン ・ 建築
フリガナ	
氏 名	

テーマ名 または作品名	
----------------	--

- 建築学科志望者のみ記入してください。
↓選択した課題に○を付けてください。

	①テーマや対象を選んで「しらべる」
	②社会や地域と「かかわる」
	③作品を「つくる」

- 選択した課題内容・用紙のサイズに関わらず、全員この表紙を記入し、ホチキスでとめて提出してください（ホチキスとめの位置等の指定はありません）。
- 用紙については原稿用紙・レポート用紙の指定はありません。
- この表紙は枚数には数えません。
- ワープロソフトを使用する場合でも、この表紙を手書きで提出してください。
- 課題にもテーマ名・氏名を記載してください（記載場所は自由）。

機器使用の有無に関わらず、全員提出してください。

機器使用申込書 2027年度

【理工学部 AO型推薦入試】

フリガナ		志望学部	理工
氏 名		志望学科	機械工 ・ 都市環境デザイン ・ 建築
		Eメール アドレス	
自宅電話	— —	携帯電話	— —

※志望学科を○で囲んでください。

機器の 使用有無	有 ・ 無
-------------	-------

※どちらかに○をつけてください。



「有」に○をつけた場合のみ、以下の使用項目に○をつけてください。

	機器名	備考
	プロジェクター	・スクリーンに映写し、発表する形態となります。
	書画カメラ	・書画カメラは、カメラで原稿を撮影し、カラーで投影する機器です。
	その他	名称 () ※ポスターを黒板等に貼る「マグネット」は 本学で用意します。

【パソコン使用の場合、特別なソフトウェアを利用しない場合は、本学のパソコン利用をお勧めします。】

	自分のパソコン (当日持参)	以下の装備をご用意ください。 ・電源アダプター ・ディスプレイケーブル ※なお、標準HDMI (タイプA) ケーブルは対象教室に設置してあります。その他の映像接 続ケーブルを利用する場合は、変換アダプターを持参してください。
	本学のパソコン	・OSはWindows11となります。 ・使用するソフトウェアは、Microsoft®のWord 2024、Excel 2024、PowerPoint 2024 になります。 ・持参するメディアは、USB フラッシュメモリとします。



「本学のパソコン」に○をつけた場合のみ、使用するソフトウェアに○をつけてください。

ソフトウェア	Word 2024 ・ Excel 2024 ・ PowerPoint 2024
--------	--

大学のソフトウェアのバージョンは、2024です。その他のバージョンの場合、その他のバージョンと同様に表現できないことが
ありますので、事前に2024のバージョンで、各自ご確認ください。

※申し込みのないソフトウェア・機器等の当日対応はできません。

※メディアの事前提出は、不要です。

※当日持参したパソコンまたは大学のパソコンに不具合が発生した場合は、
書画カメラによる発表となりますので、当日は発表用のデータを印刷した
用紙を予備として持参してください。

【機器に関する問い合わせ先】

川越キャンパス入試担当

TEL : 049-239-1510 FAX : 049-231-5117

E-mail : mlkawanyu@toyo.jp

東洋大学ホームページ上で窓口時間をご確認ください。

[日曜・祝日は閉室]

本学会場で受験する場合は必ず提出してください。
Web 会議システム利用で受験する場合は提出不要です。

機器使用申込書 2027 年度

【総合情報学部 AO 型推薦入試】

フリガナ		志望学部	総合情報
氏 名		志望学科 (専攻)	総合情報 (心理・スポーツ情報専攻)
		Eメール アドレス	
自宅電話	— —	携帯電話	— —

特別なソフトウェアを利用しない場合は、本学のパソコン利用をお勧めします。

	自分のパソコン (当日持参)	以下の装備をご用意ください。 ・電源アダプター ・ディスプレイケーブル ※なお、標準 HDMI (タイプ A) ケーブルは対象教室に設置してあります。その他の映像接続ケーブルを利用する場合は、変換アダプターを持参してください。
	本学のパソコン	・ OS は Windows 11 となります。 ・ 使用するソフトウェアは、Microsoft® PowerPoint 2024 になります。その他のバージョンでファイルを作成した場合、意図どおりの表現にならないことや、動作に不具合が生じることがあります。 ・ 持参するメディアは、USB フラッシュメモリとします。

※申し込みのないソフトウェア・機器等の当日対応はできません。

※メディアの事前提出は、不要です。

※当日持参したパソコンまたは大学のパソコンに不具合が発生した場合は、事前提出した印刷資料による発表となりますので、当日は出願時に提出したプレゼンテーション資料を受験生各自で印刷し、必ず持参してください。

【機器に関する問い合わせ先】

川越キャンパス入試担当

TEL : 049-239-1510 FAX : 049-231-5117

E-mail : mlkawanyu@toyo.jp

東洋大学ホームページ上で窓口時間をご確認ください。
[日曜・祝日は閉室]

機器使用の有無に関わらず、全員提出してください。

機器使用申込書 2027年度

【環境イノベーション学部 AO型推薦入試】

フリガナ		志望学部	環境イノベーション
氏 名		志望学科	環境イノベーション
		Eメール アドレス	
自宅電話	— —	携帯電話	— —

機器の 使用有無	有 ・ 無
-------------	-------

※どちらかに○をつけてください。



「有」に○をつけた場合のみ、以下の使用項目に○をつけてください。

	機器名	備考
	プロジェクター	・スクリーンに映写し、発表する形態となります。
	書画カメラ	・書画カメラは、カメラで原稿を撮影し、カラーで投影する機器です。
	その他	名称 () ※ポスターを黒板等に貼る「マグネット」は 本学で用意します。

【パソコン使用の場合、特別なソフトウェアを利用しない場合は、本学のパソコン利用をお勧めします。】

	自分のパソコン (当日持参)	以下の装備をご用意ください。 ・電源アダプター ・ディスプレイケーブル ※なお、標準HDMI(タイプA) ケーブルは対象教室に設置してあります。その他の映像接 続ケーブルを利用する場合は、変換アダプターを持参してください。
	本学のパソコン	・OSはWindows11となります。 ・使用するソフトウェアは、Microsoft®のWord 2024、Excel 2024、PowerPoint 2024 になります。 ・持参するメディアは、USB フラッシュメモリとします。



「本学のパソコン」に○をつけた場合のみ、使用するソフトウェアに○をつけてください。

ソフトウェア	Word 2024 ・ Excel 2024 ・ PowerPoint 2024
--------	--

大学のソフトウェアのバージョンは、2024です。その他のバージョンの場合、その他のバージョンと同様に表現できないことが
ありますので、事前に2024のバージョンで、各自ご確認ください。

※申し込みのないソフトウェア・機器等の当日対応はできません。

※メディアの事前提出は、不要です。

※当日持参したパソコンまたは大学のパソコンに不具合が発生した場合は、
書画カメラによる発表となりますので、当日は発表用のデータを印刷した
用紙を予備として持参してください。

【機器に関する問い合わせ先】

川越キャンパス入試担当

TEL : 049-239-1510 FAX : 049-231-5117

E-mail : mlkawanyu@toyo.jp

東洋大学ホームページ上で窓口時間をご確認ください。

[日曜・祝日は閉室]

機器使用の有無に関わらず、全員提出してください。

機器使用申込書 2027年度

【生命科学部 AO型推薦入試】

フリガナ		志望学部	生命科
氏 名		志望学科	生命科 ・ 生体医工 ・ 生物資源
		Eメール アドレス	
自宅電話	— —	携帯電話	— —

志望学科を○で囲んでください。

機器の 使用有無	有 ・ 無
-------------	-------

※どちらかに○をつけてください。



「有」に○をつけた場合のみ、以下の使用項目に○をつけてください。

	機器名	備考
	プロジェクター	※スクリーンに映写し、発表する形態となります。
	書画カメラ	※書画カメラは、カメラで原稿を撮影し、カラーで投影する機器です。
	DVD デッキ	※Blu-ray Discの使用も含まれます。
	その他	名称 () ※ポスターを黒板等に貼る「マグネット」は 本学で用意します。

【パソコン使用の場合、特別なソフトウェアを利用しない場合は、本学のパソコン利用をお勧めします。】

	自分のパソコン (当日持参)	以下の装備をご用意ください。 ・電源アダプター ・HDMI出力可能であること、またはHDMIへの変換機等。本学で用意するプロジェクター 接続ケーブルはHDMI (TypeA) ケーブルのみです。
	本学のパソコン	※OSはWindowsとなります。 ※使用するソフトウェアは、Microsoft®のWord 2024、Excel 2024、PowerPoint 2024 になります。 ※持参のうえ、利用可能なメディアは、USB フラッシュメモリのみとします。



「本学のパソコン」に○をつけた場合のみ、使用するソフトウェアに○をつけてください。

ソフトウェア	Word 2024 ・ Excel 2024 ・ PowerPoint 2024
※大学のソフトウェアのバージョンは、2024です。以前のバージョンで作成されたデータについては互換モードが自動的に使 用されます。	

※申し込みのないソフトウェア・機器等の当日対応はできません。

※メディアの事前提出は、不要です。

※当日持参したパソコンまたは大学のパソコンに不具合が発生した場合は、
書画カメラによる発表となりますので、当日は発表用のデータを印刷した
用紙を予備として持参してください。

【機器に関する問い合わせ先】

朝霞キャンパス入試担当

TEL : 048-468-6311 FAX : 048-468-6890

E-mail : mlasakajim@toyo.jp

東洋大学ホームページ上で窓口時間をご確認ください。

[土曜・日曜・祝日は閉室]

2027年度 自己推薦入試 推薦書

受験番号	※
------	---

※は記入しないでください。

東洋大学 自己推薦入試 推薦書

推薦事項等		内 容		
1	志願者	フリガナ		男・女
		氏 名		
※○をつけてください。				
2	出身学校	都・道 府・県	国・公・私立 検定 外国	学校
		年 月 卒業 ・ 卒業見込		
3	資格・特別な経験 資格：資格名または検定名/点数や 級等を記入 経験：在外経験・都道府県レベル以上 での表彰/課外活動について記入	年 月		
		年 月		
		年 月		
		年 月		
		年 月		
4	活動歴 (コンクール・競技・ボランティア活動等)	年 月		
		年 月		
		年 月		
		年 月		
		年 月		
作成日 2026 年 月 日				

(1) 出願資格が設けられていますので、必ず入学試験要項を確認してください。
(2) 志願者本人が記入してください。

2027年度 自己推薦入試 様式1

受験番号	※
------	---

※は記入しないでください。

フリガナ		
氏 名	姓	名

1/2

[illegible]

※志願者本人が記入してください。(ワープロソフト不可)
※横書きで記入してください。

東洋大学

2027年度 自己推薦入試 様式1

受験番号 ※

※は記入しないでください。

フリガナ

姓

名

氏 名

2/2

700

800

900

1000

※志願者本人が記入してください。(ワープロソフト不可)
※横書きで記入してください。

東洋大学

2027年度 自己推薦入試 様式2

受験番号	※
------	---

※は記入しないでください。

フリガナ		
氏 名	姓	名

[illegible]

※志願者本人が記入してください。(ワープロソフト不可)

※横書きで記入してください。

2027年度 自己推薦入試用

※は記入しないでください。課外活動・社会活動歴 (複数の活動をした場合、それぞれについて記入) ※年は西暦で記入

職歷

志願理由に関わる資格等

[illegible]

2027年度 学校推薦入試 推薦書

受験番号	※
------	---

※は記入しないでください。

東洋大学 学校推薦入試 推薦書		
推薦事項等	内 容	
1 志願者	フリガナ	
	氏 名	
2 推薦理由		
3 高校在学中の活動状況 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価について必ず記載してください。	「知識・技能」	
	「思考力等」	
	「主体性等」	
4 資格・特別な経験 資格：資格名または検定名/点数や級等を記入 経験：在外経験・都道府県レベル以上の表彰/課外活動について記入		
上記の者、志願者として推薦します。		
2026 年 月 日		
東洋大学長 殿		
学 校 名		立 学校
学校長名		校印
作成者名		印

(1) 出願資格が設けられていますので、必ず入学試験要項を参照してください。
(2) 担当教員が推薦書を記入し、学校長および作成者が署名捺印のうえ、厳封して志願者にお渡しください。

2027年度 学校推薦入試 様式1

受験番号	※
------	---

※は記入しないでください。

フリガナ		
氏 名	姓	名

1/2

[illegible]

※志願者本人が記入してください。(ワープロソフト不可)
※横書きで記入してください。

東洋大学

2027年度 学校推薦入試 様式1

受験番号	※
------	---

※は記入しないでください。

フリガナ		
氏 名	姓	名

2/2

[illegible]

※志願者本人が記入してください。(ワープロソフト不可)
※横書きで記入してください。

東洋大学

2027年度 学校推薦入試 様式2

受験番号	※
------	---

※は記入しないでください。

フリガナ		
氏 名	姓	名

[illegible]

※志願者本人が記入してください。(ワープロソフト不可)
※横書きで記入してください。

東洋大学

2027年度「独立自活」支援推薦入試 推薦書

受験番号	※
------	---

※は記入しないでください。

東洋大学 「独立自活」支援推薦入試 推薦書			
推薦事項等		内 容	
1	志願者	フリガナ	
		氏 名	
2	推薦理由		
3	高校在学中の活動状況 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価について必ず記載してください。	「知識・技能」	
		「思考力等」	
		「主体性等」	
4	資格・特別な経験 資格：資格名または検定名/点数や級等を記入 経験：在外経験・都道府県レベル以上の表彰/課外活動について記入		
上記の者、志願者として推薦します。			
東洋大学長 殿		2026年	月 日
学 校 名		立	学校
学校長名			校印
作成者名			印

(1) 出願資格が設けられていますので、必ず入学試験要項を参照してください。
(2) 担当教員が推薦書を記入し、学校長および作成者が署名捺印のうえ、厳封して志願者にお渡しください。

2027年度「独立自活」支援推薦入試 志願理由書

受験番号 ※

※は記入しないでください。

フリガナ

姓

名

氏名

100

200

300

400

500

600

※志願者本人が記入してください。(ワープロソフト不可)

※横書きで記入してください。

東洋大学